

昭和59年度

# 学校教育要覧

日野市教育委員会

5136568

# 目 次

◇ 日野市教育委員会の教育目標と重点 .....	1
◇ 学校教育の課題と指導の重点 .....	2
◇ 東京都教育委員会の教育目標及び学校教育の課題と指導の重点 .....	6
◇ 日野市教育委員会の学校訪問について .....	7
◇ 日野市教育委員会指導室の年間活動計画 .....	9
◇ 日野市教育委員会指導室関係及び幼小中学校行事予定表 .....	17
◇ 日野市教育相談室 .....	29
◇ 日野市中心身障害教育推進協議会 .....	32
◇ 日野市立小・中学校科学教育センター .....	35
◇ 日野市立小・中学校使用教科書 .....	39
◇ 指導主事分担表 .....	40
◇ 日野市教育委員会委嘱事業等担当校長・教頭 .....	42
◇ 日野市教育委員会事務局組織 .....	44
◇ 日野市公立学校・幼稚園一覧表 .....	46
◇ 管理運営規則第八条に基づく主任一覧表 .....	48
◇ 日野市立小・中学校主任（代表）一覧表 .....	50
◇ 授業研究主題 .....	54
◇ 都教育研究員他研究員一覧 .....	56
◇ 就学・進学状況の推移 .....	57
◇ 幼稚園児・小学校児童・中学校生徒の数 .....	58
◇ 日野市産業大分類就業者数 .....	58
◇ 園児・児童・生徒・学級調べ .....	59
◇ 避難場所と地区割当表 .....	61
◇ 日野市公立小中学校施設一覧 .....	62
◇ 日野市立幼稚園・小学校・中学校要覧	
日野市立第一幼稚園.....	64
" 第二 " .....	65
" 第三 " .....	66
" 第四 " .....	67
" 第五 " .....	69
" 第六 " .....	70
日野市立日野第一小学校.....	71
" " 第二 " .....	74
" " 第三 " .....	77
" " 第四 " .....	80
" " 第五 " .....	83
" " 第六 " .....	86
" 潤徳小学校.....	89
" 平山 " .....	92
" 日野第七小学校.....	95
" " 第八 " .....	98
" 百草台小学校.....	101
日野市立滝合小学校.....	104
" 高幡台 " .....	107
" 南平 " .....	110
" 程久保 " .....	113
" 旭が丘 " .....	116
" 平山台 " .....	119
" 東光寺 " .....	121
" 三沢台 " .....	123
" 仲田 " .....	125
日野市立日野第一中学校.....	127
" " 第二 " .....	129
" 七生中学校.....	132
" 日野第三中学校.....	135
" " 第四 " .....	138
" 三沢中学校.....	141
" 大坂上中学校.....	143
" 平山 " .....	146

# 昭和 59 年度 日野市教育委員会の教育目標と重点

## 教育目標

教育基本法に基づき、生涯教育をふまえ、次のことを目標にして日野市の教育・文化の向上を図る。

1. 豊かな心、生きた知識、健やかな体を養い、社会の一員としての自覚をもち、広く国際社会に生きる市民の育成に努める。
2. 各自のもつ個性と創造力を伸ばし、人間尊重の精神を身につけ、互いに励まし協力する態度を育てる。
3. 家庭教育、学校教育、社会教育の緊密な連携のもとに、青少年の健全な育成を進めるとともに、地域の自然、文化を大切にす郷土愛を育てる。

## 重 点

教育目標を達成するために、次のことを重点とする。

1. 教育施設・設備の充実に努め、その有効な活用・保全を図り、市民への開放を推進する。
2. 学校教育の内容・指導の充実に努め、幼児・児童・生徒に自ら学ぶ力をつけ、一人一人の個性や能力の伸長を図り、保護者の期待に応える教育を推進する。
3. 家庭教育及び公民館活動の充実・スポーツ活動における指導体制の充実に努め、生涯に立脚した社会教育を推進する。
4. 図書館における資料の充実に努め、市民の多様な要求に応じられる図書館活動を推進する。

# 昭和 59 年度 学校教育の課題と指導の重点

日野市教育委員会及び東京都教育委員会の教育目標を達成するため、本年度は次の学校教育の課題及び指導の重点を設定する。

日野市教育委員会は、日野市公立学校（園）において、教師一人一人の識見や能力を高めるために研究と研修の充実を図り、校内の指導組織を整備し、学校経営に創意工夫をこらして学校教育が一層充実・向上するよう指導・援助する。

## 1. 学校教育の課題

日本国憲法の精神に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

また、国際的視野をもち、世界の平和に貢献できる市民を育成することが重要である。そのためには、わが国と諸外国との生活や文化の違いを理解させ、これを尊重する態度の育成に努めることが大切である。

さらに、学校教育では、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることによって、地域の理解と地域社会の一員としての連帯感を養うとともに、家庭・地域・関係諸機関との連携を一層深め、地域に根ざした学校教育の推進に努めることが大切である。

## 2. 指導の重点

### ○ 学習指導の改善・充実

幼児・児童・生徒（以下、児童・生徒）が、ゆとりのある充実した学校生活を送るためには、一人一人の個性や能力に応じた指導を徹底することが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせるとともに、柔軟な思考力と豊かな創造力を育て、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を養う必要がある。

- (1) 学校の創意を生かした教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 児童・生徒の学習過程に視点を置いた授業研究を行う。
- (3) 教育評価について実践的な研究を行う。
- (4) 自発的、自主的な活動を育てる特別活動の工夫に努める。

○ 生活指導・進路指導の充実

人間性豊かな児童・生徒を育成するためには、個性を伸長し、社会の一員としての自覚を高め、自己実現を図る能力と態度を身につけさせることが重要である。

各学校（園）においては、次の点に重点をおいて一人一人の児童・生徒の理解を深め、全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

- (1) 児童・生徒理解を深め、基本的な生活習慣の確立を図る。
- (2) 家庭・地域・関係諸機関との連携を深めるとともに、全教職員の共通理解に基づき、児童・生徒の実態や発達段階に応じた生活指導を行う。
- (3) 教育相談活動の充実を図り、積極的に児童・生徒を援助し、問題行動の未然防止に努める。
- (4) 一人一人の能力や適性を正しくは握し、それぞれが将来に対する目的意識を確立し、意欲的に学校生活を送るように進路指導を行う。

○ 健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく学校生活を送るためには、児童・生徒の心と体の健康づくりが大切である。

各学校においては、次の点に重点をおいて教育活動全体を通して健康・安全の指導と管理の徹底を図ることが大切である。

- (1) 自ら進んで健康の増進や体力の向上を図る態度や能力を養う。
- (2) 自ら自己の生命・安全を守る態度を養う。
- (3) 安全指導や安全管理を徹底し、学校における事故防止に努める。

○ 心身障害教育の充実

心身に障害をもつ児童・生徒一人一人の能力・適性を十分伸長するためには、教育環境の整備充実を図るとともに、教育内容・方法の改善・充実に努めることが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて心身障害教育の充実を図るとともに、心身障害者への理解を深めることが大切である。

- (1) 心身障害教育について、全教職員の理解を深める。
- (2) 障害の種類や程度に応じた適切な教育計画と教育内容・方法について創意工夫するとともに、児童・生徒の実態に応じた交流教育の推進に努める。
- (3) 家庭・医療機関及び、関係諸機関との連携を深めるとともに、継続的な教育相談活動を一層充実させる。

## ○ 幼児教育の充実

幼児期は、心身の発達が著しく、人格を形成する上で重要な時期である。各幼稚園においては、次の点に重点をおいて幼児の発達課題を適切にとらえ、地域の特性を生かした教育活動の充実に努めることが大切である。

- (1) 幼児の生活実態や心身の発達を把握し、適切な指導計画を作成し、保護者との密接な連携に立った保育に努める。
- (2) 保育園や小学校教育との関連を考慮し、自主・自律の心の芽生えを養い、健全な幼児の育成に努める。
- (3) 心身に障害をもつ幼児については、保護者との密接な連携をもとに発達に応じた保育に努めるとともに、障害をこえて自立する心を育てる。

また、学校のもつ教育機能や施設・設備を開放するとともに、家庭、地域及び関係諸機関との一層の連携に努め、心身ともに健全な児童・生徒の育成を図ることが大切である。

## ○ 国際理解教育の推進

常に国際的な視野をもち世界の平和と人類の幸福に貢献することのできる国民を育成するためには、我が国の文化や伝統についての理解を一層深め、進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度を養うことが重要である。

特に、各学校においては、国際都市東京の実態に即し、教育活動全体を通して、世界の人々の生活や固有の文化を理解させ、国際協力に果たす個人や国家の役割を正しく認識させる必要がある。

その際、我が国と諸外国との生活や固有の文化などの違いを正しく把握させるとともに、これらを尊重する態度を育成するよう、創意工夫に努めることが大切である。

## (指導の重点)

### ○ 学習指導の改善・充実

児童・生徒が、ゆとりのある充実した学校生活を送ることができるようにするためには、一人一人の個性や能力に応じた指導の徹底を図ることが重要である。

各学校においては、各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるよう工夫、改善を図り、柔軟な思考力と豊かな創造力を育成するとともに、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を養う必要がある。

特に学習が遅れがちな児童・生徒や心身に障害をもつ児童・生徒に対しては、一人一人の実態に応じて能力、適性が十分伸長されるよう、指導の徹底に努めることが大切である。

○ 生活指導・進路指導の充実

人間性豊かな児童・生徒を育成するためには、個性を伸長し、社会の一員としての自覚を高め、自己実現を図る能力と態度を身に付けさせることが重要である。

各学校においては、一人一人の児童・生徒に対する理解を深め、保護者の要望を十分把握するとともに、教育相談を重視するなど全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

その際、家庭、地域及び関係諸機関との連携を密にして、問題行動の要因を把握し、これを未然に防止する指導の徹底に努め、児童・生徒の健全な育成を図ることが大切である。また、望ましい勤労観・職業観を育成し、一人一人の児童・生徒が自己の将来に対する目的意識を確立し、希望をもって意欲的に学校生活を送ることができるよう、進路指導の充実を図ることが大切である。

○ 健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく活力のある生活を送ることができるようにするためには、児童・生徒の健康づくりに努めることが重要である。

各学校においては、教育活動全体を通して、健康・安全に関する理解を深め、自ら進んで健康の増進や体力の向上を図る能力や態度を身に付けさせるとともに、健康・安全の指導と管理の徹底を図る必要がある。

また、体育活動や日常生活における事故の防止に努めるとともに、交通や地震等による事故・災害に対して、児童・生徒の安全を確保することが大切である。

(注)「児童・生徒」とは、幼児・児童・生徒・学生をいう。

## 昭和59年度東京都教育委員会の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな都民を目指し、家庭教育・学校教育・社会教育の緊密な連携のもとに生涯にわたる教育を推進する。

学校教育においては、未来への展望に立ち、教育の本質と現代の教育的課題とを深く考え、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み社会連帯意識をもった心身ともに健康な幼児・児童・生徒・学生の育成を目指し、一人一人を生かす学校教育を推進する。

社会教育においては、生涯を通じ、あらゆる機会、あらゆる場所を利用し、實際生活に即して、文化的教養を高め、スポーツに親しみ、連帯して豊かな社会の形成を目指す都民の社会教育を推進する。

### 学校教育の課題と指導の重点

東京都教育委員会は、先の教育目標を達成するため、学校教育の課題及び指導の重点を設定する。

各学校においては、教師一人一人の識見や能力を高め、校内の指導組織を整備し、学校経営に創意工夫をこらして、学校教育の一層の充実、向上に努めることが大切である。

#### （学校教育の課題）

##### ○ 人権尊重の教育の推進

日本国憲法の精神に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

特に、各学校においては、同和対策審議会答申並びに地域改善特別措置法の趣旨を体して、同和教育の推進に努める必要がある。

心身に障害をもつ児童・生徒については、その障害の種類や程度に応じて、一人一人の能力、適性が十分伸長されるような教育活動を行う必要がある。各学校においては、心身障害者に対する理解を深めるとともに、連帯感の育成に努めることが大切である。

また、人種、民族、性別等を異にすることによって、児童・生徒の人権が損なわれることのないよう十分配慮することが大切である。

##### ○ 地域に根ざした教育の推進

児童・生徒を健全な社会人として育成するためには、地域の人々や自然、文化との接触の機会を通して、地域社会の一員としての自覚を促し、郷土を愛する心を培い、地域社会の形成者としての資質を養うよう努めることが重要である。

特に、各学校においては、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることにより、自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を培う必要がある。

## 日野市教育委員会の学校訪問について

### 1. 趣 旨

学校訪問は教育委員会の教育長・教育次長及び指導室長・各課の課長・指導主事が学校を訪問し、学校の教育活動の実態に直接触れることを通して、①学校の当面する教育指導上の諸問題への対応、②学校の施設・設備上の諸条件の整備、活用状況の把握、③日野市の全般的な教育活動を把握して、教育行政の参考にするとともに、各校の教職員との協議懇談を行い相互の理解を深め、日野市の教育内容・方法の充実・発展に資する。

#### (1) 市教委訪問A

2年間に一度、教育長、教育次長、指導室長、各課長及び指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、教育内容充実のため協議する。

①概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況 ④諸帳簿閲覧 ⑤協議・懇談等も含む。

尚、教育委員も時間のゆるす範囲で、教職員との協議に出席し懇談する。

#### (2) 市教委訪問B

年間にA訪問のない学校に、指導主事が訪問する。

①学級経営 ②教科・道徳・特活の指導 ③授業研究 ④生活指導等を含む。

#### (3) 要請訪問

各学校(園)の要請に応じ、指導主事が訪問し指導・助言する。

### 2. 昭和59年度市教委訪問日程

№	幼稚園名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	第一幼稚園		10月24日(水)(一般訪問)
2	第二幼稚園	11月9日(金)	
3	第三幼稚園		2月27日(水)
4	第四幼稚園	7月4日(水)	
5	第五幼稚園		6月19日(火)
6	第六幼稚園	7月10日(火)	

№	小学校名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日野第一小学校		12月5日(水)(一般訪問)
2	日野第二小学校	2月26日(火)	
3	日野第三小学校		5月23日(水)(一般訪問)
4	日野第四小学校	5月29日(火)	
5	日野第五小学校		11月27日(火)
6	日野第六小学校		10月30日(火)
7	潤徳小学校		11月8日(木)
8	平山小学校	11月20日(火)	
9	日野第七小学校		11月28日(水)
10	日野第八小学校		6月29日(金)
11	百草台小学校		2月8日(金)
12	滝合小学校	1月28日(月)	
13	高幡台小学校	10月5日(金)	
14	南平小学校	12月6日(木)	
15	程久保小学校		1月29日(火)
16	旭が丘小学校		1月23日(水)(一般訪問)
17	平山台小学校	5月28日(月)	
18	東光寺小学校		1月30日(水)(一般訪問)
19	三沢台小学校	2月1日(金)	
20	仲田小学校	1月11日(金)	

№	中学校名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日野第一中学校	12月7日(金)	
2	日野第二中学校	10月29日(月)	
3	七生中学校		11月14日(水)(一般訪問)
4	日野第三中学校	11月13日(火)	
5	日野第四中学校	10月4日(木)	
6	三沢中学校		7月11日(木)
7	大坂上中学校	11月15日(木)	
8	平山中学校		7月6日(金)

# 昭和59年度 日野市教育委員会指導室の年間活動計画

## A 一般研修

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
学校経営研修会 (6回)	市立幼稚園・小・中学校の運営に当たる教職員を対象に学校(園)の管理・運営のあり方を求め、学校経営や教育課題について研修する。  (榎本・原田)	5/24(木)	学校教育の現状とあるべき姿	市役所	校長任・等 園長・一般 教頭論
		5/31(木)	教師への期待	市役所	
		6/26(火)	21世紀に生きる子どもの資質	市役所	
		7/24(火)	教育小論文のまとめ方	市役所	
		7/27(金)	地域社会と連携する学校経営	市役所	
		未 定		市役所	
教育課程研修会 (5回)	教育課程の充実・改善・学習指導計画について研修し、各校の実践化を図る。  (原田・榎本)	5/24(木)	学校教育の現状とあるべき姿	市役所	小・中一般 教諭
		5/31(木)	教師への期待	市役所	
		9/25(火)	学校裁量の時間の工夫	市役所	
		10/18(木)	特別活動のあり方と工夫	市役所	
		11/ 2(金)	学校評価のあり方	市役所	
幼児教育研修会 (3回)	幼児の心理発達を的確にとらえるとともに、望ましい幼児教育の充実を図る。  (原田・榎本)	4/26(木)	幼児の発達課題 1	市役所	公幼立 園(私立) 教諭
		5/15(火)	幼児の発達課題 2	市役所	
		5/31(木)	指導計画作成上の工夫	市役所	
人教育権 尊修重 会(3回)	同和教育について正しい理解と認識を深め、同和教育を推進するため、研究及び協議を行う。  (榎本・原田)	7/ 2(月)	学校経営と同和教育	市役所	校・長一 般教頭 論
		9/13(木)	学級経営と人材尊重教育	市役所	
		10/ 9(火)	教科指導と人材尊重教育	市役所	

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象	
学級経営	日々の学級指導を効果的にするために、学級経営のあり方について研修する。	5/10(木)	教育活動とカウンセリングマインド	市役所	一般教諭	
		6/12(火)	学級の雰囲気作りと担任の役割	市役所		
道徳教育	道徳的实践力を向上させるための指導計画と指導のあり方について	10/29(月)	道徳的实践力と指導計画	市役所	一般教諭	
		11/29(木)	道徳的实践力を高める指導とその条件	学 校		
心障教育	事例研究等を通して、心障教育のあり方について研修する。	6/7(木)	養護・訓練の実際と指導資料	市役所	一心障担当	
		6/26(火)	交流教育の実際と今後のあり方	市役所		
新規採用教諭研修会 (14回)	教員の職責の重要性を認識した上で各学校の教育目標にそって一人一人の児童生徒の能力・特性を十分に伸ばす学習指導・生活指導・学級経営ができるように講義・授業研究を行い教職の専門性を高める。	4/4(木)	教職員の職務、学校教育の概要	市役所	新任教諭・経験三年未満の教諭	
		5/10(木)	教育活動とカウンセリングマインド	市役所		
		5/22(火)	学習指導と評価	市役所		
		6/14(木)	授業研究「評価を生かした授業」	学 校		
		9/11(火)	授業研究「授業記録の取り方と分析」	学 校		
		10/16(火)	教育機器を生かした授業の設計	市役所		
		11/5(月)	指導案の作成とTPシートの作成	市役所		
		11/26(月)	授業研究「教育機器を生かした授業」	学 校		
		1/12(月)	授業研究「学習態度を生かした授業」	学 校		
		2/22(火)	良い授業の条件	市役所		
		2/21(木)	現地研修と一年間の反省	現 地		
		4/5(木)	定期健康診断の進め方	学 校		養護教諭
		未 定	定期健康診断の事後処理	学 校		
		未 定	保健室の管理と運営	学 校		

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
学習指導法研修会 (4回)	児童・生徒の可能性を伸ばす学習指導法のあり方を探る。 (榎本・原田)	5/7(月)	社会科見学指導者講習	現 地	小・中一般教諭
		10/16(火)	教育機器を生かした授業の設計	市 役 所	
		11/5 (月)	指導案の作成とTPシートの作成	市 役 所	
		11/26(月)	教育機器を生かした授業	学 校	
実技研修会 (5回)	日々の学習指導において指導の効果を高めるために実技を中心に研修する。 (原田・榎本)	6/21(木)	実技(水泳指導法)	学 校	幼一・小・教諭 中諭
		6/22(金)	" ( " )	学 校	
		7/25(水)	" (陶 芸)	学 校	
		7/26(木)	" ( " )	学 校	
		8/29(水)	" (リズム運動)	学 校	
学研 校保 修健 会	健康・安全教育を進めるため学校保健について研修する。(原田・榎本)	7/17(火)	学校保健委員会の組織と運営	市 役 所	養保健 護教 主諭 任
		9/25(火)	保健指導の進め方	市 役 所	
事研 務職 員会	学校運営を円滑に進めるため学校事務について研修する。 (原田・榎本)		学校事務について	市 役 所	学職 校事 務員
教育 相 談 研 修 会 (9回)	ア. 事例研究又は児童理解の研修を通して教育相談に関する技術の向上と教育相談的手法を取り入れた児童理解にとりくみ、問題行動についての原因を究明し解決のいと口をつかむ。 イ. 教育相談理論について研修する。 (榎本・原田)	5/10(木)	教育活動とカウンセリングマインド	市 役 所	教育相談員・相談係・研修員・一般教諭
		5/21(月)	児童・生徒理解	市 役 所	
		6/15(火)	教育相談の基本的な技法	市 役 所	
		6/18(月)	児童・生徒理解と諸検査	市 役 所	
		8/6(月)	学級経営と教育相談的手法	市 役 所	
		8/7(火)	問題行動と教育相談	市 役 所	
		9/11(火)	事例研究	市 役 所	
		10/8(月)	事例研究	市 役 所	
		10/19(金)	家族、関係諸機関との連携	市 役 所	

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
教職経験 (六年時) 研修会 (6回)	教職経験5年を経過した 教職員を中心に学級経営・ 学習指導法の改善等につい て研修し専門性を高める。  (原田・榎本)	5/10(木)	教育活動とカウンセリング マインド	市役所	小・中 (六年時) 教諭
		5/22(火)	学習指導と評価	市役所	
		6/14(木)	授業研究「評価を生かした 授業」	学 校	
		10/16(火)	教育機器を生かした授業の 設計	市役所	
		11/ 5(月)	指導案の作成とTPシート の作成	市役所	
		11/26(月)	授業研究「教育機器を生か した授業」	学 校	

## B 宿泊研修会(一日研修を含む)

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
教研 主任 研修 宿泊 会	児童・生徒の実態と地域 に即した教育課程の編成と 実施をめざし、他地域を参 観したり、情報交換等をと おして教務主任としての資 質を高める。 (原田)	11/21(木) 11/22(木)	○教育課程の趣旨を生かし 主体的学習を促す学習指 導・学級指導を実践して いる学校を参観し、自校 の教育課程編成に生かす。		会教 務 主 長 任
生活 指導 主任 研修 会	児童・生徒の実態を把握 し生活指導の確立を図るた め他地域を参観し情報交換 をとおして生活指導主任の 資質を高める。 (榎本)	11/ 1(木) 11/ 2(金)	○他校訪問-参観校の生活 指導組織とその実践を見 学し自校の指導に生かす。 ○研究協議		正生 活 副 指 導 主 長 任
保健 主任 研修 一日 会	学校保健の組織的活動を 行い積極的に成果をあげて いる学校を参観し自校の実 践化に役立てる。 (原田・榎本)		○学校教育の中における保 健委員会の有機的な機能 の実際を参観、協議する。 ○保健主任と養護教諭の職 務分掌の具体的事例の中 心に意見交換。		会保 健 主 長 任
進路 指導 主任 研修 会	全校的な指導体制の強化 ・充実を図るため、他地域 を参観し情報交換をとおし て進路指導主任の資質を高 める。 (榎本)	10/11(木) 10/12(金)	○他校訪問 参観校の進路指導の指導 計画並びに組織とその実 践を見学し自校の指導に 生かす。 ○研究協議		会進 路 指 導 主 長 任

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
新任 教諭 研修 宿泊 会	一学期の教職経験を話し 合い、指導上の課題を協力 して解決し、教職の専門性 を高める。  (榎本・原田)	8/1(水)	○講演「児童・生徒理解の 方法と生活指導」 ○研究討議「一学期の反省 と指導上の問題点」 ○自然観察の指導 「動物・植物・星・川」		新規採用教諭

### C その他の委員会等

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
教 務 主 任 会	教務主任の立場から円滑 な学校運営のあり方を研修 すると共に当面する教育課 題について研究協議し自校 の教育活動の改善・充実に 役立てる。  (原田・榎本)	4/19(木) 5/17(木) 6/14(木) 7/12(木) 9/20(木) 10/11(木) 12/13(木) 1/17(木) 2/14(木) 3/7(木)	○教務主任の職務について 研修する。 ○円滑な学校運営を図る教 務主任のあり方について ○当面する教育課題につい て情報を交換し、実践に 役立てる。	市役所  又は  学 校	小中・ 教務主任
生 活 指 導 主 任 会	生活指導についての共通 理解を深め、それぞれの学 校における生活指導上の問 題を解決するため情報交換 と研修を進める。  (榎本・原田)	4/16(月) 5/7(月) 6/4(月) 7/2(月) 9/3(月) 10/8(月) 11/12(月) 12/3(月) 1/14(月) 2/4(月) 3/4(月)	○生活指導上の臨床的対策 にとどまらず学校生活に 喜びを感じ、自身の能力 を十分に伸ばせるような 生活指導のあり方をめざ して、研究を進める。	市役所  又は  学 校	小中・ 生活指導主任

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
中学校生活指導主任会	中学校の生活指導及び学校間の協力体制を推進し、生活指導の充実を図る。  (榎本・原田)	4/23(月) 5/21(月) 6/18(月) 7/16(月) 9/17(月) 10/22(月) 11/19(月) 12/17(月) 1/21(月) 2/18(月) 3/11(月)	○先生と生徒、生徒間の人間関係のあり方を研究し学校生活に生きがいを感じずるような生活指導の確立をはかる。	市役所 又は 学 校	中・生活指導主任
保健主任会	心身ともに健全な児童・生徒の育成を図るための保健教育のあり方を研究し、健康・安全教育の推進について研修を進める。  (榎本・原田)	4/16(月) 5/14(月) 6/11(月) 7/9(月) 9/10(月) 10/22(月) 11/12(月) 12/10(月) 1/14(月) 2/4(月) 3/11(月)	○学校保健のあり方について研修を深める。 ○学校における保健指導の実態のもとに情報を交換し、望ましいあり方について研究する。 分科会研究 ○研究発表	市役所 又は 学 校	小中・保健主任
進路指導主任会	中学校の進路指導の基本的なあり方について研修するとともに、進路情報を交換する。  (榎本・原田)	4/20(金) 5/18(金) 6/15(金) 7/13(金) 9/21(金) 10/19(金) 11/16(金) 12/4(金) 1/18(金) 2/15(金) 3/15(金)	○全校的な指導体制を確立し、進路指導の充実をはかる方法を研究する。 ○各校の進路指導上の問題点の整理と検討。 ・進路指導の全体計画 ・各学年の指導の重点 ・進路指導を推進するための組織運営 ・指導資料	市役所	中・進路指導主任
社改訂委員会 社会科副読本	小学校社会科副読本「わたしたちの日野」、中学校社会科副読本「のびゆく日野」の改訂を行う。  (原田・榎本)	年 間	○学習指導要領の改訂にそって日野市小中学校社会科副読本の部分改訂を行う。	市役所	小中・改訂委員

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
小教育 中学校 科学センター	小中学校の児童・生徒の 科学的能力・技術の向上・ 態度の育成と指導者の理科 指導の技能を高める。  (原田・榎本)	5 月  2 月	小学校 南平小(南部) 旭が丘小(北部) 中学校 大坂上中 毎土曜日午後 小学校 20回、中学校 10回 (平均して)	(委嘱校) 南平小 旭が丘小 大坂上中	参加児童・ 運営委員 生徒
学連 校協 保議 健会	心身共に健康で明るい児 童・生徒の育成のため、健康 ・安全に係る諸業務の運営 について連絡協議する。  (榎本・原田)	4/9(月) 11/24(出) 3/2(出)	○保健業務に係る連絡調整 ○健康・安全に関する情報 交換 ○健康・安全のための教育 指導に関する研修 ○研究発表	市役所  中央館	養護 教諭
人担 権当 尊者 重連 教絡 育会	人権尊重教育の視点に立 って学校教育を推進するた め同和教育の本質を正しく 認識し、児童・生徒の可能 性を伸ばし、自己実現が図 られるよう研修及び連絡協 議を行う。  (榎本・原田)	7/2(月) 9/13(木) 10/9(火)	○同和教育の視点に立った 人権尊重教育を推進する ための研修会を行う。 ○人権尊重の精神を徹底す るため各校の教育目標あ るいは指導の重点につい て、検討し指導の充実を 図る。	市役所	各教育 人権尊重 教諭
心身 障害 教育 推進 協議 会	心身に障害のある幼児・ 児童・生徒に適切な教育を 進めるため、指導内容・方 法について研究協議し、心 身障害教育の充実を図る。  (原田・榎本)		○心身障害教育の充実を図 るため、研究・研修・相 談の各部門を置き活動を 行う。 ○心身障害教育の啓蒙に関 する事業を推進する。 ○心障教育の検討に関する こと。	市役所  又は 学 校	心障 教育 推進 担当者
就学 相談 委員 会	心身に障害のある幼児・ 児童・生徒の障害及び発達 に応じて適切な教育措置を 行う。  (原田・榎本)	第一回 10/13(出) 14(日)  第二回 12/8(出) 9(日)	○東京都教育委員会、教育 相談所及び児童相談所等 と連絡をとりながら就学 に関する継続相談を行う。 ○障害児の立場に立って適 切な教育を行うため、各 種専門家による就学相談 を行う。	第 三 幼 稚 園	就教 育指 導 委員 員

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
授業研究委託	<p>幼児・児童・生徒の実態に応じて個々の能力を伸ばす指導法の改善のため授業研究を行う。</p> <p>(榎本・原田)</p>	4月委託 申込受付 3月記録 提出	<p>○各小・中学校に授業研究委託費15万円支給</p> <p>○年度末に授業記録(3事例)を提出する。</p> <p>○研究授業を日野市内校に公開する。</p>		小・中学校
ケース研究会	<p>事例研究を通して、望ましい教育相談技術等を探る。</p> <p>(榎本・原田)</p>	6/23(出) 9/27(休) 11/22(休) 2/21(休)	事例研究	市役所	教育相談員
中学校員評価委員会	<p>教育課程の編成に伴う評価の実践的研究を行い教育課程編成の資料を作成する。</p> <p>(榎本・原田)</p>	年 間	<p>各教科、道徳の分科会を構成し、授業を通して評価について研究し、資料を作成する。</p>	市役所 又は 学 校	小・委員
体育委員会	<p>児童の健康・運動能力の実態を把握し、その増進を図るための具体的方策を考え、学校教育活動全体を通じた体育指導の実践化と生活化を図る。</p> <p>(榎本・原田)</p>	4/24(火) 5/15(火) 6/12(火) 7/12(休) 9/20(休) 10/16(火) 11/6(火) 12/11(火) 1/22(火) 2/5(火) 3/5(火)	<p>○体位・体力向上のための学校教育活動全体の検討に関すること。</p> <p>○体育科の教科指導充実のための研究・研修に関すること。</p> <p>○「体力づくりの日」の効果的実践のための検討に関すること。</p>	市役所 又は 学 校	体育主任

昭和59年度 日野市教育委員会  
指導室関係及び幼小中学校行事予定表

△午前  
○午後  
□全日

4月

日	曜	市	都
1	㊥	△新任教頭辞令伝達式 ○新任校長辞令伝達式	
2	月		
3	火	△校長会	
4	水	△新採教諭研修会	
5	木	(春季休業日終)	
6	金	第一学期始業 △○小学校入学式	
7	土	△中学校入学式	
8	㊥		
9	月	○学校保健連絡協議会	
10	火	○園長・副園長会	○指導主事二地区会
11	水		△学校訪問協議会
12	木	○日光移動教室運営委員会	□都市指導主事会
13	金		
14	土		
15	㊥		
16	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	△生活指導担当指導主事会
17	火		
18	水		△指導主事連絡協議会 ○多摩地区指導主事連協
19	木	○教務主任会	
20	金	△教頭会 ○進路指導主任会	
21	土		
22	㊥		
23	月	○中学校生活指導主任会	△体育保健給食担当指導主事連絡協議会
24	火	○体育委員会	
25	水		
26	木	○幼児教育研修会	
27	金	□日光移動教室実踏	○都市指導主事会
28	土	□	
29	㊥	(天皇誕生日)	
30	㊦	(休日)	
辞令伝達式 小学校科学センター開校式 都一般訪問締切4月16日(月)			(20日)

5月

日 曜	市	都
1 火		
2 水	○教育相談 ケース会議	△指導主事二地区会
3 ㊦		
4 金		
5 ㊧		
6 ㊨		
7 月	○生活指導主任会 ○社会科見学説明会(小3)	
8 火	△校長会 ○心障協総会	
9 水	○市教研総会(中)	
10 木		△同和教育指導推進委員会
11 金	○学校経営・教育課程研修会 ○水泳記録会運営委員会	
12 土		△都市指導主事会
13 ㊩		
14 月	○副園長会 ○保健主任会	移旭 □
15 火	○幼児教育研修会 ○体育委員会	移旭 が丘 □
16 水	○市教研総会(小)	□一般訪問
17 木	○教務主任会 ○音楽鑑賞教室運営委	△心障担当指導主事連絡協議会
18 金	△教頭会 ○進路指導主任会	○多摩地区生活指導研究協議会(世話人会)
19 土		□修
20 ㊪		一三 中中 □
21 月	○中学校生活指導主任会 ○教育相談研修会	
22 火	○新採・6年時研修会	○健全育成行政連絡会議多摩地区
23 水	□B訪問(三小)	□一般訪問(三小)
24 木		移東 合光 寺 □
25 金		移高 六 幡 小 □
26 土		
27 ㊫		
28 月	□A訪問(平山台小)	移七 小 □
29 火	□A訪問(四小)	移八 小 □
30 水		移潤 徳 □
31 木	○幼児教育研修会 ○学校経営・教育課程研修会	移二 平 山 小 □
中学校科学センター開校式 心障協総会 プール管理者講習会 中学校評価委員会 多摩地区生活指導研究協議会世話人会 18日 多摩指導担当指導主事世話人会 14日		移二 平 山 小 □

(25日)

6月

日	曜	市	都
1	金	□ A 訪問 (二中) □ 移三小 □ 移四中	□ □
2	土		
3	日		
4	月	○生活指導主任会 □ 移三沢台 程久保	△指導主事二地区会
5	火	△校長会 ○教育相談研修会 移平山台 □ 移四小	□ 一般訪問 □ 移二平山中
6	水		
7	木	心障教育研修会 プール管理者説明会 □ 移大坂中 □ 移三上	○道德教育指導助言者研究協議会 □ 移平山中 □ 移一小
8	金		
9	土		△都市指導主事会
10	日		
11	月	○保健主任会 ○副園長会	○帰国子女教育連絡協議会
12	火	○学級経営研修会 ○体育委員会 □ 修大坂上	
13	水		□ 一般訪問
14	木	○教務主任会 ○新採・6年時研修会 □ 移五小	△生活指導担当指導主事連絡協議会 □ 修二平山中
15	金	△教頭会 ○進路指導主任会 ○水泳記録会運営委員会	□ 修三沢中
16	土		
17	日		
18	月	○中学校生活指導主任会 ○教育相談研修会	
19	火	□ B 訪問 (五幼)	○道德教育指導助言者研究協議会
20	水		□ 一般訪問
21	木	○体育実技研 (水泳) □ 修四小 □ 心七生中 (宿訓練)	△都市指導主事会
22	金	○体育実技研 (水泳)	○多摩地区生活指導研究協議会
23	土	○教育相談ケース会議	
24	日		
25	月		
26	火	○学校経営研修会 ○心障教育研修会	
27	水		□ 一般訪問
28	木	○音楽鑑賞教室運営委員会	△同和教育指導推進委 ○道德教育指導助言研
29	金	□ B 訪問 (八小)	
30	土		

( 26 日 )

7月

日	曜	市	都
1	㊤		
2	月	○生活指導主任会 ○入権尊重教育研修会	
3	火	△校長会	
4	水	□A訪問(四幼)	□一般訪問
5	木		△指導主事二地区会
6	金	□B訪問(平山中)	
7	土		△都市指導主事会
8	㊤		
9	月	○保健主任会 ○副園長会	
10	火	□A訪問(六幼)	
11	水	□B訪問(三沢中)	□一般訪問
12	木	○教務主任会 ○体育委員会	
13	金	△教頭会 ○進路指導主任会	△指導主事連絡協議会
14	土		
15	㊤		
16	月	○中学校生活指導主任会	
17	火	○学校保健研修会	
18	水		
19	木		
20	金	一学期終業	
21	土	(夏季休業日始)	
22	㊤		
23	月		
24	火	○学校経営研修会	
25	水	□実技研修(陶芸)	
26	木	□実技研修(陶芸)	
27	金	○学校経営研修会	
28	土		
29	㊤		
30	月		
31	火	□新採教諭宿泊研修会	

プール訪問  
都一般訪問締切13日(金)

(17日)

8月

日	曜	市	都
1	水	□新採教論宿泊研修会	
2	木		
3	金		
4	土		
5	Ⓟ		
6	月	○教育相談研修会	
7	火	○教育相談研修会	
8	水		
9	木		
10	金		
11	土		
12	Ⓟ		
13	月		
14	火		
15	水	○学校経営研修会	
16	木		
17	金		
18	土		
19	Ⓟ		
20	月		
21	火		□教育研究員御岳研修
22	水		┆(小)
23	木		□ □
24	金		┆(中)
25	土		□ □
26	Ⓟ		┆
27	月		□(高・心障・幼)
28	火		
29	水	△体育実技研修(リズム)	
30	木		
31	金	夏季休業日終	
プール訪問			

9月

日	曜	市	都
1	土		
2	日	第二学期始業	
3	月	○生活指導主任会 ○音楽鑑賞教室運営委員会 ○水泳記録会運営委員会	
4	火	△校長会 ○水泳記録会(川南)	△指導主事連絡協議会 ○多摩地区指導主事連絡協議会
5	水	○水泳記録会(川北)	
6	木	○水泳記録会(中学)	△学校訪問協議会
7	金	(小中水泳記録会予備日)	
8	土		△都市指導主事会
9	日		
10	月	○保健主任会 ○園長会 ①水泳記録会予備日	△指導主事二地区会
11	火	○教育相談研修 ①水泳記録会予備日 ○新採教諭研修会	
12	水		
13	木	○人権尊重教育研修会	
14	金		
15	土	(敬老の日)	
16	日		
17	月	○中学校生活指導主任会	
18	火	□音楽鑑賞教室(小中)	□訪 七 生 中
19	水	○音楽鑑賞教室(中)	
20	木	○教務主任会 ○体育委員会	
21	金	△教頭会 ○進路指導主任会	△心障担当指導主事連絡協議会 △都市指導主事会
22	土		
23	日	(秋分の日)	
24	日	(休日)	
25	火	○教育課程研修会 ○学校保健研修会	□修 七 生 中
26	水		
27	木	○教育相談ケース会議	□一般訪問 △同和教育指導推進委
28	金		△生活指導担当指導主事連絡協議会
29	土		
30	日		

(23日)

10月

日 曜	市	都
1 月	(都民の日)	
2 火		
3 水		<input type="checkbox"/> 一般訪問
4 木	<input type="checkbox"/> A訪問(四中)	
5 金	<input type="checkbox"/> A訪問(高幡台小)	
6 土		
7 日		
8 月	<input type="checkbox"/> 生活指導主任会 <input type="checkbox"/> 教育相談研修会	<input type="checkbox"/> 副園長会
9 火	<input type="checkbox"/> 校長会 <input type="checkbox"/> 人権尊重教育研修会	
10 水	(体育の日)	
11 木	<input type="checkbox"/> 教務主任会 <input type="checkbox"/> 進路指導主任宿泊研修会	
12 金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 多摩地区生活指導研究協議会
13 土	<input type="checkbox"/> 第一次就学相談	<input type="checkbox"/> 都市指導主事会
14 日	<input type="checkbox"/> 第一次就学相談	
15 月		
16 火	<input type="checkbox"/> 新採・6年時・学習指導法研修会 <input type="checkbox"/> 体育委員会	<input type="checkbox"/> 指導主事二地区会
17 水	<input type="checkbox"/> 市教研体育実技研修会	<input type="checkbox"/> 一般訪問
18 木	<input type="checkbox"/> 教育課程研修会	<input type="checkbox"/> 健全育成行政連絡会多摩地区
19 金	<input type="checkbox"/> 教頭会 <input type="checkbox"/> 教育相談研修会 <input type="checkbox"/> 保健主任会	
20 土		
21 日		
22 月	<input type="checkbox"/> 中学校生活指導主任会 <input type="checkbox"/> 保健主任会	
23 火	<input type="checkbox"/> 体力づくりの日	
24 水	<input type="checkbox"/> B訪問(一幼)	<input type="checkbox"/> 一般訪問(一幼)
25 木		<input type="checkbox"/> 都市指導主事会
26 金	( <input type="checkbox"/> 体力づくりの日予備)	<input type="checkbox"/> 同和教育指導推進委
27 土		<input type="checkbox"/>
28 日		
29 月	<input type="checkbox"/> 道徳教育研修会	
30 火	<input type="checkbox"/> B訪問(六小)	
31 水		<input type="checkbox"/> 一般訪問
心障連合運動会(21日)(日) 生活指導担当世話人会18日(木)		
(25日)		

11月

日	曜	市	都
1	木	□生活指導主任宿泊研修会	△幼稚園担当指導主事連絡協議会
2	金	□○教育課程研修会	
3	⊕	(文化の日)	
4	⊕		
5	月	○新採・6年時・学習指導法研修会	○婦国子女教育連絡協議会
6	火	△校長会 ○体育委員会	
7	水		□一般訪問
8	木	□B訪問(潤徳小)	
9	金	□A訪問(二幼)	
10	土		△都市指導主事会
11	⊕		
12	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	
13	火	□A訪問(三中)	
14	水	□B訪問(七生中)	□一般訪問(七生中)
15	木	□A訪問(大坂上中)	
16	金	△教頭会 ○進路指導主任会	
17	土		△指導主事二地区会
18	⊕		
19	月	○中学校生活指導主任会	○学校保健・給食担当指導主事連絡協議会
20	火	□A訪問(平山小)	
21	水	□教務主任宿泊研修会	□一般訪問
22	木	□○教育相談ケース会議	△都市指導主事会
23	⊕	(勤労感謝の日)	
24	土	△学校保健連絡協議会	
25	⊕		
26	月	○学習指導法・新採・6年時研修会	△生活指導担当指導主事連絡協議会
27	火	□B訪問(五小)	
28	水	□B訪問(七小)	
29	木	○道徳教育研修会	△心障担当指導主事連絡協議会
30	金		○多摩地区生活指導研究協議会(世話人会)
<p>都一般訪問締切16日(金)</p> <p>多摩地区生活指導研究協議会世話人会30日(金)</p> <p style="text-align: right;">(24日)</p>			

12月

日	曜	市	都
1	土		
2	日		
3	月	○生活指導主任会	△指導主事二地区会
4	火	△校長会 ○進路指導主任会	
5	水	□B訪問(一小)	□一般訪問(一小)
6	木	□A訪問(南平小)	
7	金	□A訪問(一中)	
8	土	○第二次就学相談	△都市指導主事会
9	日	□第二次就学相談	
10	月	○保健主任会 ○副園長会	
11	火	○体育委員会	△指導主事連絡協議会
12	水		
13	木	○教務主任会	○体育担当指導主事連絡協議会
14	金	△教頭会	
15	土		
16	日		
17	月	○中学校生活指導主任会	
18	火		
19	水		
20	木		○都市指導主任会
21	金		
22	土		
23	日		
24	月		
25	火	第二学期終業	
26	水	(冬季休業日始)	
27	木		
28	金		
29	土		
30	日		
31	月		

(21日)

1月

日	曜	市	都
1	㊦		
2	水		
3	木		
4	金		
5	土		
6	㊦		
7	月	冬季休業日終	○指導主事二地区会
8	火	第三学期始業	
9	水		
10	木	△校長会	
11	金	□A訪問(仲田小)	
12	土		△都市指導主事会
13	㊦		
14	月	○生活指導主任会 ○保健主任会 ○園長会	
15	㊦	(成人の日)	
16	水		□一般訪問
17	木	○教務主任会	
18	金	△教頭会 ○進路指導主任会	○多摩地区生活指導研究協議会
19	土		
20	㊦		
21	月	○中学校生活指導主任会 ○新採教諭研修会	
22	火	○体育委員会	△指導主事連絡協議会
23	水	□B訪問(旭が丘小)	□一般訪問(旭が丘小)
24	木		△同和教育指導推進委
25	金		△都市指導主事会
26	土		
27	㊦		
28	月	□A訪問(滝合小)	
29	火	□B訪問(程久保小)	
30	水	□B訪問(東光寺小)	□一般訪問(東光寺小)
31	木		△心障担当指導主事連絡協議会
教育研究員希望調査			
(20日)			

## 2月

日	曜	市	都
1	金	□ A 訪問 (三沢台小)	
2	土		△指導主事二地区会
3	㊤		
4	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	
5	火	△校長会 ○体育委員会	
6	水		□一般訪問
7	木	○教育課程届出説明会	△体育・保健・給食担当指導主事連絡協議会
8	金	□ B 訪問 (百草台)	
9	土		△都市指導主事会
10	㊤		
11	㊤	(建国記念の日)	
12	火	○新採教諭研修会 ○副園長会	
13	水	○市教研発表会	□一般訪問
14	木	○教務主任会	
15	金	△教頭会 ○進路指導主任会	
16	土		
17	㊤		
18	月	○中学校生活指導主任会	
19	火		○多摩地区健全育成行政連絡会議
20	水		
21	木	○新採教諭研修会 ○教育相談ケース会議	△都市指導主事会
22	金	○事務職員研修会	△生活指導担当指導主事連絡協議会
23	土		
24	㊤		
25	月		
26	火	□ A 訪問 (二小)	
27	水	□ B 訪問 (三幼)	
28	木		

( 23 日 )

## 3月

日	曜	市	都
1	金		
2	土	△学校保健連絡協議会	
3	日		
4	月	○生活指導主任会	
5	火	△校長会 ○体育委員会	
6	水		△同和教育指導推進委
7	木	○教務主任会	
8	金		
9	土		△都市指導主事会
10	日		
11	月	○保健主任会 ○副園長会 ○中学校生活指導主任会	
12	火		△指導主事連絡協議会 ○多摩地区指導主事連絡協議会
13	水		△学校訪問協議会
14	木		○帰国子女教育連絡協議会
15	金	△教頭会 ○進路指導主任会	
16	土		
17	日		
18	月	△幼稚園修了式	
19	火	△中学校卒業式	
20	水		
21	木	(春分の日)	
22	金		△都市指導主事会
23	土	△小学校修了式	
24	日		
25	月	△小学校卒業式	
26	火	春季休業始	
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		
生活担当指導主事世話人会 15日 指導主事二地区会 4月8日(町田) (20日)			

# 日野市教育相談室

## 設置の趣旨

日野市に在住する幼児・児童・生徒（高校生を含む）及びその保護者を対象とする教育相談に応ずる。  
また、学校の行う教育相談への協力・援助を行い、教育相談活動への促進と充実を図る。

### ○ 一般教育相談

幼児・児童・生徒の学習、性格、行動、性癖、進路適性等についての相談に応じ、治療や助言・援助を行う。

### ○ 心身障害教育相談

心身に障害をもつ幼児・児童・生徒についての相談に応じ、障害の種類や程度、及び発達の状況の把握に努め、一人一人の能力を十分に伸長させるために就学相談及び教育措置に関する相談を行う。

### ○ 生活指導相談

幼児・児童・生徒の問題行動、非行等についての相談に応じ保護者、学校、関係諸機関と協力し、指導、助言、援助を行う。

## 構 成

相談室長 園田 匠（日野市教育委員会指導室長）

### 教育相談員

井 尻 武子（日野一小教諭）	川原田 和子（程久保小教諭）	河 井 英子（教育委員会）
吉沢佐久子（日野二小 "）	石原 八重子（旭が丘小 "）	御子柴万里子（ " ）
佐久間久美子（潤徳小 "）	清水 妙子（仲田小 "）	田 窪 章子（ " ）
越村 あや子（日野七小 "）	平向 邦江（日野四小 "）	松延 耕作（ " ）
		村田 安正（ " ）

### 教育相談研修員

品川 久美子（日野一小教諭）	武田 礼子（日野五小教諭）	斉藤 弥生（旭が丘小教諭）
八木 正子（日野二小 "）	山田 久代（ " "）	堀江 嘉寿子（日野一中 "）
蜂屋 道恵（日野三小 "）	前沢 美佐江（滝合小 "）	近藤 康代（七生中 "）
宮本 京子（ " "）	増田 潔（高幡台小 "）	辰己 恵子（日野三中 "）
久保 起世（日野四小 "）	阿部 二三子（南平小 "）	菊次 生子（ " "）
和田 実千代（ " "）	内堀 陽子（程久保小 "）	原沢 和江（三沢中 "）
針田 和子（日野五小 "）	小原 ゆりえ（ " "）	

担当指導主事 榎本 和男 原田 修一

担当指導係長 土方 重男

顧問 佐藤 正(東京女子体育大学教授)

石島 徳太郎(精神医)

福島 脩美(東京学芸大学教授)

## 運 営

保護者、又は幼稚園・小中学校を通じての申込により、下記日時に無料で相談に応じる。

- 場 所 教育委員会内 日野市教育相談室
- 申 込 み 先 教育委員会指導室内 日野市教育相談室  
(TEL 85-1111 内線424)
- 教育相談事務担当 佐藤 真(月～金 9:00～17:00)  
土 9:00～12:00)
- 一般教育相談担当 河井 英子(火・木 10:00～16:00)  
相談は 1:00～16:00)
- 心身障害教育相談担当 御子柴万里子(月・金 9:00～16:00)
- 田窪 章子(月・水 9:00～16:00)
- 生活指導相談担当 松延 耕作(水・金 9:00～16:00)
- 村田 安正(月・水 9:00～16:00)
- 教育相談概況

### 主訴別件数

種 別	分 類	対 象	幼 児	小 学 校	中 学 生	高 校 生	そ の 他	計
性 格 ・ 行 動 に 関 す る も の	登 園、登 校 拒 否		4	6	13	5		28
	おとなしい集団に入れない		1	5	1			7
	落 ち つ き が ない		1					1
	乱 暴、暴 力			1	5	1		7
	やる気がない、のろま			1	2			3
	わ が ま ま		1					1
	非 行(ぬすみ・万引)			1	5			6
	怠 学、怠 情			2	3			5

種 別	分 類	対 象					計
		幼 児	小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他	
精 神・身 体 に 関 する も の	緘 黙		1				1
	こ と ば の 遅 れ	5					5
	神 経 性 習 癖				1		1
	遺 尿、夜 尿		2				2
知 能・学 業 に 関 する も の	学 業 不 振		3				3
	就 学、進 学	2	1				3
	知 能、検 査	1					1
	指 導 上 の 問 題			1			1
そ の 他	家 庭 環 境 問 題		2				2
	そ の 他		2				2
計		15	27	30	7		79

○ 心身障害児の相談

就 学 相 談		小	中
内 訳	養 護 学 校	6	3
	心 障 学 級	3	8
	普 通 学 級	11	2
	猶 予	3	0
	施 設	0	1
計		23	14

措 置 替 ・ 転 学 相 談		
内 訳	養 護→心 障	1
	普 通→病 弱 養 護	2
	心 障→精 薄 養 護	2
	私 立 小→ろ う 学 校	1
	普 通→肢 体 不 自 由 養 護	2
	普 通→心 障	3
	心 障→普 通	1
	相 談 の み	6
計		17

# 日野市心身障害教育推進協議会

## 目 的

この協議会は、日野市から研究委託を受けて、心身障害教育の充実を図るために、心身に障学のある児童・生徒に適切な教育を保障するための教育措置のあり方、教育条件の整備、指導内容・方法の改善に関する研究及び、一般職員の心身障害教育に対する意識・理解を深めるための研修等の諸事業を企画し実践することを目的とする。

## 事業の内容

この目的を達成するため、協議会会長校に事務局を置き協議会の運営にあたる。主な事業として、次のことを行う。

- (1) 心身障害学級の適正配置に関する将来的構想の検討
- (2) 心身障害児童及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成
- (3) 心身障害学級の教育計画の作成と教材教具の研究と開発
- (4) 就学相談の充実と相談活動への協力と援助
- (5) 教育措置者の学校への適応状況及び発達状況の追跡調査
- (6) 学校における相談組織と機能の充実

## 組 織

- (1) この会は、次に掲げる者をもって組織する。

日野市教育委員会教育長、指導室長、指導主事、指導係長、日野市立心身障害学級設置校長、心身障害学級担任、幼小中学校(園)の各校1名以上の教員、教育相談室専任相談員、顧問医

- (2) この会には、次の専門部を置き、それぞれの活動を行う。

- |       |   |
|-------|---|
| ア 研究部 | 教育措置者の学校への適応状況と発達状況の追跡調査<br>学校における相談組織と機能の充実を図る研究 |
| イ 研修部 | 心身障害児及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成に関する研究                |
| ウ 相談部 | 就学相談の充実と相談活動への協力と援助                               |

## 研究委託

今年度は、日野市教育委員会から別紙の内容についての研究を委託されている。

昭和59年4月25日

日野市中心身障害教育推進協議会

会長 古田 耿 介 様

日野市教育委員会

教育長 長 沢 三 郎

## 昭和59年度 日野市中心身障害教育推進 協議会への事業委託について

日野市教育委員会は、心身障害教育の充実を期すために、心身障害教育に関する教育条件の整備、指導内容・方法の検討、教育措置のあり方等の調査研究及び実践活動の諸事業を日野市中心身障害教育推進協議会へ委託する。

### 記

#### 1. 心身障害学級の適正配置に関する将来的構想の検討

日野市には、知恵遅れ学級が小学校に2校3学級、中学校に2校3学級、情緒障害学級が小学校に1校1学級、病弱学級が小学校に1校1学級、訪問学級が中学校に1校1学級設置されている。

各学校は、学校間及び都立養護学校と緊密に連携を保ちながら心身障害児の教育措置を行っているが、このような現状をふまえ心身障害教育における課題や改善への方策を検討し、日野市としての心身障害学級をどのように配置していったらよいか、その基本構想についての調査研究を願いたい。

#### 2. 心身障害児及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成

日野市では、国際障害者年の行動計画として、昭和57年2月「日野市の心身障害教育」を作成し、心身障害教育の啓蒙に努めてきた。

心身障害児の教育には、障害の状況を医学及び教育の分野から正しく把握し、心身障害児が障害を克服するための教育的手だてをきめ細かく設計し、心身障害児を援助していくための具体的な活動を推進するとともに、障害の有無を超えて共に生き、社会参加のできる地域づくりを進めることが大切である。

そのためには、すべての児童・生徒及び保護者に対して心身障害児及び心身障害教育に対する正しい理解を深めなければならない。そのための資料を人権尊重の視点に立って作成願いたい。

#### 3. 心身障害学級の教育計画の作成と教材教具の研究と開発

教育は、意図的・計画的に展開していかなければならない。そのためには児童・生徒の実態の把握

と教師の創意とによって、柔軟に工夫のできる指導計画が必要である。

日野市には、心身障害教育（知恵遅れ）年間計画作成の手引書があり、各学校ではこれを参考にし  
て指導計画を作成している。

そこで、日野市の心身障害学級が相互に研究を深め、具体的実践の成果を交換しあい、よりよい教  
育計画の作成と教材教具の研究と開発を願いたい。

#### 4. 就学相談の充実と相談活動への協力と援助

日野市では、精神科医、小児科医、心理学者、心身障害教育関係者、心身障害学級設置校校長及び  
教諭、それに教育相談員を含めた委員により就学相談委員会を組織している。

そこで、就学相談活動の望ましい方法及び相談者の専門的力量を高めるための研修を推進するとと  
もに、きめ細かな相談活動が継続的に行われるように相談活動への協力と援助を願いたい。

#### 5. 教育措置者の学校への適応状況及び発達状況の追跡調査

就学相談の結果に基づいて教育措置を決定した後、その児童・生徒が学校や学級にどう適応してい  
るか。また、期待する教育効果が得られているか。学校及び学級担任に悩みや問題がないか等、継続  
的に追跡調査することが大切である。

そこで、日野市公立学校及び都立養護学校等の義務教育機関に在学している心身障害児の適応状況  
や発達状況を追跡研究し、今後の教育問題に関する相談の充実に資する資料を作成願いたい。

#### 6. 学校における相談組織と機能の充実

各学校では、心身障害児への相談や心身障害児を担当している教師への援助や協力の体制を整えて  
おくことが大切である。

そこで、各学校における心身障害児の教育相談のあり方、担任教師への協力のあり方等について研  
研・調査するとともに、校内での教育相談充実のために教職員の研修について推進願いたい。

## 日野市立小学校科学教育センター

### 1. 名称・所在

日野市立小学校科学教育センターと称し、昭和59年度は、北部センターが東光寺小学校に、南部センターを日野第八小学校の校内に設置する。

### 2. 設立の趣旨

日野市立小学校における科学教育の振興をはかるために設置し、日野市の教員の理科指導の充実に資するための研修と児童の科学的態度・能力・技術の向上に役立つ諸事業を行う。

### 3. センター長・センター次長・指導員

南部センター		学校名	電話	北部センター		学校名	電話
センター長	澁谷 義一	八 小	91-2411	センター長	近内 信輝	東光寺小	84-6200
次 長	渡邊 孝	"	"	次 長	秋永 悦郎	"	"
主 任	石野日出男	"	"	主 任	江口 耕一	"	"
指 導 員	太田 价子	"	"	指 導 員	西田 敦子	"	"
"	菊地 義光	"	"	"	新井 由人	"	"
"	丸茂 洋子	"	"	"	上山美智子	"	"
"	鈴木 節子	"	"	"	永島美保子	"	"
"	川田 浩子	"	"	"	在原 妙子	"	"
"	畑中 隆宏	"	"	"	川井田和子	"	"
"	佐久間久美子	潤 徳 小	91-0409	"	鈴木 則子	一 小	81-0073
"	小林 浜子	"	"	"	杉本 快枝	"	"
"	奥山 優	平 山 小	91-4123	"	梅原すみ子	二 小	81-0070
"	塚本 純子	百草台小	91-0997	"	川島 弘己	"	"
"	長谷川まゆみ	滝 合 小	83-5172	"	西川 征矢	三 小	81-0101
"	波多野 坦	"	"	"	白石きよみ	"	"
"	長沼 正幸	高幡台小	91-7011	"	次田 圭三	四 小	81-0038
"	森 清晃	南 平 小	92-2021	"	稲葉 喜文	五 小	81-0407
"	兼島 政邦	"	"	"	清水しずか	"	"
"	川上 卓一	程久保小	92-5014	"	石川 敏夫	六 小	81-0366
"	加藤 タイ	"	"	"	河西 洋子	"	"

南部センター		学校名	電話	北部センター		学校名	電話
指導員	吉川 郁子	平山台小	92-6381	指導員	秋山 憲一	七 小	83-3907
"	小山 治男	"	"	"	西村 幸江	"	"
"	白鳥みのる	三沢台小	93-2351	"	岡田寿美子	旭が丘小	83-3733
				"	野村 治子	"	"
				"	渡辺 健一	仲田小	81-8511

#### 4. センター員

校名	南部センター										北部センター										合計		
	潤徳小	平山小	八小	百草台小	滝合小	高幡台小	南平小	程久保小	平山台小	三沢台小	小計	一	二	三	四	五	六	七	旭が丘小	東光寺小		仲田小	小計
男	2	0	7	1	0	2	4	5	3	1	25	3	2	4	3	1	0	2	4	3	0	22	47
女	0	2	1	1	0	0	0	0	2	1	7	1	4	0	0	0	3	2	0	1	2	13	20
計	2	2	8	2	0	2	4	5	5	2	32	4	6	4	3	1	3	4	4	4	2	35	67

#### 5. 年間指導日程

南部センター				北部センター			
回数	月日	内 容	指 導 者	回数	月日	内 容	指 導 者
1	5. 12	開校式	全員	1	5. 12	開校式	全員
2	19	オリエンテーション① Aグループ(物・地)	森・長沼・兼島・ 太田	2	19	オリエンテーション(1)	梅原・川島・江口
3	26	" ② Bグループ(化 学)	吉川・石野・佐久 間・川田	3	26	" (2)	白石・河西・次田 西田
4	6. 2	" ③ Cグループ(生 物)	川上・加藤・小山 丸茂	4	6. 2	課題研究(1)	鈴木・杉本・新井
5	9	" ④ (多摩動物園昆虫館)	石野・太田・澁谷	5	9	" (2)	秋山・西村・江口
6	16	課題研究①	森・吉川・川上・ 太田	6	23	" (3)	岡田・野村・西田
7	23	" ②	長沼・石野・加藤 丸茂	7	30	自由研究 (テーマ決定)(1)	全員

回数	月日	内 容	指 導 者	回数	月日	内 容	指 導 者
8	6.30	自由研究 (テーマ決定)①	佐久間・奥山・石野・塚本・長谷川・長沼・森・加藤・小山・白鳥・丸茂	8	7.14	自由研究 (計 画) (2)	全員
9	7.14	" (計 画)②	小林・畑中・波多野・兼島・川上・吉川・菊地・鈴木・太田	9	9. 8	" (実験・観察) (3)	稲葉・清水・石川・新井
10	9. 8	" (実験・観察)③	兼島・佐久間・小山・丸茂	10	22	" ( " ) (4)	渡辺・西川・梅原・在原
11	22	" ( " )④	森・小林・畑中・川上・川田	11	10. 3	" ( " ) (5)	川島・白石・河西・江口
12	10.13	" ( " )⑤	長沼・白鳥・鈴木・加藤・太田	12	20	" ( " ) (6)	次田・鈴木・杉本・西田
13	20	" ( " )⑥	奥山・佐久間・波多野・丸茂	13	27	" ( " ) (7)	秋山・西村・岡田・新井
14	27	" ( " )⑦	塚本・吉川・長谷川・畑中	14	11.10	" ( " ) (8)	野村・稲葉・清水・在原
15	11.10	" (まとめ)①	森・吉川・菊地・太田	15	12. 1	" (まとめ) (1)	石川・渡辺・西川・江口
16	12. 1	" (原稿完成)②	長沼・石野・川上・畑中	16	8	" (原稿完成) (2)	梅原・川島・白石・西田
17	8	" (発表準備)③	兼島・佐久間・小山・太田	17	11.2	" (発表準備) (3)	河西・次田・鈴木・新井
18	11.9	研究発表会①	奥山・小林・塚本・畑中	18	19	研究発表会(1)	半数 (どちらかに出る)
19	26	" ②	長谷川・長沼・森・太田	19	26	" (2)	半数 (どちらかに出る)
20	21.6	閉校式・研究発表 (南北合同)	全員	20	21.6	閉校式・研究発表 (南北合同)	全員

## 6. 連絡協議会

委員 長 日野市教育委員会教育長 長沢 三郎

南部センター長 澁谷 義一 日野市立日野第八小学校長 電話 0 4 2 5 - 9 1 - 2 4 1 1

次 長 渡辺 孝 " 教頭 " " "

主 任 石野日出夫 " 教諭 " " "

北部センター長 近内 信輝 日野市立東光寺小学校長 0 4 2 5 - 8 4 - 6 2 0 0

次 長 秋永 悦郎 " 教頭 " " "

主 任 江口 耕一 " 教諭 " " "

顧 問 日野市教育委員会指導室長 園田 匠

指導主事 原田 修一

指導主事 榎本 和男

# 日野市立中学校科学センター

## 1. 名称・所在

日野市立中学校科学教育センターと称し、昭和59年度はセンターを平山中学校の校内に設置する。

## 2. 設立の趣旨

小学校科学センター設立の主旨に準ずる。

## 3. センター長・センター次長・指導員

センター長	川崎 昭三	日野市立平山中学校長
次 長	古屋 登吾	” 教頭
主 任	三富 恒男	” 教諭
指導員	平原謙造(一中) 渡辺欣哉(二中) 辻本昭彦(七生中)	
	清水賢司(三中) 富士 堯(四中) 原沢和江(三沢中)	
	小林喜司(大坂上中) 和田 孝・成舞京子・福地和子(平山中)	

## 4. センター生

各中学校1～3年から40名を募集する。

## 5. 指導計画(案)

年間10回とし6月より土曜日の午後指導する。

第1回(6月)	開校式	第6回(9月)	講座3
第2回(6月)	講座1	第7回(9月)	講座4
第3回(7月)	一斉指導	第8回(10月)	校外指導
第4回(7月)	講座2	第9回(12月)	テーマ別一斉指導 原稿提出
第5回(8月)	校外指導	第10回(2月)	研究発表 閉校式

## 6. 中学校科学センター運営委員会

委員長	日野市教育委員会教育長	長 沢 三 郎
委 員	センター長	川崎 昭三 日野市立平山中学校長
	次 長	古屋 登吾 ” 教頭
	主 任	三富 恒男 ” 教諭
		平原謙造(一中) 渡辺欣哉(二中) 辻本昭彦(七生中) 清水賢司(三中)
		富士 堯(四中) 原沢和江(三沢中) 小林喜司(大坂上中) 和田孝(平山中)
顧問	日野市教育委員会指導室長	園 田 匠
	” 指導主事	榎 本 和 男
	” 指導主事	原 田 修 一

## 日野市立小・中学校使用教科書

### 1. 小学校

国語科	「小学国語」	(日本書籍)
	「小学書き方」	(日本書籍)
社会科	「新しい社会」	(東京書籍)
	「小学校社会科地図帳」	(帝国書院)
算数科	「小学校算数」	(学校図書)
理科	「新しい理科」	(東京書籍)
音楽科	「新しい音楽」	(東京書籍)
図画工作科	「図画工作」	(日本文教出版)
家庭科	「新しい家庭」	(東京書籍)

### 2. 中学校

国語科	「国語」	(光村)
	「改訂中国書写」	(教育出版)
社会科	「社会科中学新地理」	(帝国書院)
	「中学社会 歴史的分野」	(日本書籍)
	「改訂新しい社会 公民」	(東京書籍)
	「中学校社会科地図」	(帝国書院)
数学科	「改訂新しい数学」	(東京書籍)
理科	「改訂新しい科学(1・2分野)」	(東京書籍)
音楽科	「改訂中学音楽」	(教育出版)
	「改訂中学生の器楽」	(教育出版)
美術科	「美術」	(日本文教出版)
保健体育科	「改訂中学保健体育」	(学習研究社)
技術家庭科	「技術・家庭上・下」	(開隆堂)
外国語科	「THE NEW CROWN ENGLISH SERIES」	(三省堂)

# 昭和 59 年度 指導主事分担表

日野市教育委員会

指導主事 榎 本 和 男  
" 原 田 修 一

## 1. 校種別分担

- 幼稚園教育—原田
- 小学校教育—原田
- 中学校教育—榎本

## 2. 教科・領域別分担

- 国語（書写）—榎本
- 理 科—原田
- 体育・保健体育—榎本
- 道 徳—榎本
- 学校行事等—榎本
- 心障教育—原田
- 学校給食—榎本
- 同和教育—榎本
- 幼児教育—原田
- 社 会—原田
- 音 楽—原田
- 家庭・技術家庭—榎本
- 生活指導—榎本
- 学校経営—榎本
- 視聴覚教育—原田
- 保健教育—原田
- 公害教育—原田
- 学校事務—榎本
- 算数・数学—原田
- 図工・美術—原田
- 外国語—榎本
- 特別活動—榎本
- 教育相談—原田
- 図書館教育—原田
- 安全教育—榎本
- 進路指導—榎本
- 心障相談—原田

## 3. 施設・行事等分担

- 教育相談室—原田
- 教科書センター—榎本
- 修学旅行—榎本
- 心障学級—原田
- 文化行事—榎本
- 移動教室—原田
- 科学センター—原田
- 体育行事—榎本
- 日野市めぐり—原田

#### 4. 指導事務分担

- 指導部・都研——榎本
- 研究集録——原田
- 遠足修学旅行——榎本
- まどへ編集発行——榎本
- 授業研究——原田
- 教育課程——原田
- 年間指導計画
- 文部省中央研修——榎本
- 研究員——榎本
- 教育開発委——榎本
- 学校訪問——榎本
- 調査資料収集——榎本
- 月行事予定——原田
- 都・研究奨励——榎本
- 就学・措置替指——原田
- 教育課程届出——原田
- 教材届出承認——原田
- 指導要領——原田
- 教育実習——榎本
- 社会科副読本——原田
- 教科書採択——榎本

#### 5. 涉外分担

- 校長会——榎本
- 生活指導主任会——榎本
- 都市指導主事会——榎本
- 教頭会——原田
- 保健主任会——原田
- 日野市教研——原田
- 教務主任会——原田
- 進路指導主任会——榎本
- 第2地区指導主事会——原田

#### 6. 研修等分担

- 学校経営研——榎本
- 学習指導研——榎本
- 幼児教育研——原田
- 教育課程研——原田
- 六年時教諭研——榎本
- 新規採用教諭——榎本
- 実技研修——榎本
- 人権尊重教育研——榎本
- 学校保健研——原田
- 学級経営研——原田
- 教育相談研——原田
- 心障教育研——原田
- 事務職員研——榎本
- 道德教育研——原田

昭和59年度 日野市教育委員会委嘱

名 称	小学校長	中学校長	小学校教頭	中学校教頭
1 授業研究連絡協議会	◎石井三士平 ○野口昭平	小林節夫	小林繁人	綿引正己
2 心身障害教育推進協議会	◎古田耿介一 ○田中光守 ○蓮池守一	山本保美 長谷川辰美	秋永悦郎 波多野郎担	白田重孝
3 就学相談委員会	◎蓮池守一 ○古田耿介一 ○田中光	山本保美 長谷川辰美	秋永悦郎 波多野郎担	
4 小学校社会科副読本改訂委員会	◎篠宮忠男 ○近内信輝		渡辺孝	
5 中学校社会科副読本改訂委員会		◎山本保		
6 教務主任会	◎伊藤智章	○川崎昭三	荒木健治	安谷功
7 生活指導主任会	○志賀頼治	◎花牟礼哲	○長谷川鉄夫	市塚正史
8 進路指導主任会		◎降旗経雄		
9 保健主任会	◎大島昭子 ○和田国平	◎降旗経雄	田中光穂	高木宏文
10 科学教育センター	◎近内信輝一 ◎渋谷義一	◎川崎昭三	秋永悦郎 渡辺孝	古屋登吾
11 まどべ編集委員会	◎大熊喜一		黒沢源太郎	
12 中学校評価資料作成委員会		◎千葉広志		小高辰雄
13 音楽鑑賞教室運営委員会	◎大島昭子	○降旗経雄	加藤策夫	
14 小中水泳記録会	◎津野田昭二 ○山口武彦	◎小林節夫	内藤康建 小幡建	立川泰司
15 小学校体育委員会	◎津野田昭二 ○山口武彦		内藤康建 小幡建	
16 日光移動教室	◎篠宮忠男 ○津野田昭二 ○山口武彦 ○野口昭平		古屋光男 屋泉地徹 有福地立 高橋保身	
17 中学校修学旅行		◎山本保		

事業等担当校長、教頭

◎…………長、○…………副

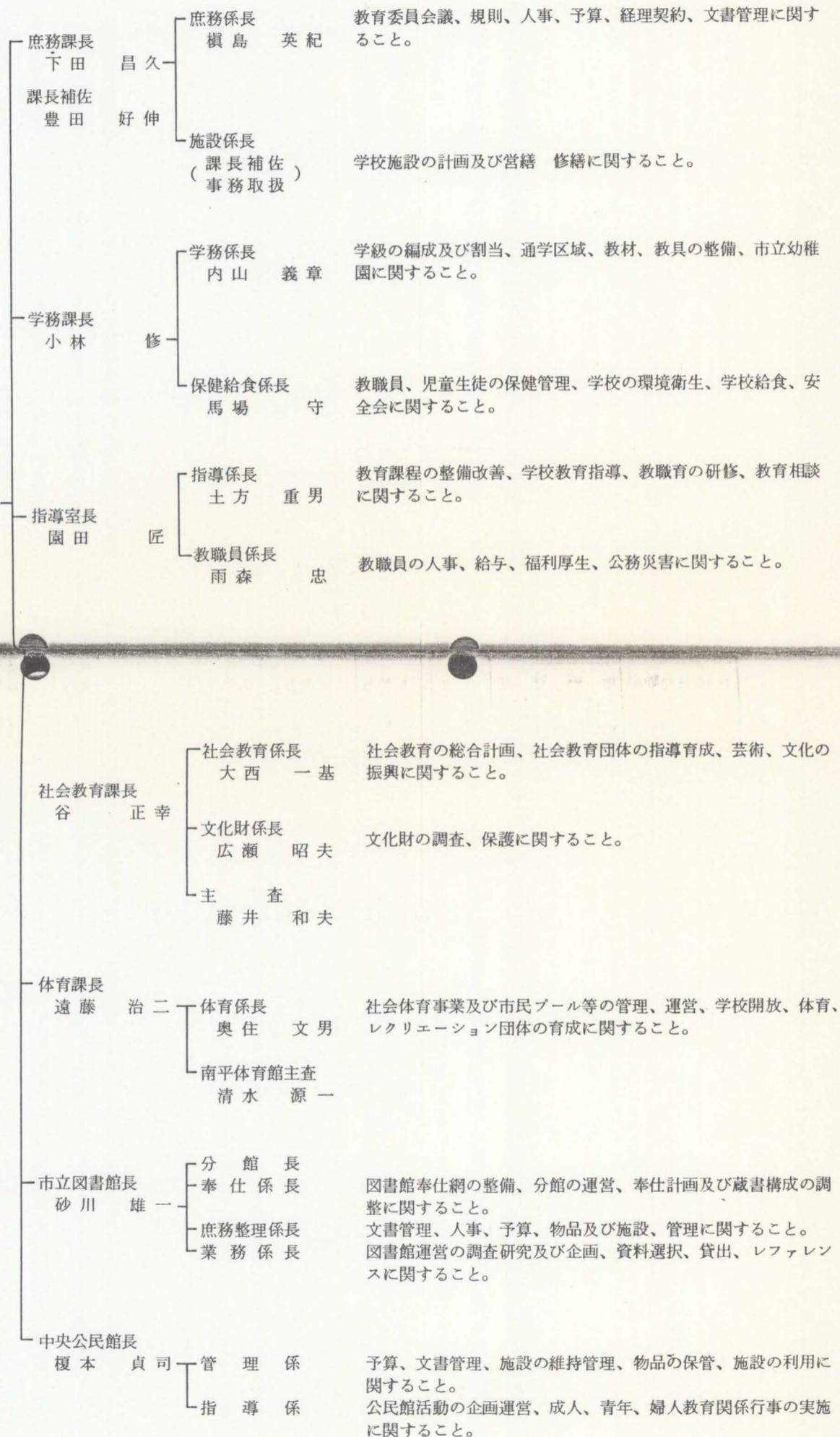
名 称	小学校長	中学校長	小学校教頭	中学校教頭
18 学校給食会	◎田中光一郎 ○鈴木敏一郎	○奥村節生		
19 防災対策委員会	大熊喜一	小林節夫		
20 日野市教育研究会	◎松日楽敬治 ○篠宮忠男	◎長谷川辰美	○長谷川鉄夫	立川泰司
21 学校保健会	○大島昭子 ○和田国平	◎降旗経雄	田中光穂	
22 幼稚園				
23 公民館運営委員会				
24 図書館運営審議会委員				
25 社会教育委員				
26 青少年問題協議会委員				
27 環境週間行事運営委員				
28				
市 P 協				
書 初 展				
小 体 連				
中 体 連				古屋登吾
市教職員互助会長 副理事				

# 日野市教育委員会事務局組織

## 教育委員会

委員長  
 森久保 敏 治  
 職務代理  
 池 尾 テル子  
 委員  
 肥 後 和 夫  
 委員  
 野 呂 昭 朗  
 委員  
 長 澤 三 郎

教育長 長 澤 三 郎  
 教育次長 小山 哲 夫



日野市公立学校・幼稚園一覧表

4月7日現在

学校名	校(園)長名	学級数	児童数	教員数	電話	所在地	交通機関
第一幼稚園	田中光一	四	一四三	六	81 4124	多摩平四一三	中央線豊田駅下車、徒歩十分
第二幼稚園	伊藤智章	三	九五	四	91 4125	平山四一八一六	京王線平山城址公園下車、徒歩十分
第三幼稚園	古谷洋太	三	一〇七	四	81 7127	日野本町二一四一	中央線日野駅下車、徒歩七分
第四幼稚園	竹永秀雄	二	七八	四	83 3903	石田四三一六	口、高幡不動駅より京王バス四小前下車、徒歩四分 日野駅より都バス日野橋南詰下車徒歩七分、立川駅北
第五幼稚園	渋谷義一	一	一八	三	92 0423	三沢一七五	京王線高幡不動駅下車、徒歩十二分
第六幼稚園	津野田昭二	二	三七	三	92 6330	程久保八七六一二	高幡不動駅下車、百草団地行バス高幡台団地下
第一小学校	古谷洋太	一九	七〇八	三〇	81 0073	日野本町二一四一	中央線日野駅下車、徒歩六分
第二小学校	篠宮忠男	二六	一〇二五	三三	81 0070	東豊田二一四一	京王線南平駅下車、徒歩十五分
第三小学校	古田耿介	特普三〇	七四九	二六八	81 0101	日野台二一一	中央線日野駅下車、徒歩十五分
第四小学校	竹永秀雄	一八	六六〇	二五	81 0038	石田四三〇	日野駅より都バス日野橋南詰下車、徒歩七分。立川駅
第五小学校	田中光一	特普二四	九二六	三二	81 0407	多摩平六一二一一	北口、高幡不動駅より京王バス四小前下車、一分
第六小学校	石井三士	一九	七三六	二七	81 0366	多摩平三一三一	中央線日野駅又は日野駅下車、バス日野五小前、
潤徳小学校	黒沢保雄	一七	五九九	二五	91 0409	高幡四〇二	京王線高幡不動駅下車、東北へ徒歩五分
平山小学校	伊藤智章	二二	七八五	二九	91 4123	平山四一八一六	京王線平山城址公園下車、徒歩八分
第七小学校	和田国平	一九	七三五	二六	83 3907	神明三一二	中央線日野駅下車、徒歩十五分
第八小学校	渋谷義一	二一	七四四	二九	91 2411	三沢二〇〇	京王線高幡不動駅下車、徒歩十五分
百草台小学校	志賀頼治	一八	六五三	二五	91 0999	百草九九九	高幡不動駅より百草団地行バス百草センター下
滝合小学校	野口昭平	二四	九六七	三一	83 5172	西平山二一三一	京王線平山城址公園、長沼駅下車
高幡台小学校	津野田昭二	一八	七〇二	二六	91 7011	程久保五五〇	徒歩十分 京王線平山城址公園、徒歩十分
南平小学校	鈴木敏郎	二一	七五五	二九	92 2021	南平四一八一	京王線南平駅下車、徒歩十二分
程久保小学校	大島昭子	一五	五五六	二四	92 5014	程久保五〇四一	高幡不動駅より多摩動物公園行バス中程久保下
旭が丘小学校	大熊喜一	二一	八五〇	二九	83 3733	旭が丘五一二一一	中央線豊田駅下車、徒歩二十五分
平山台小学校	蓮池守一	特普一八	五九〇	二五	92 6381	平山二一一	京王線平山城址公園下車、徒歩十五分
東光寺小学校	近内信輝	一四	五三六	二一	84 6200	新町三一二四一	中央線日野駅下車、徒歩十三分
三沢台小学校	松日楽敬治	一六	五九一	二四	93 2351	百草八九六一	京王線百草駅下車、徒歩十五分
仲田小学校	山口武彦	一二	四一一	一九	81 8511	日野本町六一一七四	中央線日野駅下車、徒歩
第一中学校	奥村節生	二〇	八六六	三六	81 0009	日野本町七一七一七	中央線日野駅下車立川方面、徒歩十分
第二中学校	小林節夫	二一	九二五	三八	81 0056	多摩平四一五一二	中央線豊田駅北口下車、徒歩十分
七生中学校	山本保	特普二八	七八〇	三一	91 0174	南平六一七一	京王線南平駅下車、徒歩七分
第三中学校	千葉広志	三〇	一二五八	五〇	91 2228	程久保六五〇	高幡不動駅より百草団地行バス高幡台団地下車
第四中学校	花牟礼哲	二〇	八五七	三四	83 3905	旭が丘二一四二	中央線豊田駅下車、徒歩十五分
三沢中学校	降旗経雄	二〇	七九九	三四	92 5017	三沢二五	京王線高幡不動駅又は百草園駅下車、徒歩十二分
大坂上中学校	長谷川辰美	特普二〇	八二四	三五	83 9755	大坂上四一七	中央線日野駅下車、徒歩十二分
平山中学校	川崎昭三	二二	九〇三	三八	93 3015	平山四一三一	京王線南平駅、平山城址公園下車徒歩八分 中央線豊田駅下車、徒歩十八分

管理運営規則第八条

学校名	学校長	教務主任	生活指導主任	保健主任	進路指導主任
日野一小	古谷洋太	香川善平	武内忠雄	清雲よ志子	
日野二小	篠宮忠男	石岡信行	吉沢佐久子	菊地直子	
日野三小	古田耿介	上田憲二	西田陽	伊佐弘江	
日野四小	竹永秀雄	次田圭三	山下法昭	佐野純子	
日野五小	田中光一	生田彰	石川忠男	小島典子	
日野六小	石井三士	依田逸夫	遠田弘	高橋悦子	
潤徳小	黒沢保雄	中村大	小笠原久雄	松井玉江	
平山小	伊藤智章	沢田末吉	諏訪英樹	松尾けさ美	
日野七小	和田国平	秋山憲一	小林弘子	三村礼子	
日野八小	渋谷義一	末継逸夫	菊地義光	鈴木節子	
百草台小	志賀頼治	高倉教行	寺井尚一	佐々木加津子	
滝合小	野口昭平	宮川征三郎	増田潔	萩原章子	
高幡台小	津野田昭二	長沼正幸	坂井ミチ子	金野峰子	
南平小	鈴木敏郎	進眞郎	森清晃	藤田孝彦	
程久保小	大島昭子	土方邦男	上野森良	鷹尾富貴子	
旭が丘小	大熊喜一	渡辺馨鴻	石原八重子	奈良悦子	
平山台小	蓮池守一	古山郁夫	高濱管子	上條あみ子	
東光寺小	近内信輝	江口耕一	西田敦子	本多和美	
三沢台小	松日楽敬治	間瀬静夫	後藤楚子	成井朝雄	
仲田小	山口武彦	渡辺健一	雨宮充	清水妙子	
日野一中	奥村節生	清水春海	村田志信	鈴木美代子	古厩清夫
日野二中	小林節夫	池田友彦	中根勉	光岡肇	内山芳雄
七生中	山本保	井田武	大谷良光	荒井式子	小林敏朗
日野三中	千葉広志	山本康郎	橋陽臣	今城理恵	金子民造
日野四中	花牟礼哲	吉見光雄	稲川正義	萩原典子	樋口恢武
三沢中	降旗経雄	橋本貴幸	佐藤至正	島田きく子	笠原孝之
大坂上中	長谷川辰美	大山正昭	加藤常光	神屋敷和子	武藤光哉
平山中	川崎昭三	三富恒男	北原景昭	鈴木紀子	高崎雅子

に基づく主任一覧表

学 年 主 任					
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
伊山節雄	高木映子	中村麗子	畑野元一	井尻武子	守屋ふみ
斉藤八重子	沢本年人	比嘉道子	尾関博文	中川金作	大竹三郎
松本順子	久保田由子	長沼良子	金子直子	八木文夫	鈴木利恵子
宗近孝子	久保起世	藤岡和子	田森詮	会田尚子	山下法昭
笠井祐子	秋野美津子	岩本高明	長沢佳都子	山田久代	岩尾ふき
小松美代子	西川朝子	安達美武	小坂橋五佐男	窪田正子	武守保幸
品田慎子	佐久間久美子	小竹章	三浦みのり	石川耀子	増賀従男
田中美知子	有田久美子	菊池和子	石郷岡日出子	田美枝子	高石道子
小林弘子	渡辺かほ	伊勢恒二	川上美穂子	榊原一男	秋山憲一
丸茂洋子	末継逸夫	川田浩子	和田常雄	太田价子	畑中隆宏
斉藤茂	霜島幸子	石黒芳子	星野正治	向節雄	小滝岩夫
野口すみ子	石川成子	逸見黎子	来間志信	今野すみ子	高橋孝子
福田信子	大島ルミ子	国領美那子	前沢美佐江	野口眞佐子	定森正治
関恒夫	和田いさを	泉芳夫	越村清治	間糸子	片岡千寿子
吉野美智子	小畑智恵子	上野森良	川上卓一	岡島政吉	井浦弘
野村治子	柴順子	前川せつ	田中和子	岡田寿美子	石井和子
上條あみ子	橋本允子	加藤暉子	溝江恵美子	金子恵子	古山郁夫
浅野昭雄	沢山茂夫	川井田和子	佐藤カヨ子	内田美代子	西田敦子
秋山照子	内藤洋子	後藤楚子	中島寿子	斉藤正子	柳沼敏男
馬場延子	小口澄子	品田敏男	吉田弘	渡辺健一	広沢フサ子
湖山和彦	榊原純子	保阪暁			
内田耕一郎	野村文男	小川涉三			
渡辺勉	加納宗一	小林敏明			
羽生幸一	天野正治	福田慶園			
長谷川昭	丸山尚夫	鈴木良身			
花上良枝	新井教旦	鈴木邦吉			
村上敏雄	六本木茂	野沢昭兆			
阿部晃一	紺野栄治郎	佐藤恒			

日野市立小・中学校

No.	学校・担当	一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	六 小
1	研究・研修主任	伊山 節雄		鈴木利恵子	飯田 国代	曾我 哲夫	式守 保幸
2	人権尊重教育担当	守屋 ふみ	吉沢佐久子	上田 憲二	飯田 国代	石川 忠男	遠田 弘
3	国語主任(担当)	三浦理恵子	吉川 都子	足立 光江	宗近 孝子	武田 礼子	小松美代子
4	社会科主任(担当)	香川 善平	木内 秀雄	田辺 佳伸	佐藤 操	岩本 高明	遠田 弘
5	算数・数学主任(担当)	伊山 節雄	川島 弘己	工藤重祖臣	小柳利栄子	曾我 哲夫	上條かなえ
6	理科主任(担当)	鈴木 則子	梅原すみ子	西川 征矢	次田 圭三	伊東 学	石川 敏
7	音楽主任(担当)	村上 悦子	板野 宏	伊藤 直美	斎藤富美子	山田 只夫	越智 忠司
8	図工・美術主任(担当)	山木 雅子	宮崎 美德	吉田 智恵	金子 光雄	高篠 雅子	杉村 光子
9	体育・保体主任(担当)	足立 博志	沢本 年人	八木 文夫	森田 芳博	小暮 彰	石川 敏夫
10	技術・家庭(男)主任						
11	家庭・技家(女)主任	清雲よ志子	長浜 和子	鈴木利恵子	菊川勢津子	本保 陽子	難波 和子
12	外国語(英)主任						
13	道徳主任(担当)	守屋 ふみ	大竹 三郎	金子 直子	田森 詮	石川 忠男	五十嵐一郎
14	特別活動主任(担当)	畑野 元一	中川 金作	長沼 良子	飯田 国代	山田 恵子	上 かなえ
15	学校行事主任(担当)	井尻 武子	石岡 信行	上田 憲二	次田 圭三	生田 彰	中込 久美
16	視聴覚主任(担当)	長野 修二	尾関 博文	佐々木 厚	田森 詮	三津井君子	中村 克子
17	学校図書館主任(担当)	守屋 ふみ	茅野とめ子	愛甲喜恵子	松本真知子	針田 和子	依田 逸夫
18	給食主任(担当)	井尻 武子	斉藤八重子	知 由美子	会田 尚子	山田 久代	難波 和子
19	安全教育主任(担当)	伊山 節雄	赤松 紀子	工藤重祖臣	小菅 民恵	稲葉 喜文	小坂橋五佐男
20	養護主任(担当)	佐藤ヒサ子	菊地 直子	伊佐 弘江	佐野 純子	小島 英子	高橋 悦子
21	管財主任(担当)	藤本 新八	大久保 正	上辻 敏雄	古河 哲三	須藤 茂	渡辺 英夫
22	事務担当	藤本 新八	大久保 正	三輪佐和子	古河 哲三	須藤 茂	渡辺 英夫

主任(代表)一覧表

○は担当

潤徳小	平山小	七 小	八 小	百草台小	滝合小	高幡台小	南平小
増賀 従男	大上 琢磨	小杉 博司	和田 常雄	椿坂 俊夫	石川 成子	三浦 仁	越村 清治
小笠原久雄	沢田 末吉	三村 礼子	末継 逸夫	○小滝岩夫	宮川征三郎	坂井ミチ子	森 清晃
三浦みのり	菊池 和子	小木美智子	松岡 満	宇野有斐子	矢野百合子	前沢美佐江	阿部二三子
小竹 章	富田 桂子	小杉 博司	畑中 隆宏	霜島 幸子	今野すみ子	木下 淑子	堀竹 充
遠藤 綾	三谷 真弓	信夫 頼子	田中 静江	高橋 茂子	丹羽 亮典	咲花 香澄	藤田 孝彦
中村 大	奥山 優	西村 幸江	太田 价子	塚本 純子	片岡 敬子	長沼 正幸	森 清晃
内山美知子	福田 栄子	山本 邦子	桜川 順子	飯島 睦子	川村 史代	安藤美佐子	立花せつ子
古谷 孝太	沢田 末吉	伊東 茂	丸 カズ子	高尾三枝子	岡本 美治	人見 明美	関賀 穂留
西山 正文	末次 久利	榊原 一男	小林 互	小滝 岩夫	林 亀三	富田 康司	駒井 隆治
石川 耀子	若松富紀子	石井 恵子	樋口江以子	玉置 順子	萩原 章子	野口真佐子	高橋 智子
小笠原久雄	田 美枝子	三村 礼子	川田 浩子	寺井 尚一	北原 春樹	高橋 和代	片岡千寿子
三浦みのり	廣島 桂子	尾崎みち子	窪田 弥生	玉置 順子	石割やす子	照屋 守久	関 恒夫
中村 大	○沢田末吉	秋山 憲一	末次 逸夫	玉置 順子	○宮川征三郎	長沼 正幸	富間 糸子
内山美知子	○大上琢磨	小杉 博司	篠田 幹男	星野 正治	片岡 敬子	小原 良雄	堀竹 充
品田 慎子	若松富紀子	高橋真知子	丸茂 洋子	高尾三枝子	増賀 久子	三浦 仁	泉 芳夫
植松久美子	綿貫 清江	榎 圭子	樋口江以子	玉置 順子	萩原 章子	咲花 香澄	高橋 智子
吉村 潔	○浅見幸子	小林 弘子	栗原 典子	志茂 和枝	○来間志信	安藤美佐子	森 清晃
松井 玉江	○松尾けさ美	小島 幸代	石塚 晶子	佐々木加津子	松本 陽子	金野 峰子	南沢 芳子
佐藤 裕之	○橋田 晟	藤井悦子 中島和枝	吉岡 興村	志波 恵子	横田 昭子	西川 芳子	原 早苗
佐藤 裕之	○橋田 晟	藤井悦子 中島和枝	吉岡 興村	○志波恵子	堀辺 芳子	西川 芳子	原 早苗

No	担当	学校					
		程久保小	旭が丘小	平山台小	東光寺小	三沢台小	仲田小
1	研究・研修主任	川上 卓一	馬場 富男	信夫 清彦	川井田和子	白鳥みのる	広沢フサ子
2	人権尊重教育担当	○上野森良	渡辺 馨鴻	高濱 嘗子	○川井田和子	○斉藤正子	広沢フサ子
3	国語主任(担当)	安藤みち子	馬場 富男	赤松 昭子	本多 和美	内藤 洋子	土方 久枝
4	社会科主任(担当)	岡島 政吉	斉藤 重志	洲上かおる	内田美代子	中島 寿子	吉田 久
5	算数・数学主任(担当)	川原田和子	金畑 昭正	金子 恵子	藤本 憲康	後藤 楚子	小山 富子
6	理科主任(担当)	加藤 タイ	岡田寿美子	吉川 郁子	沢山茂茂夫	柳沼 敏男	渡辺 〇
7	音楽主任(担当)	馬場美津子	伊藤 春子	村田那智子	森 甫	土師 慶子	保坂たか子
8	図工・美術主任(担当)	藤沢由美子	加納 博之	北野 義昭	中尾 公治	安室 清治	鶴田久美子
9	体育・保体主任(担当)	佐藤 清隆	佐藤 慎一	森 孝	加賀美綾子	藤井 徹郎	志茂 正夫
10	技術・家庭(男)主任						
11	家庭・技家(女)主任	石川 茂子	奈良 悦子	西尾 京子	林 茂子	白鳥みのる	小俣 靖江
12	外国語(英)主任						
13	道徳主任(担当)	上野 森良	石井 和子	上條あみ子	川井田和子	斉藤 正子	広沢フサ子
14	特別活動主任(担当)	近藤 裕治	斉藤 弥生	溝江恵美子	浅野 昭雄	安室 清治	小俣 靖紅
15	学校行事主任(担当)	土方 邦男	志村 道子	古山 郁夫	江口 耕一	間瀬 静夫	渡辺 健一
16	視聴覚主任(担当)	加藤 タイ	野村 治子	橋本 允子	森 甫	藤井 徹郎	吉田 〇弘
17	学校図書館主任(担当)	井浦 弘	志村 道子	川島 義範	在原 妙子	藤木 淑恵	鶴田久美子
18	給食主任(担当)	小畑智恵子	前川 せつ	金子 恵子	林 茂子	土師 慶子	馬場 延子
19	安全教育主任(担当)	上野 森良	馬場 富男	高濱 嘗子	佐藤カヨ子	秋山 照子	雨宮 充
20	養護主任(担当)	原田 暢恵	佐々木ちがや	田島 佳子	上山美智子	西村 美子	清水 妙子
21	管財主任(担当)	石田 義一	上原 和美	北野 義昭	露木 早苗	郷原 敦	伊東 淳司
22	事務担当	○石田義一	上原 和美	新沼 敏和	○内田眞弓	○滝瀬松枝	伊東 淳司

日野一中	日野二中	七生中	日野三中	日野四中	三沢中	大坂上中	平山中
古厩 清夫	○内田耕一郎	渡辺 勉	金子 民造	富士 堯	○樋口あや子	村上 敏雄	佐藤 恒
清水 春海	岡部 紀子	大谷 良光	乙黒 義夫	岡野 彰夫	森 紀子	秋山 侑司	堀江 富男
湖山 和彦	岡部 紀子	岩木 翼	乙黒 義夫	岩井ちひろ	笠原 孝之	佐藤 玲子	上原 純子
富山 謙一	吉川登代子	大川 潤一	山口 洋子	樋口 恢武	園川 育雄	瀬尾 昭子	楽 益穂
古厩 清夫	内田耕一郎	大藪 和子	原 豊	吉見 光雄	樋口あや子	鈴木 幸子	三浦 賢治
原 謙造	渡辺 欣哉	辻野 良子	天野 正治	大島 幸雄	上野 淳子	宮田 和子	福地 和子
佐藤加代子	大槻 洋	大沢 津香	鈴木 渉	大野 滯子	山内 一徹	村上 敏雄	渡辺 京子
尾関いづみ	中里 久子	吉成 幹雄	松崎 春子	近藤 智春	吉岡 泰光	市川 和彦	阿部 晃一
宮下 洋行	水沢 光子	白井 攻	村井 良一	鈴木 浩	杉本 三郎	小沼 治美	小泉 巖
保坂 暁	片桐 豊昭	大谷 良光	鈴木 偉生	鈴木 良身	佐藤 至正	池田 孝	三浦 義次
鈴木美代子	猪股三枝子	田倉 正子	高橋 清子	萩原 典子	秋庭 英子	島崎 幸子	桃下 理恵
岸ととみよ	池田 友彦	加納 宗一	福田 慶罔	井手 裕子	松村 敏以	横田 恵子	久保田俊司
河手 達治	○西 恭利	○松尾晴至	○笠原光史	富士 堯	○山本暁子	村上 敏雄	国信 武司
松原 清	○西 恭利	○渡辺 勉	○松沢茂久	富士 堯	○山本暁子	村上 敏雄	北原 景昭
清水 春海	○池田友彦	○井田 武	○大沢三千代	吉見 光雄	○橋本貴幸	大山 正昭	三富 恒男
及川 和子	○高橋章次	高野 徐一	○鈴木偉生	近藤 智春	○田熊 裕	岩村 武	益田 志郎
佐藤 朋子	○岡部純子	○吉野康子	○福田慶罔	天野 節子	○森 紀子	大貫 米子	古荘斗糸子
荒川 歌津	○伊藤 務	○松尾晴至	○飯島利三	井手 裕子	○土田正子	山本 節子	桜井 絢子
村田 志信	○光岡 肇	○管野 剛	○松崎春子	樋口 恢武	○花上良枝	藤井 周郎	小泉 巖
鈴木美代子	○檜田瑞江	○近藤康代	今城 理恵	高橋 恵子	島田きく子	神屋敷和子	鈴木由紀子
越智 有吾	森 昇市	○富田且枝	○嶋村 真	金子 好一	○木下孝治	大湖 隆夫	大野 馨
越智 有吾	小林 春江	○富田且枝	嶋村 真	市川 昌子	吉田久美子 小林寿美子	大湖 隆夫	大野 馨

## 昭和 59 年度 授業研究主題一覧

No	小学校名	小学校各校テーマ
1	日野第一小学校	児童が意欲的に学習に参加するための指導法の研究
2	日野第二小学校	児童が進んで学習する指導法の研究
3	日野第三小学校	主体的に学習する子どもの育成をめざす指導法の改善
4	日野第四小学校	集団の中で生き生きと学習する子ども
5	日野第五小学校	学習意欲を高める指導法の研究（国語科）
6	日野第六小学校	考えさせる授業の手だて一意欲的に表現させる指導法の研究一
7	潤徳小学校	主体的な学習態度を育てる指導法の研究
8	平山小学校	子どもが主体的に取り組む学習活動のあり方
9	日野第八小学校	児童の主体性を高める指導法の研究（国語科）
10	百草台小学校	ひとりひとりを生き生きと学習にとりくませる授業
11	滝合小学校	児童の主体性を伸ばす指導法の研究
12	高幡台小学校	体育の効果的な指導法の研究
13	日野第七小学校	児童が自ら学ぶ学習活動のあり方
14	南平小学校	児童が主体的に取り組む学習指導法の改善
15	程久保小学校	ひとりひとりが生き生きとする学習指導
16	旭が丘小学校	子どもによく考えさせる授業のあり方
17	平山台小学校	教育目標に迫る授業研究
18	東光寺小学校	自主的な学習態度を育てる指導法の研究
19	三沢台小学校	授業への参加意欲を高める手だての工夫
20	仲田小学校	一人一人の児童が生き生きと学習にとりくむための授業をめざして

No.	中学校名	中学校各校テーマ
1	日野第一中学校	どの子にもわかる授業
2	日野第二中学校	
3	七生中学校	基本的学習、生活習慣の定着をはかる指導
4	日野第三中学校	生徒を積極的に授業に参加させ 主体的な学習態度を育てる指導の研究
5	日野第四中学校	生徒の学習への興味関心をいかに育てるか
6	三沢中学校	学習意欲を高める授業の工夫
7	大坂上中学校	わかりやすい授業、子どもを生かす授業
8	平山中学校	生徒の主体的な学習をすすめる指導の工夫

## 昭和59年度 都教育研究員他研究員一覽

### 1. 教育研究員

小学校	国 語	日野三小	鈴 木 利 恵 子
	社 会	日野七小	伊 勢 恒 二
	体 育	日野三小	八 木 文 夫
	特別活動	三沢台小	間 瀬 静 夫
	心障教育	日野三小	常 松 道 子
中学校	数 学	平 山 中	三 浦 賢 治
	技術家庭	七 生 中	大 谷 良 光
	特別活動	日野三中	松 沢 茂 久

### 2. 教育開発員

幼稚園	第 四 幼	田 中 洋 子
小学校	日野一小	武 内 忠 雄
中学校	日野三中	鈴 木 涉

### 3. 道徳助言者

小学校	仲 田 小	広 沢 フサ子
	南 平 小	片 岡 千寿子
中学校	大坂上中	小 林 喜 司
	日野二中	中 根 勉

### 4. 多摩教育推進委員会

日野一小	香 川 善 平
日野四中	樋 口 恢 武

### 5. 研究奨励費支給者

グループ研究A	特別活動	代表者	石野日出夫(日野八小)
グループ研究B	教育機器	〃	古厩 清夫(日野一中)

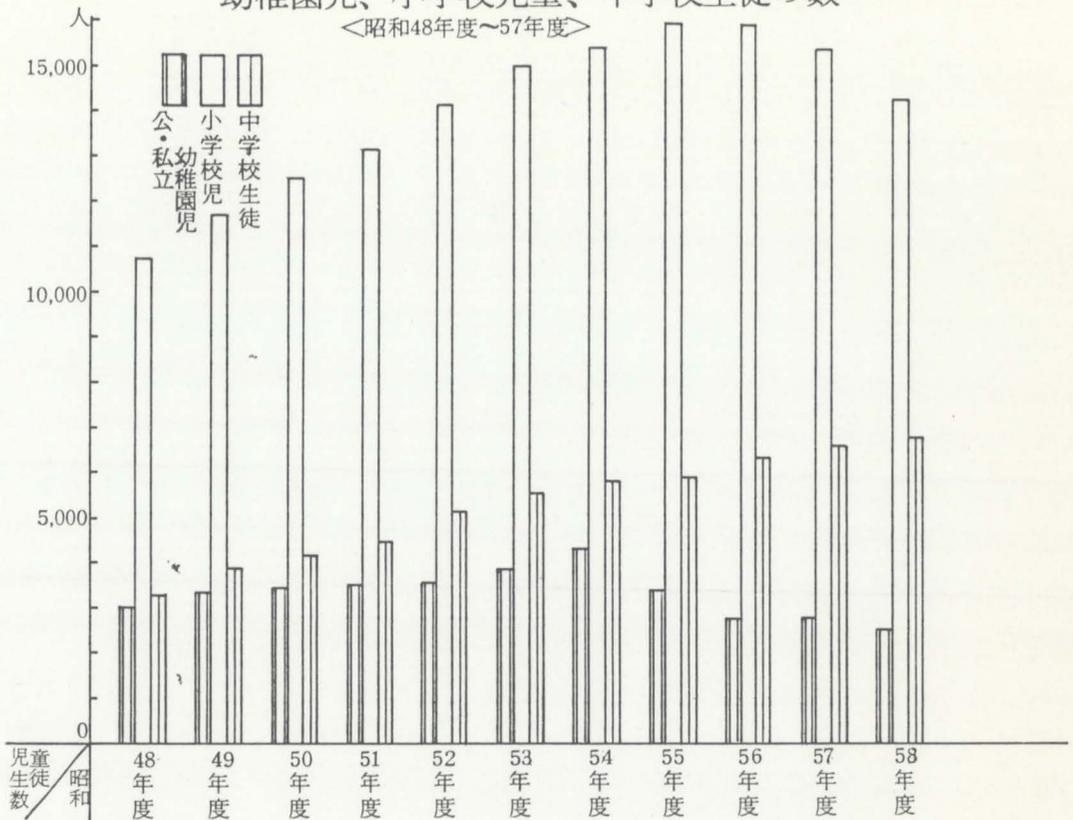
就学・進学状況の推移 (S.54~58年度)

( )はパーセント

年 度	性 別	高等学 校 本 科													職業教育機関等 専修・各種学校	就職・その他			卒 業 者 総 数		
		総 計	高等学校全日制課程						高等学校定時制課程					高等 専 門 学 校		高 等 学 校 通 信 制	盲 ・ 養 う 学 校	計		就 職 者	無 ( 在 家 庭 者 )
			計	公 立			私 立			計	公 立		就 職 進 学 者								
				普 通 科	職 業 科	小 計	普 通 科	職 業 科	小 計		普 通 科	職 業 科									
53	計	1,646	1,616 (95.5)	812 (48.0)	111 (65.5)	924 (54.5)	623 (36.7)	70 (4.1)	695 (41.0)	25 (1.4)	23 (1.35)	2 (0.1)	21 (1.2)	2 (0.1)	3 (0.1)	17 (1.0)	30 (1.77)	25 (1.4)	5 (0.2)	1,693	
	男女	864 782	840 776	422 390	52 59	474 450	324 299	42 28	366 329	21 4	20 3	1 1	17 4	2 0	1 2	4 13	19 11	16 9	3 2	887 806	
54	計	1,885	1,834 (93.0)	1,060 (53.7)	149 (7.6)	1,209 (61.3)	581 (29.5)	44 (2.2)	625 (31.7)	43 (2.2)	29 (1.3)	14 (0.71)	15 (1.0)	6 (0.3)	2 (0.1)	26 (1.3)	61 (3.1)	49 (2.5)	12 (0.6)	1,972	
	男女	900 985	857 977	494 566	74 75	568 641	264 317	25 19	289 336	35 8	23 6	12 2	9 6	6 0	2 0	13 13	52 9	45 4	7 5	965 1,007	
55	計	1,892	1,845 (93.9)	988 (50.3)	122 (6.2)	1,110 (56.5)	695 (35.4)	40 (0.2)	735 (37.4)	39 (2.0)	30 (1.5)	8 (0.4)	27 (1.4)	5 (0.3)	3 (0.2)	26 (1.3)	46 (2.3)	37 (1.8)	9 (0.5)	1,964	
	男女	957 935	914 931	470 518	76 46	546 564	337 358	31 9	368 367	37 2	28 2	8 0	25 2	5 0	1 2	12 14	32 14	26 11	6 3	1,001 963	
56	計	1,824	1,801 (95.8)	838 (44.6)	154 (8.2)	992 (52.8)	729 (38.8)	80 (4.3)	809 (43.0)	16 (0.8)	8 (0.4)	8 (0.4)	7 (0.4)	5 (0.3)	2 (0.1)	15 (0.8)	41 (2.2)	31 (1.6)	10 (0.5)	1,880	
	男女	946 878	925 876	413 425	82 72	495 497	377 352	53 27	430 379	14 2	6 2	8 0	7 0	5 0	2 0	8 7	34 7	26 5	8 2	988 892	
57	計	2,142	2,097 (94.5)	994 (44.8)	162 (7.3)	1,156 (52.1)	871 (39.3)	70 (3.2)	941 (42.4)	39 (1.8)	30 (1.4)	9 (0.4)	16 (0.9)	3 (0.1)	3 (0.1)	32 (1.4)	48 (2.1)	38 (1.7)	7 (0.3)	2,219	
	男女	1,105 1,037	1,069 1,028	487 507	92 70	579 577	442 429	48 22	490 451	30 9	24 6	6 3	15 1	3 0	3 0	11 21	30 15	28 10	2 5	1,146 1,073	
58	計	2,208	2,133 (92.0)	1,002 (43.0)	158 (7)	1,167 (50.0)	910 (39.3)	63 (2.7)	973 (42.0)	55 (2.4)	37 (1.8)	15 (0.6)	14 (0.6)	11 (0.5)	1 (0.4)	60 (2.6)	49 (2.1)	42 (1.8)	7 (0.3)	2,317	
	男女	1,118 1,090	1,059 1,074	493 509	84 74	583 584	434 476	48 15	482 491	42 13	30 7	9 6	10 4	10 1	6 2	33 27	35 14	31 11	4 3	1,186 1,131	

### 幼稚園児、小学校児童、中学校生徒の数

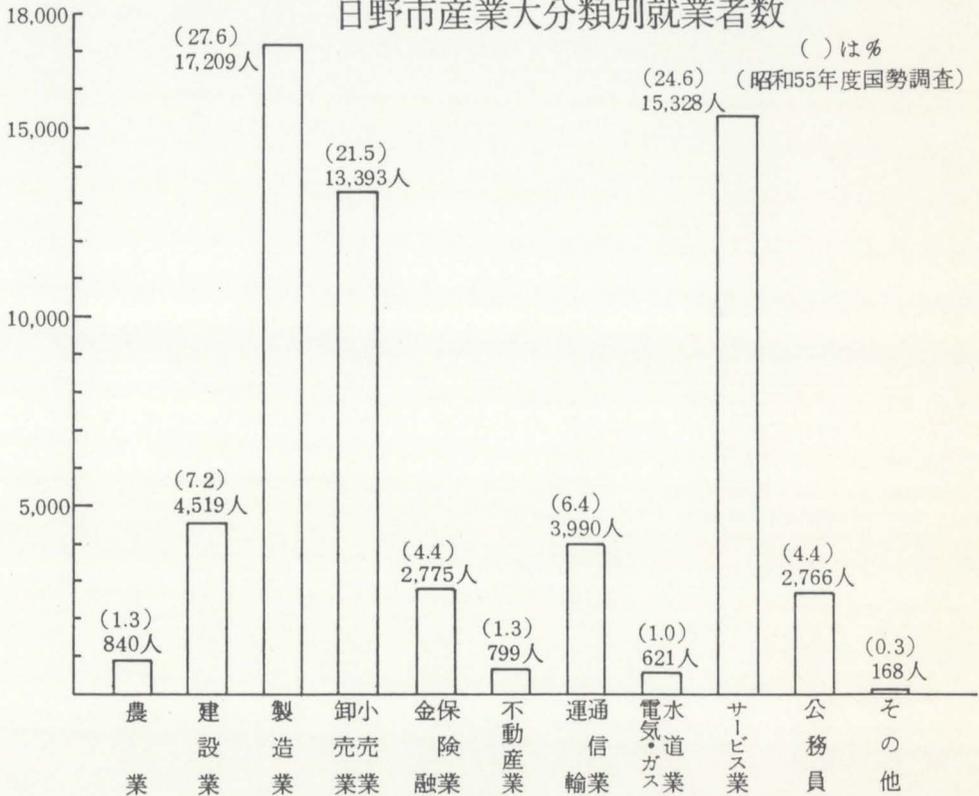
〈昭和48年度～57年度〉



### 日野市産業大分類別就業者数

( )は%

(昭和55年度国勢調査)



園児・児童・生徒・学級数調べ

< 59. 4. 7 現在 >

上段 58年度 ( ) 内学級数  
下段 59年度

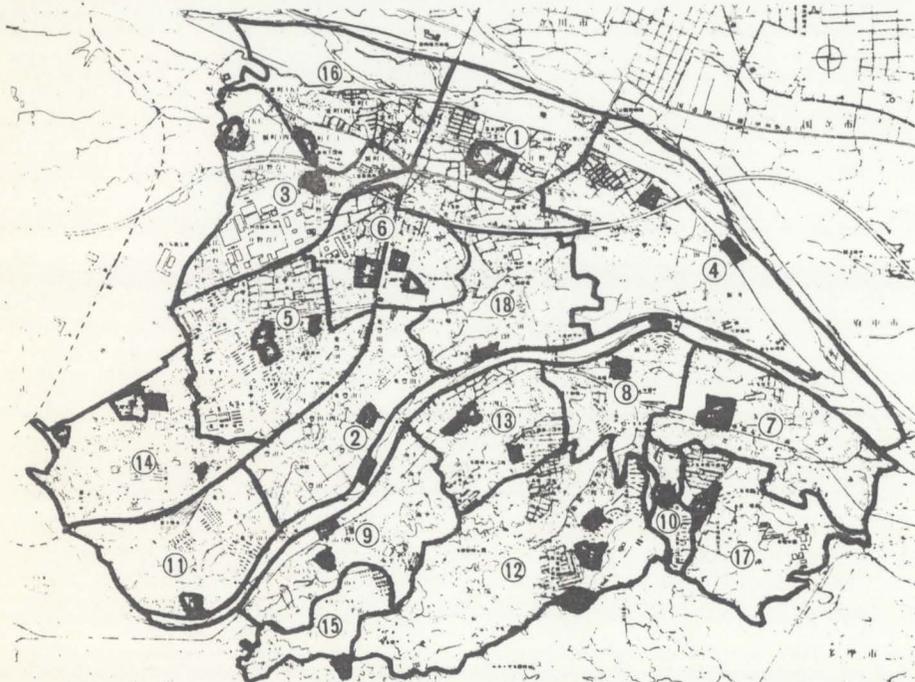
No.	小学校名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	心 障
1	日野第一小学校	150(4) 111(3)	150(4) 116(3)	161(4) 111(3)	190(5) 114(3)	172(4) 141(4)	190(5) 115(3)	1,013(26) 708(19)	
2	日野第二小学校	144(4) 171(4)	164(4) 146(4)	153(4) 166(4)	190(5) 156(4)	188(5) 198(5)	171(4) 188(5)	1,010(26) 1,025(26)	
3	日野第三小学校	102(3) 107(3)	119(3) 104(3)	140(4) 123(3)	136(4) 146(4)	131(3) 133(3)	151(4) 136(4)	779(21) 749(20)	26(3) 25(3)
4	日野第四小学校	130(3) 100(3)	118(3) 104(3)	138(4) 91(3)	159(4) 108(3)	160(4) 129(3)	162(4) 128(3)	867(22) 660(18)	
5	日野第五小学校	137(4) 161(4)	141(4) 142(4)	166(4) 136(4)	174(4) 160(4)	146(4) 170(4)	165(4) 155(4)	929(24) 924(24)	5(1) 6(1)
6	日野第六小学校	125(3) 121(3)	123(3) 115(3)	124(3) 125(3)	140(4) 119(3)	122(3) 140(4)	129(3) 116(3)	763(19) 736(19)	
7	潤徳小学校	91(3) 85(2)	99(3) 91(3)	114(3) 100(3)	112(3) 114(3)	106(3) 110(3)	133(3) 99(3)	655(18) 599(17)	
8	平山小学校	105(3) 115(3)	136(4) 108(3)	130(3) 136(4)	151(4) 138(4)	136(4) 150(4)	154(4) 138(4)	812(22) 785(22)	
9	日野第七小学校	107(3) 123(3)	128(3) 106(3)	124(3) 132(3)	138(4) 122(3)	116(3) 138(4)	129(3) 114(3)	742(19) 735(19)	
10	日野第八小学校	97(3) 106(3)	107(3) 98(3)	138(4) 107(3)	144(4) 136(4)	152(4) 144(4)	133(3) 153(4)	771(21) 744(21)	
11	百草台小学校	137(3) 118(3)	115(3) 97(3)	109(3) 119(3)	111(3) 101(3)	112(3) 107(3)	111(3) 111(3)	665(18) 653(18)	
12	滝合小学校	148(4) 140(4)	172(4) 146(4)	173(4) 171(4)	177(4) 166(4)	168(4) 172(4)	159(4) 172(4)	997(24) 967(24)	
13	高幡台小学校	116(3) 120(3)	100(3) 113(3)	123(3) 94(3)	122(3) 117(3)	142(4) 123(3)	136(4) 135(3)	739(20) 702(18)	
14	南平小学校	88(2) 142(4)	109(3) 94(3)	125(3) 112(3)	137(4) 126(3)	144(4) 139(4)	156(4) 142(4)	759(20) 755(21)	
15	程久保小学校	85(2) 81(2)	83(2) 87(2)	91(3) 80(2)	108(3) 95(3)	104(3) 106(3)	123(3) 107(3)	594(16) 556(15)	
16	旭が丘小学校	135(3) 144(4)	130(3) 133(3)	130(3) 130(3)	179(4) 125(3)	139(4) 178(4)	150(4) 140(4)	863(21) 850(21)	
17	平山台小学校	67(2) 65(2)	91(3) 68(2)	100(3) 88(2)	135(3) 103(3)	132(3) 133(3)	139(4) 133(3)	664(18) 590(15)	17(2) 12(1)
18	東光寺小学校	90(2) 75(2)	91(3) 85(2)	103(3) 82(2)	112(3) 100(3)	87(2) 107(3)	104(3) 87(2)	587(16) 536(14)	
19	三沢台小学校	66(2) 82(2)	87(2) 66(2)	111(3) 91(3)	123(3) 107(3)	119(3) 125(3)	111(3) 120(3)	617(16) 591(16)	
20	仲田小学校	55(2)	57(2)	67(2)	68(2)	81(2)	83(2)	411(12)	
計		2,090(56) 2,222(59)	2,263(60) 2,076(58)	2,452(64) 2,261(60)	2,738(71) 2,421(65)	2,576(67) 2,724(70)	2,706(69) 2,572(67)	14,825(387) 14,276(379)	48(6) 43(5)

No	中学校名	1 年	2 年	3 年	計	心 障
1	日野第一中学校	264( 6 ) 313( 7 )	295( 7 ) 264( 6 )	315( 7 ) 289( 7 )	874(20) 866(20)	
2	日野第二中学校	311( 7 ) 314( 7 )	297( 7 ) 312( 7 )	294( 7 ) 299( 7 )	902(21) 925(21)	
3	七 生 中 学 校	262( 6 ) 260( 6 )	254( 6 ) 265( 6 )	235( 6 ) 255( 6 )	751(18) 780(18)	14( 2 ) 13( 2 )
4	日野第三中学校	423(10) 386( 9 )	462(11) 416(10)	407(10) 456(11)	292(31) 258(30)	
5	日野第四中学校	300( 7 ) 306( 7 )	254( 6 ) 300( 7 )	279( 7 ) 251( 6 )	833(20) 857(20)	
6	三 沢 中 学 校	229( 6 ) 335( 8 )	243( 6 ) 229( 6 )	227( 6 ) 235( 6 )	699(18) 799(20)	
7	大坂上中学校	269( 6 ) 317( 8 )	226( 6 ) 267( 6 )	274( 7 ) 230( 6 )	769(19) 814(20)	22( 2 ) 16( 2 )
8	平 山 中 学 校	303( 7 ) 320( 8 )	273( 7 ) 303( 7 )	277( 7 ) 280( 7 )	853(21) 903(22)	
計		2,361(55) 2,551(60)	2,304(56) 2,356(55)	2,308(57) 2,295(56)	6,973(168) 7,202(171)	36( 4 ) 29( 4 )

No	幼稚園名	4 歳 児	5 歳 児	計
1	第一幼稚園		179( 5 ) 143( 4 )	179( 5 ) 143( 4 )
2	第二幼稚園	40( 1 ) 40( 1 )	65( 2 ) 55( 2 )	105( 3 ) 95( 3 )
3	第三幼稚園	40( 1 ) 40( 1 )	78( 3 ) 67( 2 )	118( 4 ) 107( 3 )
4	第四幼稚園	38( 1 ) 39( 1 )	43( 2 ) 39( 1 )	81( 3 ) 78( 2 )
5	第五幼稚園		53( 2 ) 18( 1 )	53( 2 ) 18( 1 )
6	第六幼稚園		54( 2 ) 37( 2 )	54( 2 ) 37( 2 )
計		118( 3 ) 119( 3 )	472(16) 359(12)	590(19) 478(15)

## 避難場所と地区割当表

番号	避難場所	収容人口	避難地区	番号	避難場所	収容人口	避難地区
1	第一中学校校地 仲田緑地	28,000 <sup>人</sup>	日野の一部	11	滝合小学校	8,500 <sup>人</sup>	東平山1.2.3丁目 西平山1.2.3.4丁目
2	豊田児童公園 第二小学校	11,000	東豊田1.2.4丁目 豊田1~4丁目	12	高幡台小学校 三星中学校 第三中学校	22,000	程久保の大部分 高幡台団地
3	第三小学校 日野自動車グラウンド	23,000	新町1.2.4.5丁目 日野台1.2.3.4.5丁目	13	鹿島台公園 南平台小学校 南平台体育館	12,500	南平1~5丁目
4	日野総合グラウンド 第四小学校	22,500	日野の一部、新井 石田、下田の一部	14	旭が丘小、第四中 都立工科短大 旭が丘東公園	30,000	旭が丘の全部 西平山5丁目
5	多摩平団地自然公園 第二中学校 多摩平第一公園	21,000	多摩平1~6丁目 東豊田3丁目	15	平山台小学校	7,500	平山1.2.3丁目 平山苑
6	第七小学校校園 日野中央公園 実践女子大	23,000	多摩平の一部、神 明上区画整理区域内	16	東光寺小学校	8,600	栄町1~5丁目 新町3丁目
7	第八小学校校地 三沢中学校	16,000	百草、落川、三沢 の一部	17	三沢台小学校 百草台自然公園	13,000	百草、三沢の一部 日本信販造成地
8	新井橋際河川敷 潤徳小学校	11,000	高幡、新井の一部	18	駒形公園	10,000	日野の一部、堀之内 上田、宮の全部
9	平山小学校校地 平山中学校	13,000	平山4.5.6丁目 南平6.7.8.9丁目	計	18 個 所	286,600	
10	百草台小学校	6,000	百草団地、百草、 程久保の一部				



市立小中学

番号	校名	開校年度	建築年度 増改築	校地面積 m <sup>2</sup>	校舎保有面積 m <sup>2</sup>	普通教室	
						普通	理科
1	一小	M 6	37. 38. 39.	20, 947	4, 379	25	1
2	二小	M 7	42. 43. 48. 53~54	11, 640	4, 757	27	1
3	三小	S 23	41. 42. 47. 49~50	16, 806	6, 007	30(5)	1
4	四小	M 6	39. 40. 44.	15, 292	3, 820	19	1
5	五小	S 34	36. 39. 40. 43	18, 435	5, 251	34	2
6	六小	S 40	38. 39. 43. 48	19, 833	6, 098	31	1
7	潤徳小	M 6	39. 40. 45	15, 376	4, 907	28	1
8	平山小	M 6	39. 40. 41. 44	13, 349	4, 450	24	1
9	八小	S 44	44. 47. 49	17, 061	5, 102	26	1
10	百草台小	S 45	44. 48. 50	15, 143	5, 248	26	1
11	滝台小	S 46	45~46	20, 545	5, 506	27	1
12	高幡台小	S 47	46. 48. 52.	16, 017	4, 983	27	1
13	七小	S 48	47~48. 52~53. 57.	13, 509	4, 806	22	1
14	南平小	S 49	48~49. 53. 55	16, 569	5, 254	27	1
15	程久保小	S 52	49~51	16, 988	4, 092	18	1
16	旭が丘小	S 52	51~52. 56	16, 642	5, 463	26	1
17	平山台小	S 53	52~53. 54	18, 536	4, 939	20(2)	1
18	東光寺小	S 54	53~54	19, 586	4, 356	18	1
19	三沢台小	S 55	54~55	15, 170	4, 483	18	1
20	仲田小	S 59	58~59	15, 660	3, 065	12	1
1	一中	S 22	37. 38. 40. 47. 50. 58	19, 186	6, 118	26	2
2	二中	S 29	34. 35. 38. 40. 41. 49~50	21, 150	6, 274	28	2
3	七生中	S 22	36. 38. 44. 45. 50~51	20, 367	5, 831	21(3)	2
4	三中	S 45	45. 47. 49	21, 520	6, 890	28	2
5	四中	S 48	47. 49. 52.	17, 278	6, 168	27	2
6	三沢中	S 52	51~52. 58~59	20, 679	6, 596	21	2
7	大坂上中	S 55	54~55. 57	19, 389	6, 996	22(3)	2
8	平山中	S 56	55~56	18, 200	5, 967	24	2

( )心障教室

校施設一覽

59.5.1

教室								プレハブ		体育館 m <sup>2</sup>	プール 大(25×11m) 小(10×5m)	給食室 m <sup>2</sup>	実学級
特別教室								教室					
音楽	図工	美術	技術	家庭	視覚	図書	その他	普通	特別				
1				1		1			1	760	大.小	179	19
1	1			1		1				761	〃	172	26
1	1			1		1				761	〃	144	20(3)
1	1			1		1			1	765	〃	130	18
2	1			1		1				761	〃	273	24(1)
2	1			1		1				765	〃	213	19
1	1			1		1				779	〃	204	17
1	1			1		1				545	〃	147	22
1	1			1		1				710	〃	231	21
1	1			1		1				752	〃	188	18
2	1			1		1				701	〃	256	24
1	1			1		1				714	〃	226	18
1	1			1		1				736	〃	219	19
1	1			1		1				734	〃	188	21
1	1			1		1				760	〃	216	15
1	1			1		1				760	〃	213	21
1	1			1		1				760	大.12×5m	268	15(1)
1	1			1		1				760	大.小	214	14
1	1			1		1				757	〃	215	16
1	1			1		1							12
2		2	2	2		1	1		1	842	大	765	20
2		1	2	2		1	1			1,075	〃		21
2		2	3	3		1				765	〃		18(2)
2		1	2	2		1	1	2	3	1,067	〃		30
2		2	2	2		1				1,136	〃		20
2		2	2	2		1	1		2	1,118	〃		20
2		2	2(1)	2(1)		1	1		1	〃	〃	599	20(2)
2		2	2	2			1			1,189	〃	230	22



園 名 日野市立第一幼稚園  
 所 在 地 日野市多摩平4-3  
 電 話 0425-81-4124・4105  
 順 路 豊田駅より北へ徒歩約10分  
 園 児 数 男76名 女67名 計143名

園長氏名 田 中 光 一 副園長氏名 田 中 澄 子

### 1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置  
 さる・学級7、定員280名、  
 職員教諭8名、用務員1名。  
 園敷地2,700㎡、園舎777㎡  
 プレハブ1棟。  
 4.10 開園、園児280名  
 5.25 創立記念日とす  
 5.30 園章制定
- 昭43. 9. 6 プール第一次計画完成(中庭)  
 12.20 ホール増築完成  
 2.10 プール第二次計画完成  
 (プールサイド、シャワー)
- 昭44. 6. 1 プレハブ園舎、ベランダ増設工  
 事完成  
 7.15 運動場拡張完成
- 昭48. 3.14 東京都交通安全教育実験学校  
 研究発表会(第一年次)  
 10.23 東京都交通安全教育実験学校  
 研究発表会(第二年次)
- 昭50. 3.10 10周年記念研究発表会開催  
 園歌制定  
 12.20 園舎増築完成  
 保育室3、プレイコーナー、図  
 書コーナー各1、保健室1、資  
 料室1、屋上、トイレ、物置1
- 昭57. 8.31 園庭の整地完成  
 昭58. 9. 1 幼児教育センターの開設にあた  
 り2教室を提供

### 2. 歴代園長

氏 名	年 月~年 月
江 角 正 子	昭40.4.1~昭56.3.31
光 永 久 夫	昭56.4.1~昭57.3.31
田 中 光 一	昭57.4.1~現在

### 3. 地域の環境

市の一大集団住宅地域である多摩平団地およ  
 び周辺住宅の中心にある。近くには公園もあり  
 比較的閑静な環境にあったが、甲州街道と平行  
 してそのバイパス的役割をなす道路に面してい  
 るため近年は交通量も多くなり危険になってき  
 いた。

### 4. 教育目標

- 明るく元気ががんばることも
- よく見、よく聞き、よく考えることも
- やさしい心をもつことも

### 5. 本年度指導の重点

- 身心共に健やかに、友だちと心を通わせなが  
 ら自分を十分発揮して遊べる子どもを育てる。
- 失敗や困難に打ち勝ち満足感や喜びを味わう  
 中で意欲を育てる。
  - 友だちに深い愛着をもつ集団生活で、葛藤の  
 経験を通して社会性や自律、愛情の芽を培うよ  
 うにする。

### 6. 本年度の研究主題

幼児の発達課題をおさえた教育課程の再編成

### 7. 本校の特色

- 地域と園とのつながりを大切に考え、母親コ  
 ーラスなどを通して教育の場を豊かにしてい  
 る。
- 自然を活用した園外保育に力を入れている。

### 8. その他(教職員の研究歴)

№	内 訳	開 発 委 員 (現代化)
1		田 中 澄 子 (48経営)
2		樋 山 欣 子 (50自然)



園 名 日野市立第二幼稚園  
 所 在 地 日野市平山4-8-4  
 電 話 0425-91-4125  
 順 路 京王線平山城址公園下車徒歩10分  
 園 児 数 男44名 女51名 計95名

園長氏名 伊藤 智章 副園長氏名 沖山 英代

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校内に設置
  - 5.10 開園記念日と定める。
  - 5.30 園章制定
- 昭46. 3.10 日野市研究協力園として研究発表を行う
  - 第二幼稚園の歌制定
- 昭48. 2.21 東京都交通安全教育推進学校研究発表会(第一年次)
- 昭49.10.22 東京都交通安全教育推進学校研究発表会本発表(第二年次)
  - 12.14 創立10周年記念式典開催
- 昭51. 4. 6 保育室、廊下、職員室、医務室床、改装完成
- 昭53. 9.30 玄関入口広場を図書コーナーに改装完成
- 昭55. 9. 1 図書コーナー本棚設置
- 昭56. 4. 6 市水道管引込工事完了
- 昭57. 3. 8 屋根・ホール床塗装完成
- 昭57. 4.10 二年保育再開
- 昭58. 8.23 園舎内装完成

2. 歴代園長

氏 名	年 月～ 年 月
後藤 正太	昭40. 4～昭42. 3
安積 利治	昭42. 4～昭47. 3
小野 晃	昭47. 4～昭51. 3
深澤 真人	昭51. 4～昭55. 3
林 元美	昭55. 4～昭58. 3
伊藤 智章	昭58. 4～

3. 地域の環境

市の南西部にあり、平山小学校に隣接している。南の多摩丘陵がつらなり、近くには平山城址公園、浅川土手、梨畑や田んぼなどがあり自然環境に恵まれている。四季を通じて野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

- (1) 明るく元気に遊べる子ども
- (2) やる気のある子ども
- (3) 思いやりのある子ども

5. 本年度の指導の重点

- ひとりひとりの幼児が積極的に遊びにとりくみ存分に楽しみながら、充実感、満足感をもち、生き生きと活動したり、ともだちのことも考えてあげられるような、子どもの育成につとめる。
- 地域の自然を活用し園外保育を多くとり入れて自然に親しみ、感動、探求心、興味など、豊かな心の子どもの育成につとめる。

6. 本年度の研究主題

- 幼児の発達にあった経験や活動の選択、配列を考えた、教育課程編成する。

7. 本園の特色

- 平山城址公園や河原など、園周辺の自然環境を利用し、四季を通じて自然に親しめる活動を、多くとり入れている。

8. その他(教職員の研究歴)

№	内 訳	研 究 員
1		沖山 英代



園 名 日野市立第三幼稚園  
 所 在 地 日野市日野本町 2-14-1  
 電 話 0425-81-7127  
 順 路 国電 日野駅下車 東へ10分  
 園 児 数 男54名 女64名 計118名

園長氏名 古谷 洋太 副園長氏名 坂口 嘉津子

1. 沿革の概要

- 昭41. 4. 11 日野市立第三幼稚園として  
日野第一小学校内に設置  
学級数 4 園児数 143名
- 5. 4 開園記念日と定める
- 昭42. 5. ブロック塀完成
- 11. 観察池設置
- 昭46. 4. 市研究協力園
- 昭47. 3. 屋外飼育舎新設
- 昭51. 2. ・区画整理のため、正門移動  
・園庭整備  
・10周年記念研究発表
- 昭53. 8. ホール 保育室等床改装完成
- 昭54. 8. 廊下床改装完成
- 昭56. 4. 2年保育再開
- 昭56. 8. 園舎外装

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
吉 田 辰 次	昭41. 4～41. 5
永 野 林 弘	昭41. 6～42. 3
吉 田 辰 次	昭42. 4～44. 3
下 田 忍	昭44. 4～50. 3
溝呂木 桂 次	昭50. 4～55. 3
村 田 安 正	昭55. 4～58. 3
古 谷 洋 太	昭58. 4～現在

3. 地域の環境

交通量の多い甲州街道、川崎街道、市道に囲まれた所に位置する。数年前までは、周囲に梨畑などがあり、四季の変化を身近に感じ、こどもたちも自然を利用した遊びを楽しむことができたが、最近では宅地化が進み、周囲の自然が失われていくようである。

4. 教育目標

- 心身ともに健康で、調和のとれた人格形成をめざす。
- 丈夫な身体で 元気に遊ぶ子
- 自分から進んで取りくみやりぬく子
- 心のやさしい子

5. 本年度の指導の重点

社会の一員として必要な基本的生活習慣を身につけると共に、人間性豊かな幼児の育成をめざして、戸外遊びや運動的な活動を十分取り入れて、充実感の持てる指導をめざす。

6. 本年度の研究主題

- 日々の実践をとおして
- 教育課程のみなおし、特に経験や活動の選択と配列について

7. 本園の特色

- 園庭に畑をつくり、こどもたちが自らの手で育て、収穫する喜びを味わっている。
- 一年中、いろいろな花が咲いているよう心がけている。

8. その他

教員の研究歴

内訳	研究員	開発委員
1	坂口嘉津子(44年)	坂口嘉津子(51年)



園 名 日野市立第四幼稚園  
 所 在 地 日野市石田431-6  
 電 話 0425-83-3903  
 順 路 立川-高幡不動 京王バス四小前下車 徒歩5分  
 園 児 数 男40名 女39名 計79名

園長氏名 竹永秀雄 副園長氏名 平向邦江

### 1. 沿革の概要

- 昭48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園  
 学級数2、園児数41名  
 教諭数3名、用務員1名
- 4.10 入園式挙行  
 10.29 落成式挙行  
 11. 1 開園記念日と定める。  
 11. 7 園庭の植樹完了  
 12. 1 鉄骨製藤棚完成
- 昭49. 3.20 第一回修了児46名  
 昭51. 8.30 各保育室前、テラス完成  
 昭53.10.11 観察池完成  
 昭54. 9. 8 廊下床、足洗い場改装完成。  
 昭56. 9.30 各保育室、教材・教具整理棚完成。  
 昭57.1.1.1 創立10周年記念式典挙行  
 園歌制定

### 2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
内藤 達夫	昭48.4.1～52.3.31
釜池 博	昭52.4.1～57.3.31
竹永 秀雄	昭57.4.1～現在

### 3. 地域の環境

国道20号線の日野橋架橋より東へ約1km入った、多摩川の土手近くにあつて、日野第4小学校に隣接している。前面に中央高速道路が東西に走り、西側の都道は交通量が多く、道巾も狭いため危険である。周辺にはまだ田畑が多く、桑畑や梨畑が続いている。農業用水路、農道な

ども子どもたちの遊び場ともなり、緑も多く、四季を通じて野外活動の場になっている。近年少しずつ宅地化がすすみ、自然破壊が懸念される。園児のほとんどは、四小学区域からの通園であるが、二年保育が再開されてから、他の学区域からも通園するようになり広がりを見せている。公園等の遊び場所は極めて少ない。

### 4. 教育目標

人間性豊かな子どもの育成をめざし

- (1) 明るく元気な子ども
- (2) よく考え、やりぬく子ども
- (3) 思いやりのある子ども

### 5. 本年度の指導の重点

- (1) 幼児の実態を的確に把握するための観点を明らかにし、記録をもとに一人一人の幼児の個性を尊重した指導を工夫する。
- (2) 幼児の感性を豊かにするために、発達段階、時期などを考慮し、教材・教具の精選、活用化を図る。
- (3) 幼児が自発的・主体的に取り組む園行事のあり方を工夫する。

### 6. 本年度の研究課題

幼児の発達段階及び園の実態に即応した教育課程の編成—発達課題及び経験や活動の選択—

### 7. 本園の特色

○河原遊び、草摘み、梨もぎなど、園の周りの環境を利用した四季折々の経験や活動を通して「自然」に思う存分親しませている。

- 園内では小動物や草花の飼育栽培を通し科学性の芽ばえを培うよう環境整備に配慮している。
- 年長、年少児相互の交流の場を通し、遊びを伝達させ、経験や活動の巾を広げるとともに、年長児の中に、思いやりや優しさ、責任感、協調性などが育つように配慮している。
- 父母や地域から信頼される園づくりのために、家庭との連携のあり方を工夫するよう努力している。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 1/6	研 究 員	開 発 委
1	平 向 邦 江（49年）	平 向 邦 江（58年）



園 名 日野市立第五幼稚園  
 所 在 地 日野市三沢175  
 電 話 0425-92-0432  
 順 路 京王線 高幡不動駅下車 東へ約13分  
 園 児 数 男 8 名 女10名 計18名

園長氏名 澁谷 義一 副園長氏名 上野 美津枝

1. 沿革の概要

- 昭49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置される。  
学級数2、定員80名  
教諭3名、用務員1名
- 4.15 第一回入園式挙行 園児数62名
- 11. 1 落成式を挙行 同日を開園記念日とする。
- 昭50. 1.20 園庭拡張される。
- 昭50. 3.20 第1回修了式 修了児70名
- 昭53. 4. 1 1学級増のためプレハブ教室増築、学級数3、
- 昭56. 4. 1 学級数2、定員80名
- 昭59. 2.25 創立10周年記念式挙行
- 昭59. 3.31 プレハブ教室撤去
- 昭59. 4. 1 学級数1（一年保育5歳児）

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
岡本省吾	昭49.4.1～53.3.31
古谷洋太	昭53.4.1～58.3.31
澁谷義一	昭58.4.1～現在

3. 地域の環境

京王線高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の位置にあり、周囲は田んぼ、畑が多く、自然に恵まれ、小学校、中学校に隣接している。近くには、高幡不動、多摩動物公園、百草園などがあり、四季折々の野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

- よく遊び、よく考える子
- 豊かな心を持ち、素直に表現できる子
- 望ましい生活習慣を身につけた子

5. 本年度の指導の重点

- (1) 自ら進んで遊びにとりくみ、生き生きと活動する子どもを育てる。
- (2) 自然に親しみ、感動する心、探求する心をもった子どもを育てる。
- (3) 地域の自然環境を生かした教材を多くとり入れ、情感豊かな心をもった子どもを育てる。

6. 本年度の研究主題

- こどもの見方・育て方—
- 個人記録、行動観察をとおして、ひとりひとりの子どもを理解し、育てていく。

7. 本園の特色

- 園外保育を多くとり入れ、自然の中で遊ぶ楽しさ、解放感を味あわせている。
- 園庭に畑をつくり、こどもたちが自らの手で育て、収穫する喜びを味あわせている。
- 広い園庭を生かした遊びを多くとり入れている。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳	研 究 員	開発委員(現代化)
1	上野美津枝(53年)	上野美津枝(52年)



園 名 日野市立第六幼稚園  
 所 在 地 日野市程久保 876-2  
 電 話 0425-92-6330  
 順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスで  
 高幡台団地下車 徒歩5分  
 園 児 数 男14名 女23名 計37名

園長氏名 津野田 昭 二      副園長氏名 石 川 和 子

1. 沿革の概要

- 昭50. 9. 6 園舎新築工事起工
- 昭51. 3.19 園舎完成
  - 4. 1 日野市立第六幼稚園として開園  
 鉄筋平屋建園舎  
 学級数2、定員80名  
 教諭3名、用務員1名
  - 4.10 入園式挙行、園児数73名
  - 5.29 落成式挙行、開園記念日とする
- 昭52. 5.30 プール(ヤマハ・キューティメイトDX)設置
- 昭53. 3.12 1学級増設のためプレハブ教室増設
- 昭55. 4. 3 1学級減、プレハブ教室撤去
  - 8.31 保育室床改装完成
- 昭58. 8, 5 プールのフェンス、園庭フェンス防球ネット完成

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ~ 年 月
手代木 和 夫	昭51.4.1 ~ 54.3.31
近 内 信 輝	昭54.4.1 ~ 58.3.31
津野田 昭 二	昭58.4.1 ~ 現在

3. 地域の環境

日野市の東南部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地と百草団地との分岐点に位置し、園舎は緑の森林に囲まれ、起伏に富んだ所である。近くには多摩動物公園、百草園、高幡不動尊などがあり、野外遊びのできる場所も多く、自然に親しむことができる。

4. 教育目標

- 明るく元気なこども
- やさしい心で助け合うこども
- 最後までがんばるこども

5. 本年度の指導の重点

- (1) 幅広い経験や活動を通して、自ら進んで活動する子どもにするために、発達段階をふまえた指導を行う。
- (2) 運動遊びを通し、友達といっしょに体を動かして遊ぶことの楽しさを味わわせ、友達への思いやりを育て、活動意欲を高める。

6. 本年度の研究主題

園外保育、動植物の飼育栽培など、自然を生かした望ましい、指導のあり方を工夫する。

7. 本園の特色

- 動植物の飼育栽培を子ども達が行い、育てることの喜びを味わわせている。
- 園周辺の自然環境を利用した園外保育を多く取り入れ、思う存分に体を動かし、自然に親しませている。

8. その他

教職員の研究歴

内 訳	研 究 員	現代化委員
1	石川 和子(54年)	石川 和子(53年)



学 校 名 日野市立日野第一小学校  
 所 在 地 日野市日野本町2-14-1  
 電 話 0425-81-0073・0061  
 順 路 中央線日野駅下車 徒歩6分  
 児 童 数 男382名 女326名 計708名

校長氏名 古 谷 洋 太      教頭氏名 長谷川 鉄 夫

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 土淵山普門寺の本堂をあて開校。  
 第一大学区第八中学区第五十四  
 番小学日野学校と称す。(現在  
 の中央公民館のとなり。当時、  
 神奈川県)  
 明 45. 2. 11 校歌、校章制定、校舎増改築、  
 校地拡張  
 昭 11. 4. 29 校旗寄贈(古谷剛次郎氏)  
 昭 15. 日野2800番地(現在地)に  
 土地900余坪、新校舎建築開  
 始。(戦時中、軍徴用)  
 昭 23. 4. 25 新校舎に移転完了  
 昭 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり、教  
 育課程の研究発足  
 昭 27. 3. 5 上記の研究発表  
 昭 28. 8. 22 80周年記念プール竣工  
 昭 38. 11. 3 日野市制施行により日野市立日  
 野第一小学校と校名を変更  
 昭 43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育  
 環境の整備」を主題として研究  
 発足。  
 8. 1 日野市集会場を屋内運動場 兼  
 講堂として移管  
 昭 44. 2. 21 日野市研究協力校として「教育  
 環境の整備について」発表  
 5. 1 東京都学校花壇協力校となる。  
 昭 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級設置。  
 5月17日開級。  
 昭 47. 2. 都市計画神明上区画整理事業開  
 始。校庭南側一部縮少。  
 昭 48. 4. 授業研究校。(以来現在まで)  
 11. 創立百周年記念祭

- 昭 51. 4. 非常階段(東側)設置  
 8. 給食室の改修。理科室の整備  
 昭 53. 2. 理科室、家庭科室改修  
 10. 給食室改修  
 昭 54. 4. 訪問学級、日野第三小学校へ  
 移設、非常階段設置(西)  
 昭 55. 8. 排水溝改修、受水槽設置  
 昭 57. 1. 体育館改修、飼育舎設置  
 昭 58. 8. 校内塗装、窓アルミサッシ化  
 昭 59. 3. 仲田小分離

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
日野 義順	明 6. 5～明 9. 7
国府田 学	明 9. 7～明 11. 3
小川 則要	明 11. 4～明 15. 3
鈴木 宗也	明 15. 4～明 16. 8
上野 兼松	明 16. 9～明 18. 3
二見友三郎	明 18. 4～明 19. 4
八木岡寛制	明 19. 5～明 21. 10
佐野 鶴松	明 21. 11～大 5. 3
古谷剛次郎	大 5. 4～大 12. 1
河合 平作	大 12. 2～大 15. 3
古谷剛次郎	大 15. 4～昭 11. 1
宮川 海三	昭 11. 2～昭 18. 3
貫井 半蔵	昭 18. 4～昭 23. 8
小池 嘉一	昭 23. 9～昭 34. 3
尾崎半次郎	昭 34. 4～昭 37. 3
五十嵐葆光	昭 37. 4～昭 38. 3
木村 清	昭 38. 4～昭 41. 3
吉田 辰次	昭 41. 4～昭 44. 3
下田 忍	昭 44. 4～昭 50. 3
溝呂木桂次	昭 50. 4～昭 55. 3
村田 安正	昭 55. 4～昭 58. 3
古谷 洋太	昭 58. 4～現 在

### 3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅の南方に位置し、農地、工場、商店、住宅により構成される地域を校区としている。駅に近く、交通の便はたいへんよい。しかし、甲州街道及び川崎街道は交通量もたいへん多い。校区内は、区画整理も進み、地番の整理も行われた。駅周辺の開発も進み、かつての日野宿のおもかげも失われつつある。しかし、歴史をとどめるものも残り、自然も美しく、心やすまる環境も残されている。

### 4. 教育目標

本校の教育は、地域社会、児童の実態に則し、自主的に人格の完成につとめる児童の育成を旨とし、次のことを中心に展開する。

- |                    |   |
|--------------------|---|
| 1. 科学性を身につける子ども    | 事実を正しくみる力を養い、正しい判断力、順序立った思考力を伸ばして、基礎的学習をはかる。    |
| 1. 豊かな心情をもつ子ども     | 真、善、美に対する感受性を養うと共に、自然、動植物、愛護、他人に対する思いやりの気持を深める。 |
| 1. 強い意志を育てる子ども     | 目標に向かって最後までやりとげる実行力を培い、困難にあってもくじけない気持を育てる。      |
| 1. じょうぶなからだをつくる子ども | 節度のある生活態度を身につけ、継続して体力の増進をはかる児童を育成する。            |

### 5. 本年度の指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

- |        |  |
|--------|--|
| ア 各教科  | 基本方針を受けて、その具体化につとめること、指導要領の趣旨、内容の理解につとめ、指導法の改善、資料の整備活用をはかる。特に発達段階を考慮して基礎的な学習が身につくようにする。1単位時間は45分とし、授業にゆとりを持たせ、ひとりひとりの学習の定着に十分配慮する。また低学年においては合科的な学習も取り入れるようにする。   |
| イ 道徳   | 互いに人格を尊重し、協力し合える集団づくりを実践的活動によって培う。道徳性の強化をはかり、指導法についても工夫、改善し、全生活場面で児童に正しい価値観や判断力、豊かな心情が身につくようにする。特に、「おちついてよく聞く」を基盤に、指導の深化をはかる。  |
| ウ 特別活動 | 児童ひとりひとりが集団の中で自分の役割を自覚し、進んで行動できるように指導する。学級会・学級指導の場では、児童ひとりひとりの心情や考えをひき出すようにし、他人の発言には特に耳を傾けて、相互理解・相互尊重の望ましい生活態度の確立を目指していく。また、クラブ活動の充実をはかり、クラブ発表会を学校行事に位置づける。委員会の常時活動も、児童の創意を生かして意欲をもって取り組むようにし、活動の評価についても一層の工夫を加える。 |

#### (2) その他の活動

学校裁量の時間の活用には、学級における児童ひとりひとりの係り活動等の充実、勤労体験的行事としての学年活動、学校諸行事の準備活動等にあて、高学年児童としての学校におけ

る立場の自覚を強めるようにする。特別活動の指導組織の機能を生かし、各種行事が計画的に行われるようにし、また、音楽朝会、体育朝会、マラソン大会に向けての全校的な取り組みに意欲を持たせ、夏季における水泳指導については、特に水泳初心者指導の期間を設けて、全職員でこれに当るようにする。

(3) 生活指導・進路指導

個の尊重・個性の伸長、相互のふれ合い、連帯感の強化を大切にし、児童ひとりひとりの心身の安定に絶えず目を向けていくように特に配慮し、児童理解を深化する。集団の秩序と安全保持の立場から指導の徹底をはかる。特に次の5つの約束を、本校生活指導の重点として基本的生活習慣の定着を全教職員の共通理解のもと意欲的に進める。

- (1) 人の話をよく聞く
- (2) せいりせんとんをする
- (3) 時間を守る
- (4) あいさつをする
- (5) 正しい歩行をする

6. 本年度の研究主題 「児童が意欲的に学習に参加するための指導法の研究」

学校生活を児童にとって充実した生きがいのある場にするを旨とし、学校生活の大部分を占める授業を、児童にとって意欲的に活動する場にすることが今特に重要であるとの考え、主題を設定した。本年度は、前年度にひき続き、体育をとりあげ、各学年の発達段階にふさわしい指導法を工夫・開発する。ひとりの発達向上とともに、集団の中での自己の力量発揮が進んでできることが授業の中で定着していくことにも視点をあてたい。

7. 本校の特色

- (1) 本校は、開校111年を誇る歴史と伝統のある学校で、父母・地域の方の中にも卒業生が多く、地域の学校に対する愛情や期待は大きい。古き良きものを愛し、大切に、地域からの信頼、地域との連帯を深めながら更により校風を築く努力を重ねている。
- (2) 教科指導と両輪をなす生活指導に教職員の結足をはかり、生活指導報告内、生活指導協議会の設置により、「全校児童、わがクラスの子」を合言葉にして指導にあたり、児童の健全な成長を計っている。
- (3) 新しい体育館もでき、教育は環境からの意識で、有形・無形の環境美化に全校一致してあっている。

8. その他(教職員の研究歴)

№	内訳	研 究 員	開 発 委 員	そ の 他
1	古谷 洋太 45(図工)	武内 忠雄 59(体育)	長谷川鉄夫 48(都体力測定委員) 54(指導基準作成協力委員)	
2	村上 悦子 45(音楽)	香川 善平 54(社会)	香川 善平 55(兵庫教大大学院留学) 56	
3	佐々木玄吾 51(社会)			
4	井尻 武子 55(教育相談)			
5	高木 映子 50(教育方法)			
6	武内 忠雄 52(体育)			
7	長谷川鉄夫 47(体育)			
8	香川 善平 49(特活)			



学 校 名 日野市立日野第二小学校  
 所 在 地 日野市東豊田 2-14-1  
 電 話 0425-81-0070・0851  
 順 路 中央線豊田駅南口下車、徒歩10分  
 京王線南平駅下車、徒歩15分  
 児 童 数 男522名 女503名 計1,025名

校長氏名 篠 宮 忠 男

教頭氏名 田 中 光 穂

### 1. 沿革の概要

- 明 7. 3 神奈川県 9 大区小 4 区豊田村尋常  
 小学校として創設、戸長山口平大  
 夫氏長屋を仮校舎にする。  
 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下 2 等  
 級に分け、上等小学校は満十歳か  
 ら十三歳までとする。  
 明 12. 2 豊田 1 3 2 0 番地、善生寺の西隣  
 に新校舎建築。  
 明 26. 4 東京府に編入される。  
 明 41. 3 日野小学校豊田分教場となる。  
 昭 17. 豊田 2 1 8 番地に新校舎建築、平  
 屋建 6 教室。  
 昭 21. 6 南多摩郡豊田国民学校として再び  
 独立  
 昭 27. 12 第 1 次増築、2 階建 8 教室  
 日野町立日野第二小学校と校名変  
 更。  
 昭 31. 4 第 2 次増築、2 階建 6 教室  
 昭 38. 11 日野市立日野第二小学校と校名変  
 更。  
 昭 43. 6 第 1 次防音、4 階建校舎完成。  
 昭 44. 3 第 2 次防音、4 階建校舎完成。  
 昭 46. 2 体育館工事、落成。  
 昭 49. 3 第 3 次防音、4 階建校舎完成。  
 昭 49. 11 創立百周年記念式典を行う。  
 昭 55. 3 1 階建校舎完成。  
 昭 56. 5 新プール完成。  
 9 校庭整備完成。  
 昭 57. 8 普通教室内部塗装完了。  
 昭 58. 12 校庭歩道完成。  
 昭 59. 2 グランドピアノ 1 台配当。

### 2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
小山 茂平	昭 21. 6～27. 9
増島 光一	〃 27. 10～34. 3
小池 嘉一	〃 34. 4～38. 3
森久保惣次	〃 38. 4～42. 3
後藤 正太	〃 42. 4～47. 3
安積 利治	〃 47. 4～50. 3
永井 雅夫	〃 50. 4～53. 3
鈴木 英夫	〃 53. 4～57. 6
篠宮 忠男	〃 57. 7～現 在

### 3. 地域の環境

- ・本校の学区は、かつては“豊田の里”と呼ばれた静かな農村であった。ところが、近年になって急に宅地造成が進み、農家の割合が 4%にも激減している。
- ・それでも、浅川を中心として田畑が広がり、屋上から見る景観はすぐれて美しい。
- ・また、ローラースケートのできる駒形公園、市民プール、市立中央図書館など、公共施設にも恵まれている。
- ・さらに保護者は、学校教育に対する関心が深い。登校時の交通指導を積極的に進めるなど、きわめて建設的であり、また、協力的である。
- ・一方、学校前の都道をはじめとして学区内の道路はどこも道幅がせまく、そのほとんどに歩道がない。しかも交通量がしだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況になってきている。

#### 4. 教育目標

##### (1) 学校の教育目標

- ◎からだも心も強く明るい子（重点目標）
- みんなと仲よく力を合わせられる子
- よく考え進んで行動する子
- 責任をもって最後までやりぬく子

##### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

人間尊重の精神に徹し、心身ともに豊かな子どもの育成をめざして

- ① 教育目標について、学年に相応した具体的目標をたてて、学年会で話し合い徹底をはかる。
- ② 授業の研究を全職員の協力によって行い、主体的な学習態度を育て、基礎学力を充実し、思考力を伸ばす指導を徹底する。
- ③ 教育活動の全体をとおして、人権、人命の尊重の教育に徹し、豊かな情操を育て、体力の向上をはかる。
- ④ 教育活動全体に、児童を自主的に参加させるようくふうし、みんなと仲よく力を合わせられる子どもの育成をはかる。
- ⑤ 教職員の話し合いをたいせつにし、共通理解を深め、協力して指導にあたる。

#### 5. 本年度の指導の重点

##### (1) 各教科、道徳、特別活動

###### ア. 各教科

- 指導内容を精選し、学習到達目標を明確にして、指導の効果を高める。
- 主体的な学習態度を育て、基礎的な学力の向上をはかる。

###### イ. 道徳

- 愛情豊かな情操を育てる指導を行う。
- 教育目標と道徳の関連をはかり、実践意欲を高める指導を行う。

###### ウ. 特別活動

- 集団行動をとおして、心身の調和的発達をはかる。
- 児童会、学級会、委員会活動、クラブ活動、学校行事等をとおして、自主的、実践的な態度を育てる。

##### (2) その他の活動

- なわとび、うす着、急歩等の指導をとおして、体力の向上をはかり、連帯感を育てる。
- 地域の豊かな自然を生かして、自然に親しむ態度の育成をはかる。
- 諸行事に自主的に参加させ、みんなと仲よく楽しい学校生活ができる児童の育成をはかる。
- 開校百周年を記念し、地域に根ざした勤労体験学習として、米作り、いも作りの実践をさせる。
- 日常生活の中の手仕事を重視し、功ち性、集中力を養い、あわせて働く喜びを味わわせる。

##### (3) 生活指導・進路指導

生活指導についての全職員の共通理解をもとにして

- ① 児童の基本的な生活習慣の育成をはかる。
- ② 話をよく聞く子の育成をはかる。
- ③ 避難訓練をとおして、防災指導の徹底をはかる。
- ④ 事例研究をとおして、児童への共通理解を深め、協力して指導にあたる。

6. 本年度の研究主題  
 児童が進んで学習する指導法の研究

7. 本校の特色

本校は開校110年の伝統を誇る由緒ある学校である。本年はその記念すべき年度にあたり、保護者・地域住民の理解と協力のもとに、田畑を5畝ずつを借り受け1～4年までは「さつまいも」5・6年は「米」づくりをとおして生産にまつわる苦労や自然とのかかわりあいを学んでいく。

なお、本年度の諸行事は「110年記念」と銘うち、一人一人の心によい思い出とよい校風づくりにつとめていく。式典は6月23日(土)に行い、収かく祭は11月に行っていく。

本校は市内随一千名をこす大規模校であるのにたいして校庭はたいへんせまい。そのために昨年引き続き「からだも心も強い明るい子」を重点目標とし、その具現化のために授業分析などをおして指導法を研究する他、なわとび・急歩大会・薄着の奨励など行い、心身ともに健康な子の育成に努めていく。

8. その他(教職員の研究歴)

内訳 /No	中央研	研究員	研究生	都・文部省委員
1	篠宮 忠男(56年)	篠宮 忠男(38社会)	篠宮 忠男(40社会)	田中 光穂(31.42文)
2		田中 光穂(37国語)	田中 光穂(26国語)	田中 光穂(43都)
3		尾関 博文(43体育)		
4		木内 秀雄(44社会)		



学 校 名 日野市立日野第三小学校  
 所 在 地 日野市日野台2丁目1番地1号  
 電 話 0425-81-0101・0850  
 順 路 中央線日野駅下車徒歩15分  
 児 童 数 男395名 女381名 計776名  
 (内 ひばり25)

校長氏名 古 田 耿 介      教頭氏名 上 辻 敏 雄

1. 沿革の概要

- 昭23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童1~3年340名、教室4、全学年2部授業
- 昭25. 6.10 日野台小学校として独立する。児童数696名、教室9、4年生迄2部授業
- 7.18 校章制定
- 9.19 4教室増築、教室数13、3年まで2部授業
- 昭27. 4.15 4教室増築、教室数17、2年まで2部授業
- 6.10 校歌制定
- 昭28. 6.10 校地850坪拡張、6教室増築教室数23、2部授業解消される。
- 昭30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を増築教室数25、児童数869名。
- 昭33. 8. 3 給食調理室完成
- 8. 3 大小プール落成
- 昭34. 3. 校地1100坪拡張
- 昭35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される。
- 昭37. 4. 5 校門完成
- 昭38.11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更。
- 昭39. 6. 2 放送室、用務員室完成。
- 昭42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭43.11.15 校地地番変更、日野市日野台2丁目1番地1号
- 昭46. 2.16 体育館落成式、校章制定
- 昭48. 4. 1 鉄筋新校舎9教室増築落成
- 昭50. 2.25 鉄筋新校舎(5教室、職員室、校長室、事務室、放送室など)竣工
- 6. 1 校旗制定
- 昭54. 4. 1 東光寺小と分離
- 昭55.11. 1 旧校舎渡り廊下撤去

- 昭56. 3.31 文化財収蔵庫を設置
- 4.15 栽培用具倉庫を設置
- 5.20 プール更衣室新設
- 9. 2 スチール黒板設置(30枚)
- 12. 9 校内緑化整美植樹(1273本)
- 昭57. 3.25 固定施設(はんとろ棒、遊具)改修。
- 5.15 プール撤水設備設置
- 8.31 ひばり学級床改修
- 10.27 中央玄関舗装
- 昭58. 1.17 南側校舎集中暖房オイルストレーナー改修
- 3. 5 小鳥小屋新設
- 3.25 危険物貯蔵庫新設
- 給食生ゴミ及び焼却物置場新設
- 4. 2 ひばり学級教室増設(普通教室を二分)
- 4.20 無人化(夜間・日曜・祝祭日等)機械警備始
- 10.27 体育館ステージボーダー及び調光器設備

2. 歴代校長

氏 名	年 月~年 月
高野 忠正 (事務取扱)	昭25. 6.10~26. 3.12
高野 忠正 (校 長)	昭26. 3.13~27. 9.30
尾崎半次郎	昭27.10. 1~34. 3.31
五十嵐葆光	昭34. 4. 1~37. 3.31
塚本 正	昭37. 4. 1~41. 3.31
池田 瑞男	昭41. 4. 1~47. 3.31
岩井 庄三	昭47. 4. 1~50. 3.31
平松健太郎	昭50. 4. 1~54. 3.31
竹永 秀雄	昭54. 4. 1~57. 3.31
古田 耿介	昭57. 4. 1~現 在

### 3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔80mの日野台地を中心とした地域である。日野自動車工場とともに発展した地域であり台地のため公害も少ない。

日野台地(学区)の北部は多摩川をへだて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子市が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

憲法及び教育基本法に基づいて民主的社會人としての人間形成の基礎づくりを目ざして児童の実態をふまえた目標を定める。

- じょうぶな子ども
- よく考える子ども
- 明るく思いやりのある子ども

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 人間尊重の立場に立ちすべての児童を公平に愛し、ひとりひとりを大切にす。
- 豊かな人間性の育成をめざして創意ある教育活動を工夫す。
- よく考える子どもをめざし指導体制を整備して授業を充実し、主体的に学習にとりくむ児童を育てる。
- 心身ともに調和のとれた発達や健康の増進をはかる。
- 学校と地域、父母の連けいを強め、地域の教育環境づくりにつとめる。

### 5. 本年度の指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア 各教科

- 基礎学力を重視し、すすんで学習する子どもの育成をめざす。

##### イ 道徳

- 人や動物の生命を大切にし、思いやりのある心を育て実践力を養う。

##### ウ 特別活動

- 学級会活動・委員会活動・クラブ活動などを通じて自主性を育て協力をし、楽しい充実した学校生活をおくらせる。

#### (2) その他の活動

- 遊びの時間を設定、いきいきとした楽しい教育の場とし、体力の向上をめざす。
- 火曜日六校時を児童会活動の日と設定、集団活動を通して心身の調和のとれた発達を図る。
- 学年の日を有効に使用し学年経営の充実をはかり個別指導の徹底をはかる。
- 心身障害学級と普通学級との教師相互児童相互の交流の場を積極的に設ける。

#### (3) 生活指導・進路指導

- 「三小のきまり」を守り、基本的生活習慣を身につけさせる。
- 望ましい友達関係の育成につとめる。
- 自分の体は、自分で守れる子に育てる。

### 6. 本年度の研究主題

主体的に学習する子どもの育成をめざし、指導法の改善をはかる。

7. 本校の特色

児童は明るくすなおであるが、やや主体性を欠き、ねばり強くやりぬこうとする力がたりない。  
校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童の主体性を高める授業研究を実施している。また、心  
障学級（ひばり学級）があり、交流教育にも力を入れている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 /16	研 究 員	現 代 化
1	古 田 耿 介 ( 5 0 教育経営 )	上 辻 敏 雄 ( 4 9 . 学校経営 )
2	上 辻 敏 雄 ( 4 8 教育経営 )	
3	伊 佐 弘 江 ( 5 2 保 健 )	
4	猪 俣 幸 雄 ( 5 8 国 語 )	



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 四 小 学 校  
 所 在 地 日 野 市 石 田 4 3 0 番 地  
 電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 0 0 3 8 ・ 3 0 7 6  
 順 路 日 野 駅 から 立 川 行 バ ス 南 詰 下 車 徒 歩 7 分  
 立 川 駅 北 口 から 多 摩 動 物 公 園 行 バ ス 四 小 前  
 下 車 徒 歩 2 分  
 京 王 線 高 幡 不 動 駅 から 立 川 北 口 行 バ ス 四 小 前  
 下 車 徒 歩 2 分  
 児 童 数 男 3 4 3 名 女 3 1 7 名 計 6 6 0 名

校長氏名 竹 永 秀 雄

教頭氏名 上 山 洋 一 郎

1. 沿革の概要

明 6. 5. 5 下田学舎  
 明 21.1.1 下田小学校  
 明 41. 3. 日野小学校下田分教場  
 昭 29. 8.18 校地決定 4.259.14 坪  
 昭 30. 4. 4 落成式並開校式 この日を開校  
 記念日とする。  
     12.22 校章制定  
     12.25 第三期校舎竣工  
 昭 31. 3. 5 校旗完成  
 昭 35. 7.20 プール落成式並祝賀会  
 昭 36.11. 1 校歌発表会、以後この日を開校  
 記念日とする。  
 昭 39. 6.10 校地拡張及防音校舎に改築が決  
 定  
 昭 40. 3.31 防音校舎 9 教室完成  
 昭 41. 3.31 防音校舎第 2 期工事完了  
     14 教室完成  
     7. 9 下田学舎創立 9 2 周年記念式典  
 昭 43.11.27 統計教育研究指定校として研究  
 発表会をする。(都、市指定校)  
 昭 45. 3.31 体育館落成  
     防音校舎 7 教室増築完成  
 昭 54. 2.13 1 年 2 教室掲示板張替  
     3.20 受水槽改修、渡り廊下改修  
     3.25 防火戸改修、非常放送装置設備、  
     老朽プレハブ撤去、学級増に伴  
     うプレハブ 3 教室増設

6.20 教室スチール黒板 12 教室整備  
 6.22 プールサイド全面コンクリート  
 塗装工事  
 昭 55. 2. 2 給食室作業場及び休憩室改修工  
 事  
     3.31 プレハブ 2 教室増設  
     6.20 プール内塗装工事  
     8.29 黒板スチール 14 教室整備  
 昭 56. 8.25 新校舎への親子方式 TV 配線、  
 放送室内のスタジオ形式の改装  
     8.27 屋上高置水槽改造  
     8.30 都市ガス化にともなう配管取替  
 昭 57. 3.27 旧校舎屋上ネットヘンス貼替  
     4. 4 プール便所の水洗化、更衣室等  
     の改修  
     9. 4 非常階段設置  
 昭 58. 3.27 自転車置場設置  
     犬走り、裏庭舗装  
 昭 59. 9. 3 プレハブ教室(2)撤去  
     4 校庭の体育倉庫新設

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
浦 上 増太郎	昭 30.3.29～36.3.31
田 中 善 次	昭 36.4. 1～44.3.31
森 巖	昭 44.4. 1～47.3.31
内 藤 達 夫	昭 47.4. 1～52.3.31
釜 池 博	昭 52.4. 1～57.3.31
竹 永 秀 雄	昭 57.4. 1～現 在

### 3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯8地区である。甲州街道から約1km南にへだった多摩川あたりに位置し、田畑に囲まれ、前面に中央高速道路が走っている。米どころ日野の田園地帯と多摩川梨の産出地域である。

万願荘の集団住宅を始め近年宅地化が進められ、田園地域より住宅地化しつつある。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

自ら考え正しく判断し、行動しうる児童の育成をめざして、次の教育目標を達成する。

- 心もからだも強い子
- すすんで勉強する子
- みんなと協力する子

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 毎日の授業の充実をはかり、子どもたちに基礎的な学力と豊かな情操を身につけさせるようにする。
- イ. 学校・家庭・地域の連携を深め、各教科等の指導に力をいれる。
- ウ. 体力訓練・集団活動を通して強い意志力・集団の規範を身につけさせる。
- エ. 特別活動の充実を創意ある教育活動の効果をとめさせる。
- オ. 毎日の学校生活の中で豊かで、すこやかな心情を持ち、友達と協力しあって生活できる児童を育てる。

### 5. 指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア. 各教科

- ① 具体的な学習経験を通して、確実な知識を身につけさせ創造的な能力の育成をはかる。
- ② 自主的な学習態度を育て、個々の児童の学力を高める指導法の改善をはかる。

##### イ. 道徳

- ① 自他の生命・人格を尊重し、健康の増進と安全の保持につとめさせる。
- ② 勤労を愛し、正しい勤労感を育て、社会連帯意識を高める。

##### ウ. 特別活動

- ① 望ましい集団の育成をはかり、あたたかい人間関係を育成する。
- ② 各種活動計画と実践の工夫をはかり、自発的・自治的活動の充実をはかる。
- ③ 児童のたてわり活動・集団活動等を充実し、上記目標の達成につとめる。

#### (2) その他の活動

ア. 創意ある教育活動の時程を設け、内容の充実をはかる。

イ. 創意ある教動として、

- ① 校区の歴史や自然を身につけさせる学習
- ② 学年をこえて、共同・協力しあうような集会活動等を設定する。

ウ. たのしくしかも充実した学校生活を経験させ、ゆたかな望ましい生活態度を育成する。

#### (3) 生活指導・進路指導

ア. 学校生活の中にあるきまりの大切さを考え、それを守ることの必要性を認識させる。

イ. きまりを守るための実践活動、指導に力をいれる。

6. 本年度の研究主題

集団の中で生き生きと学習する子ども  
 (国語科における文学作品の読解指導)

7. 本校の特色

本校は、昭和43年度に統計教育について研究発表を行い、その成果を更に深化拡充するために昭和46年より子どもの自主性を生かす授業の研究をすすめている。

昭和54年度、本校の教育目標の改訂に取り組み、教師、父母、子どものみだ長所、短所を洗いだし、それぞれがどんなねがいをもっているかを調査した。その結果素直で明朗で活発である。

元気よく遊び、与えられた仕事はよくやるが、自主性に乏しく、集中力に欠ける。ねばり強さがなく、発表力に欠ける。特に、基本的な生活習慣が身につけていない。という児童像がうかびでてきた。そこで、本校の教育課題として、自主性、集中力、耐性、発表力、自己実現、基本的な生活習慣、心身の健康、創造性、社会連帯意識等の涵養としてとらえ前記の教育目標を設定した。

また、本年度は、本校創立百十周年にあたる。そこで、この輝かしい歴史と伝統を継承し、さらに飛躍発展させるために、教師、子ども、父母、地域住民一体となって、本校の教育を充実していく。

そのために、昨年度に引き続き「集団の中で生き生きと学習する子どもを育てる」をテーマに、子どもによくわかる授業の研究を深め、子どもたちが学校にくるのが楽しい……、という明るい学校づくりに力を入れる。

さらに、児童の健全育成を重視し、思いやりのある心の豊かな子どもを育て人間性豊かで、うるおいの満ちた学校づくりをめざしている。

8. その他(教職員の研究歴)

№	内訳	研究員	道徳助言研	その他
1		上山洋一郎(42.道徳)	上山洋一郎(42)(44)	上山洋一郎(海外48)
2		田森 諦詮(48.国語)		
3		山下 法昭(51.体育)		
4		森田 芳博(56.体育)		



学 校 名 日野市立日野第五小学校  
 所 在 地 日野市多摩平6-21-1  
 電 話 0425-81-0407(代)・0445  
 順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き  
 五小前にて下車 徒歩3分  
 甲州街道を通るバス(京王・都)に乗  
 り日野自動車工場前下車 徒歩5分  
 児 童 数 男503名 女427名 計930名(内病弱児6)

校長氏名 田 中 光 一 教頭氏名 福 地 保

### 1. 沿革の概要

- 昭34. 4. 1 日野町立日野第五小学校開校
- 4. 6 日野第二小学校、日野第三小学校の校舎を借用し授業開始
- 6. 8 第1期工事完成 新校舎にて授業開始(現在地)
- 昭35. 9. 13 第2期工事完成 2部授業解消
- 昭36. 5. 31 第3期工事完成
- 8. 28 大プール、小プール竣工
- 昭38. 2. 20 校章制定
- 昭39. 3. 11 校歌発表会
- 3. 25 校旗制定(卒業記念寄贈品)
- 昭40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
- 昭42. 2. 23 都、市研究協力校発表会
- 昭43. 5. 20 体育館竣工
- 昭44. 3. 3 創立10周年記念式典
- 昭50. 4. 1 訪問学級設置
- 昭51. 3. 31 校舎全面的改修着手
- 昭54. 3. 31 校舎五教室改修
- 昭55. 3. 31 校舎五教室改修
- 昭56. 3. 31 校舎六教室改修(H校舎)  
給食調理室サッシ改修(外側)
- 昭57. 3. 31 校庭側旧校舎サッシ改修(外側)  
音楽室 マド改修
- 昭58. 3. 31 南側旧校舎サッシ窓改修(1階)  
H校舎2階廊下サッシ窓改修
- 昭59. 3. 31 H校舎1階廊下サッシ窓改修  
理科室改修、玄関ドア取付  
キューピクル取替、給水管埋設  
全面取替、校舎南側生垣にする

### 2. 歴代校長

氏 名	年 月	年 月
増 島 光 一	昭34. 4. 1	昭36. 3. 31
浦 上 増太郎	昭36. 4. 1	昭39. 3. 31
福 寿 文 雄	昭39. 4. 1	昭42. 3. 31
星 野 正 男	昭42. 4. 1	昭47. 3. 31
荒 井 一 男	昭47. 4. 1	昭49. 3. 31
三 井 知 夫	昭49. 4. 1	昭52. 3. 31
多 昌 直 之	昭52. 4. 1	昭56. 3. 31
田 中 光 一	昭56. 4. 1	現 在

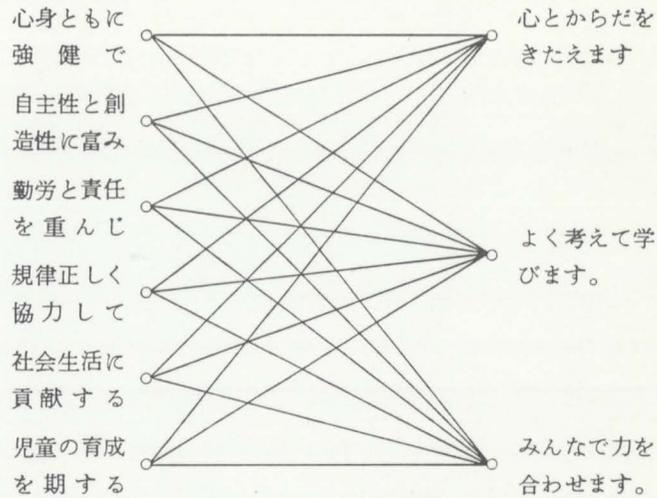
### 3. 地域の概況

昭和33年日本住宅公団により日野台地が開発され、多摩平団地が建設された。この一角に日野第五小学校が設置された。南は中央線、北は国道20号線(甲州街道)にはさまれ、バス網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、付近には日野自動車など4つの大会社があり近代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場などが整備され立木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。

4. 教育目標〈最後までねばり強く〉



5. 本年度の重点目標「最後までねばり強く、心とからだをきたえます」

6. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ひとりひとりの児童の基礎学力の伸長を期するために、指導計画、教材研究を十分行い児童の思考過程を重視しながら指導にあたる。
- 児童の興味や自発性を尊重し、協力して最後までねばり強く学習するように指導する。特に「学習意欲を高める指導法」の研究（国語）を通して主体的に学習にとりくむ児童を育成する。

イ. 道徳

- 教育目標の具現化を図るため、特に本校児童の実態に即して、③整理、物・金銭の活用⑤自由、責任⑥不とう不屈⑨思慮、節度⑯親切⑳寛容㉓勤労の7項目を強調し、道徳的心情を深化して、道徳実践力のある児童の育成に努める。

ウ. 特別活動

- 毎週一定時程に設定し、学級会活動、クラブ活動、委員会活動、学級指導の実践を通して、集団の一員としての自覚を深めるとともに、自主性、協力的態度をもった個性豊かな人間形成に努め、実践力を育成する。
- 代表委員会、各部委員会は、毎月一回ずつ設け、企画・調整・実践活動を行う。

(2) その他の活動

- 創意を生かした教育活動として、1～2時間の集会活動を企画し1年～6年のたてわり活動、兄弟学級の場を設定し、重点目標の達成を図る。
- 毎週火曜日を学級の日とし、各学級、学年で年間を通した計画をたて、個人指導、教育相談、花づくり活動、集会活動などを行う。

(3) 生活指導・進路指導

- 教育目標の具現化を図るため重点を「きちんと集合する」とし、毎月の目標・具体化方法を設定し、計画・実践・評価のサイクルの中で徹底を図る。

- 「五小の子どもの一日」の児童用カードの指導を通して、学校および社会生活における基本的行動様式や望ましい生活習慣を身につけさせる。
- 安全指導・避難訓練は、年間11回実施し徹底を図る。
- 美化デー・安全点検日は年間11回設け、校舎内外の清掃・危険個所を除く。
- 生活指導全体会（年間5回）職員会議・土曜職員朝会で生活指導・教育相談・心身障害児の問題・指導について協議し、共通理解を図る。
- 進路指導については、児童の個性や能力の伸長、生涯教育の立場から中学進学・将来の希望などについて道徳・特別活動の中で具体的な場を設けて指導する（中学校進学に対する不安を解消し希望をもって進学するように留意する）。

## 7. 本年度の研究主題

学習意欲を高める指導法の研究（特に国語を中心に）

## 8. 本校の特色

住宅公団の進出に伴ない、新しい建築様式により建設された。当時は少ない児童数と広く静かな校地の中で理想的教育活動をめざしていた。しかし児童数の急増により、8回に亘る増改築を行ない様相は一変したが、校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位のものも多く、肥満児は最近減少している。学校では、地域や児童の実態に即し、創意をもって日々実践し、成果をあげている。

本年度は特に、心身ともに健全な児童の育成をめざし、望ましい基本的行動様式の習慣化・定着化をめざし、指導の徹底を図るため「最後までねばり強く、心とからだをきたえます」を重点目標にとり上げた。さらに具現化させるため、学級の日や学校行事では体力づくり・運動会・音楽会・演劇教室や兄弟学級による教育活動を設定した。

- 各学年では発達段階に応じ、学習意欲を高める指導法の研究を主題に校内研修活動に力を入れ、自主協力学習を進めていく。
- 火曜日に学級の日を設け、児童相互、児童・教師相互の交流を通じ、教育相談・個別指導・創意ある教育活動を実践していく。
- 兄弟学級の活動を通じ、児童の創意や発想を大切に、ミニハイキング・七夕行事等を通じ、最後までねばり強い活動を推進させる。
- 体力調査を基に、児童が自分の目標をもって、最後までねばり強く挑戦する児童を育成する。

## 9. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	研 究 員
1		田中 光一（39道徳）
2		福地 保（49.教育経営）



学 校 名 日野市立日野第六小学校  
 所 在 地 日野市多摩平3丁目21番地  
 電 話 0425-81-4686・0366  
 順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩13分  
 京王バス 小西六裏門下車3分  
 児 童 数 男390名 女346名 計736名

校長氏名 石井三士 教頭氏名 加藤策夫

### 1. 沿革の概要

- 昭39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として設置 児童1年～3年  
7学級 263名
- 昭40. 4. 1 日野第六小学校として開校  
14学級 児童数515名  
教職員21名
9. 6 プール完成(6コース25m)
- 昭42. 2. 21 校歌の発表会
- 昭43. 2. 22 児童の体力づくりの研究発表会  
6. 19 南校舎(普通教室11、職員室、校長室)完成
- 昭45. 2. 28 屋内体育館完成  
3. 16 落成式挙行(学校、PTA共催)
- 昭47. 2. 28 正門前舗装、北西門取付  
3. 「児童の社会性育成の実践指導」発表(市研究協力校)  
4. 「考えさせる授業への手だて」発足
- 昭49. 4. 南校舎3階増築(普通教室5、音楽室、管理室4)  
5. 南門完成  
10. 26 給食調理室増改築完成
- 昭50. 3. 18 49年度都愛鳥モデル校に指定  
6. 28 開校十周年を祝う会  
12. 22 東京都選挙管理委員会より感謝状を受ける。永年選挙ポスターコントロールに協力したため。
- 昭52. 1. 10 体育倉庫完成  
4. 1 日野市旭が丘小学校分離
- 昭54. 9. 北校舎非常階段完成
- 昭56. 11. 18 六小こどもまつりの実施
- 昭58. 11. 26 展覧会開催(昭和42年以来16年ぶり)。  
27
- 昭58. 3.～ 体育館屋根等の塗装、大プールビニール張り、南校舎内装改修。

### 2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月	年 月
加々美 良 英	昭40. 4. 1	昭43. 3. 31
峰 岸 敬次郎	昭43. 4. 1	昭46. 3. 31
新 海 圭 三	昭46. 4. 1	昭50. 3. 31
安 積 利 治	昭50. 4. 1	昭53. 3. 31
光 永 久 夫	昭53. 4. 1	昭57. 3. 31
石 井 三 士	昭57. 4. 1	現 在

### 3. 地域の環境

日野市開発の先駆けとなった多摩平団地と静かな住宅地域の中に位置し、近くに小西六、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的良好。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

- 本校の教育は法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、次のような児童の育成を旨とする。
- 身体と心をきたえる子
  - 考えながら学ぶ子
  - みんなと仲よくする子
  - がんばりぬく子
  - 進んで働く子
  - 生きものを大切にする子

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 各教科の指導については、児童の「考えながら学ぶ」態度の育成をめざして、協力教授組織である「ふれあう授業方式」の特性を生かした実践をすすめていく。

- イ 毎日の授業を充実させるために、二つの研究の組織化をはかる。
  - 学年での共同的な教材研究と授業準備
  - 校内研究における「考えさせる授業」の研究
- ウ 教育活動全体にわたって児童の自主的な活動及び根気強さを育成するための指導を充実させる。特に、特別教育活動を児童の主体的創造的な活動の場とし、協力しあう人間関係を育てる。
- エ たくましい体力づくりのために、全校的な行事や、日常実践活動を企画し、研究をすすめていく。
- オ 愛鳥モデル校の指定を生かし、児童が生きものを大切にする心を育てる。
- カ 教育目標を達成するために、父母および地域との連携を深める。

## 5. 本年度の指導の重点

### (1) 各教科、道徳、特別活動

#### ア 各教科

- 授業研究「考えさせる授業への手だて」を追求する。特に児童の意欲的な表現活動に重点をおき研究をすすめる。
- 自主的な学習つまずきをなくす授業を学年と中心にして研究していく。
- 基礎学力の充実をはかるため、特に学習に遅れ気味な児童に対し、学年・学級を中心にして、個別的指導を計画する。

#### イ 道徳

- 児童の感動を大切にし、心豊かでやさしさのある人間の育成をめざす。
- 進んで働き、労働のすばらしさを感じながらがんばりぬく態度の育成をはかる。

#### ウ 特別活動

- 代表委員会活動を楽しみ、規律ある生活をめざす児童の主体的な活動の場とする。特に委員会活動、学級会活動との関連を重視する。
- 児童の創意を大切に、自発的に参加できる行事を企画実践する。
- たのしいクラブ活動をめざし、児童の主体的な活動を大切にする。

### (2) その他の活動

- 協力教授組織を単に、教科、道徳の指導にとどめず、教育活動全体にわたって生かしていく。特に学年集団指導体制を強化する。
- 学級・学年・たてわり集団を中心にした創意ある教育活動をすすめていく。

### (3) 生活指導・進路指導

- 基本的な生活習慣の育成充実をはかる。
- 児童の個性を理解し、ひとりひとりの心身の発達に応じた指導をはかる。
- 心身に障害のある児童に対し、共通理解をはかり、学校全体で見守り、育成にあたる。

## 6. 本年度の研究課題

授業研究「考えさせる授業への手だて」を前年度にひきつづき追求するとともに、授業への側面的研究として、教科や教材の基礎的な研究をすすめる。

## 7. 本校の特色

- (1) 多摩平団地の造成に伴って新設された団地校である。
- (2) 児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
- (3) 父母の教育的関心は高く、父母会の出席状況はよい。

- (4) 児童、教職員一体となって、花壇、自然林、情操池を作成し、学校緑化と環境整備に効果をあげている。都の愛鳥モデル校となり野鳥の愛護にも努めている。
- (5) 「考えさせる授業への手だて」を主題に、校内研修活動に力を入れている。
- (6) 「ふれあう授業」として、全校で協力授業をしている。
- (7) こどもが創る楽しい学校づくりをめざして全校あげてとりくんでいる。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳	研 究 員	現 代 化 委 員
1	石 井 三 士 （ 4 4. 国 語 ）	小 板 橋 五 佐 男 （ 5 0. 算 数 ）
2	加 藤 策 夫 （ 5 3. 教 育 課 題 ）	
3	小 板 橋 五 佐 男 （ 4 5. 算 数 ）	



学 校 名 日野市立潤徳小学校  
 所 在 地 日野市高幡402番地  
 電 話 0425-91-0409・0410  
 順 路 京王線高幡不動駅下車北へ徒歩5分  
 児 童 数 男306名 女293名 計599名

校長氏名 黒 沢 保 雄 教頭氏名 高 橋 立 身

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す。  
 明 11. 11 三沢701番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築する。  
 明 20. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更。  
 明 26. 4 校名を潤徳尋常小学校と変更。  
 明 34. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更。  
 明 42. 5 分学校昭景尋常小学校を廃止し、落川分校とする。  
 昭 16. 4 校名を潤徳国民学校と変更。  
 昭 22. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更。  
 昭 27. 5 創立80周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成する。  
 昭 33. 2 校名を日野町立潤徳小学校と変更。  
 昭 34. 4 給食調理室完成  
 昭 37. 10 大・小プールならびに更衣室完成。  
 昭 38. 11 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）。  
 昭 40. 12 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰される。  
 昭 41. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校廃止。  
 昭 44. 2 屋内体育館落成。  
 9 日野市立日野第八小学校分離開校。  
 昭 45. 4 日野市立百草台小学校分離開校。  
 昭 46. 2 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催。  
 4 普通教室9教室、学校図書館増築。  
 昭 48. 5 開校百年記念式典挙行記念碑植樹完成。  
 昭 49. 4 日野市立南平小学校分離開校。

- 昭 52. 4 日野市立程久保小学校分離開校。  
 昭 55. 9 校庭整備完了。  
 昭 56~57 校舎内の塗装完了。  
 昭 58. 2 研究発表会（国語）  
 5 開校110周年記念式典挙行。

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
大塚四郎右衛門	創 立
覚 井 諱 暁	明 9. 12～明 11. 11
和 田 作太郎	明 11. 11～明 15. 11
土 方喜久太郎	明 15. 11～明 17. 2
宮 倉 保五郎	明 17. 2～明 19. 10
小 宮 太之助	明 19. 10～明 20. 10
須 崎 和 蔵	明 20. 10～明 31. 2
小 宮 彌一郎	明 31. 2～明 34. 4
加 藤 菊次郎	明 34. 4～明 36. 1
佐 藤 良 輔	明 36. 1～明 42. 4
沖 倉 与 一	明 42. 4～明 43. 4
荒木田 大 夫	明 43. 5～明 45. 3
小 宮 彌一郎	明 45. 4～大 12. 3
平 杉 蔵	大 12. 4～大 13. 3
矢 沢 久 司	大 13. 3～大 14. 9
小 泉 栄 一	大 14. 10～昭 3. 3
広 井 博 昭	昭 3. 4～昭 7. 9
重 松 正 顕	昭 7. 9～昭 14. 7
鈴 木 慶 蔵	昭 14. 7～昭 22. 2
赤 坂 元 春	昭 22. 2～昭 27. 9
塚 本 正	昭 27. 10～昭 37. 3
尾 崎 半次郎	昭 37. 4～昭 41. 3
塚 本 正	昭 41. 4～昭 43. 3
溝 呂 木 桂 次	昭 43. 4～昭 47. 3
星 野 正 男	昭 47. 4～昭 51. 3
村 田 安 正	昭 51. 4～昭 55. 3
黒 沢 保 雄	昭 55. 4～現 在

### 3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北は浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に団地や住宅がふえ、ベッドタウンとしての様相を呈するにいたった。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故の心配も多くなっている。また、平日は日野高校、実践女子大学、明星大学、中央大学生の通学に、休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等の行楽に高幡不動駅を中心にその乗降客でにぎわっている。

### 4. 教育目標

- |   |   |            |
|---|---|------------|
| 敬 | 愛 | ○わかるまで考える子 |
| 自 | 由 | ○すすんではたらく子 |
| 勤 | 労 | ○思いやりのある子  |
|   |   | ○からだをきたえる子 |

学校の教育目標を達成するための基本方針

人間尊重の精神に徹し、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成をめざして、教育目標を達成するために特に「自主的に問題に取り組み、やりぬく子どもを育てる」ことを指導の重点として、その具現化をめざす。

- ① 児童の実態に即して具体的な学年・学級目標を設定し、その具現化をめざして学年・学級経営を充実する。
- ② 教育活動全体を通して、児童が主体的・能動的に参加できるように配慮する。
- ③ 児童が主体的に学習する能力の育成をめざし、授業研究を全員の協力のもとに推進する。
- ④ 豊かな人間性を持った児童の育成のため、父母・地域と協力し連携を深める。

### 5. 指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア. 各教科

児童が主体的に学習する授業の実践をめざし、児童がめあてをもって学習に取り組み、やりとげた喜びを味わうことができるよう指導法をくふうする。

- 基礎的・基本的事項の定着をめざし、教材研究を充分に行い、児童の思考過程にそった指導を行う。
- 学習効果をあげるために、多様な学習方法の解明、体験的学習のくふうおよび教材教具の活用を図る。
- 健康でたくましい体力づくりをめざす体育指導を充実する。

##### イ. 道徳

児童が自らすすんでやりぬく道徳的実践力の育成をめざし、児童相互や児童と教職員との信頼関係を深め、充実した道徳指導を行う。

- 基本的行動様式を身につけさせ、意欲的な生活ができるよう指導する。
- 教育活動全体を通して、助け合い思いやる豊かな心を育てる指導をする。
- 資料を効果的に活用することにより、道徳の授業を充実させる。

##### ウ. 特別活動

児童の自主的・実践的態度と連帯感を培うことをめざし、集団活動への積極的参加の意欲を育て高める。

- 学校生活の諸問題に対し、すすんで考え、主体的に解決しようとする態度を育てる。
- 集団活動の内容や方法をくふうし、児童の自己実現の場を多くとり入れる。
- 児童活動・学校行事等とおして、互いに認め合い助け合う人間関係を育てる指導をくふうし行う。

(2) その他の活動

充実した学校生活の実現をめざし、創意ある教育活動を推進する。

- 学年を越えた交流によって、社会性や連帯感を育てる。
- 奉仕的・勤労的体験の場を設け、意欲的に物事をやりぬく態度を培う。
- 朝の「読み聞かせ」の時間を設け、豊かな情操を高める。
- 地域の豊かな自然を生かして、自然に親しむ態度の育成をはかる。

(3) 生活指導・進路指導

心身ともに健全な児童の育成をめざし、指導態勢を整え、全職員の共通理解をもとにして徹底した指導に努める。

- 児童と教師の心のふれあいを大切にし、共感的な児童理解を深める。
- 学校生活にかかわる望ましい基本的生活習慣の定着化を図る。
- 児童の健康と安全を確保し、危険防止に努める。
- 父母および地域との連携を深め、協力して指導にあたる。

6. 本年度の研究主題

主体的な学習態度を育てる指導法

7. 本校の特色

本校は開校百年余りの輝かしい伝統と歴史にはぐくまれ今日にいたっているが、近年地域の宅地造成による急激な児童数の増加はプレハブ教室の新增築、そして学校分離の繰り返いを余儀なくされ、落ち着くところのない悪条件のなかをよく全職員・父母一体となって克服してきた。

しかし昭和52年4月程久保小学校分離以来、大規模校としてのさまざまな困難な条件も解消され、適正規模のもとに着々とその成果をあげつつある。さらに教育目標を達成するため施設設備等教育諸条件の整備と教育内容の充実をめざし努力を傾注している。

8. その他(教職員研究歴)

内訳 No	研究員	研究生	開発委員
1	黒沢保雄(39.社会)	黒沢保雄(35.社会)	小笠原久雄(55.特活)
2	高橋立身(45.教育方法)	石川耀子(53.体育)	
3	小竹竹章(47.特活)		
4	小笠原久雄(49.特活)		
5	増賀従男(56.国語)		



学 校 名 日野市立平山小学校  
 所 在 地 日野市平山4-8-6  
 電 話 0425-91-4123・0512  
 順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩7分  
 児 童 数 男408名 女377名 計785名

校長氏名 伊藤智章 教頭氏名 古屋光男

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗印寺を仮校舎として開校（真心学舎といひ修業年限は8カ年）  
 明 17. 平山598番地に新築移転  
 校名を平山尋常小学校と改める。  
 明 35. 5 校名を平山尋常高等小学校と改める。  
 明 41. 尋常科を6カ年、高等科を2カ年とする。  
 昭 16. 4 国民学校令の施行により七生村立平山国民学校と改める。  
 昭 22. 4 新学校教育制度の実施により七生村立平山小学校と改める。  
 昭 32. 2 日野町、七生村合併により日野町立平山小学校と改める。  
 昭 38. 11 市制施行により日野市立平山小学校と改める。  
 昭 42. 5 平山4-8-6に移転する。  
 昭 46. 3 滝合小の新設に伴う学区変更、平山小学区は浅川の南側の地区となる。  
 昭 53. 4 平山台小の新設に伴う学区変更、平山苑と京王住宅地区を分離する。  
 昭 54. 9 校庭整地  
 昭 57. 8 校舎窓 屋上 体育館内部補修、一階廊下天井 北面ひさし改修  
 昭 58. 5 開校110周年祝賀式典挙行  
 8 本館南側残部 特別教室北側窓取替  
 11 開校110周年 市政施行20周年記念植樹  
 昭 59. 1 本館北非常用階段設置  
 3 プール更衣室及び便所を水洗に改修  
 屋上柵金網取替 新館南防球ネット設置 110周年記念誌発行

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
梁 義 伯	明 6. 5～明 12. 1
大 沢 教之助	明 12. 1～明 20. 3
石 井 芳 丸	明 20. 4～明 30. 5
吉 永 信 丸	明 30. 6～明 35. 5
小 宮 彌一郎	明 35. 6～明 45. 3
古 屋 障 司	明 45. 4～大 2. 5
勝 又 房太郎	大 2. 5～大 4. 5
平 杉 蔵	大 4. 6～大 9. 3
上 田 富 弥	大 9. 4～大 15. 3
杉 山喜知太郎	大 15. 4～昭 6. 3
石 川 雄 丸	昭 6. 4～昭 11. 2
鳥 羽 照 司	昭 11. 2～昭 13. 3
石 谷 倉太郎	昭 13. 4～昭 21. 3
飯 塚 節 三	昭 21. 3～昭 22. 3
田宮五郎右衛門	昭 22. 4～昭 28. 3
森久保 惣 治	昭 28. 4～昭 34. 3
高 橋 本 義	昭 34. 4～昭 37. 3
加々美 良 英	昭 37. 4～昭 40. 3
後 藤 正 太	昭 40. 4～昭 42. 3
安 積 利 治	昭 42. 4～昭 47. 3
小 野 晁	昭 47. 4～昭 51. 3
深 沢 真 人	昭 51. 4～昭 55. 3
林 元 美	昭 55. 4～昭 58. 3
伊 藤 智 章	昭 58. 4～現 在

### 3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に狭まれ、西は八王子市に接する平地。田んぼ、畑等の農地もいくらか残り、自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年は、団地・都営住宅・造成地住宅が建造され、学校周辺は農地の区画整理もすすみ、道路や橋も拡張され市街化されつつあり、他地域からの転住者が多い。

### 4. 教育目標

- (1) 健康安全教育の充実      ○ 健康で明るい子ども
- (2) 学力の充実                ○ よく考えて、最後まで抜く子ども
- (3) 自主性の育成              ○ 進んで良いことをする子ども  
                                    ○ 力を合わせて働く子ども

### 5. 本年度の指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア. 各教科

- 教材研究を充実させ、楽しく豊かな授業を展開する。
- 重点研究、授業研究を通して、指導法の工夫と創造をし、効率のよい授業をする。

##### イ. 道徳

- 学校の中で、望ましい道徳的な心情、態度と実践力を育てる。
- 道徳の時間を充実させ、実践的な態度を育てる。

##### ウ. 特別活動

- 児童会活動を中心に、委員会活動、クラブ活動等を通して、自主性を育て、協力する態度を育成する。
- 学校行事を通して、学校集団がまとまって行動することのよこびや、意義などを体験させる。

#### (2) その他の活動

- 学級の時間を設定して、ひとりひとりの子どもと深く接触しながら、個性に応じた教育をする。
- 地域の特性を生かして、生産的行事をする。
- 基礎学力の充実のために、「まとめの時間」を特設する。

#### (3) 生活指導・進路指導

- ひとりひとりの個性を生かし、学校生活、社会生活を、自分からつくっていけるように指導する。
- 安全教育には、特に留意する。

### 6. 本年度の研究主題

「子どもが、主体的に取り組む学習活動」

### 7. 本校の特色

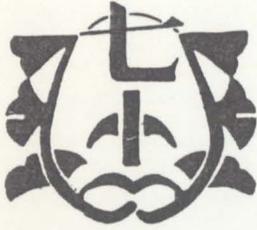
- (1) 本校は開校110年の歴史と伝統をもつ学校である。児童の中には、曾祖父母・祖父母・父母と4世代にわたって在校した者もある。学校周辺の開発が進み新しく居住する者も多い。したがって地域からは、多様化された愛情や、また期待も大きい。この中で古き良きものを大切に、新しさを求め、良い校風をつくることに励んでいる。
- (2) 児童は、すなおであるが、やや主体的な活動力を欠き、ねばり強さが少ない。教育目標に、「最

後までやりぬく子」を定め教育をすすめている。

(3) 校内には、131m<sup>2</sup>の大花だん、借用学級園もありこれらの環境を最大限に生かし、情操豊かな児童の育成に努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研究員	現代化委員	研究生	多摩地区 教育推進委員
1	古屋光男（37.理科）	大上琢磨（50.体育）	伊藤智章（46.国語）	古屋光男（54）
2	木上琢磨（54.特活）			
3	末次久利（57.算数）			



学 校 名 日野市立日野第七小学校  
 所 在 地 日野市神明3-2  
 電 話 0425-83-3907・3908  
 順 路 国電 中央線日野駅下車 徒歩約10分  
 児 童 数 男365名 女370名 計735名

校長氏名 和田 國平 教頭氏名 小形 裕

### 1. 沿革の概要

- 昭48. 4 ○日野市立日野第七小学校として開校。12学級 児童384名
- トラックを除く運動場全面に洋芝の植付け。
  - 6 ○校章制定
  - 9 ○校旗制定
  - 12 ○校歌制定
- 昭49. 3 ○日野市立日野第七小学校「校舎・体育館落成記念式」及び「校歌」発表会
- 3月1日を開校記念日に制定
  - 第1回卒業式 45名卒業
  - 4 ○開校2年めの入学児童77名
- 昭52. 4 ○開校5年め 入学児79名・13学級となる。教室不足のため、プレハブ2教室増設
- 10 ○校舎の増築工事着工
- 昭53. 4 ○学級数14となる。
- 5 ○増築工事竣工 普通教室6 図書室1教室
- 昭54. 4 ○第7回入学児童93名  
15学級となる。職員23名
- 昭55. 4 ○第8回入学児童111名  
17学級となる。職員24名
- 昭56. 4 ○第9回入学児童128名
- 転入児童2年以上82名
  - 18学級となる。職員25名
- 昭57. 4 ○第10回入学児童128名
- 19学級となる。職員26名
- 昭58. 4 ○第11回入学児童107名
- 増築工事竣工、普通教室4、教材室等3、昇降口、便所

- 昭58. 4 ○創立10周年記念式典
- 昭59. 4 ○第12回入学児童123名

### 2. 歴代校長

	氏 名	年月～年月
初代	星 野 武 之	48. 4.1～52. 3.31
2代	上 部 正 彦	52. 4.1～56. 3.31
3代	梅 田 茂	56. 4.1～58. 7.27
4代	和 田 國 平	58. 9.1～現在

### 3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から西へ線路ぞいに徒歩で約10分。日野台地に設置されている。本校の所在地は、日野市神明にあり、校舎の周囲は、住宅が建ち始め、昔ほどの緑は眺められなくなっている。

屋上に登ると、南には多摩丘陵、西には秩父山地や丹沢山地をへだてて富士の秀麗が眺められる。また、この日野台地には、遺跡が発掘されるという。まことに環境に恵まれた場所に設置されている。

本校の児童の約72%は中央線の線路を経だてた西側の住宅地に居住している。この地域は、ここ10年余りの間に、旧甲州街道ぞいに急に増設されてきた、新興住宅地帯で、都営住宅・分譲住宅が主である。尚本校の周囲には、大学市庁舎・消防署と、子どもが学習するに最適の地域として恵まれている。しかし、最近、南側を東西に走る道路の交通量のピークが、児童の登校時刻と合致し、しかも中央線をまたぐ陸橋を利用する児童数が圧倒的に多いことから、交通事故発生の心配がある。

#### 4. 教育目標

人間尊重の精神を基調とした、調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標の具現化に努める。

- 自分の力で考える子
- 思いやりのある子
- 力いっぱいやりとおす子
- じょうぶな体をつくる子

学校の教育目標を達成するための基本方針

ア、生涯学び続ける児童の育成を目指し、各教科等の基礎的・基本的内容を身につける。

イ、心身ともに健康で、たくましく生き、互に心のふれあいを大切にするを通して、心豊かな児童の育成を図る。

ウ、児童が自ら学び活動することによって、自己実現を図る自主性や主体性の確立を目指す。

エ、学級教育活動の中核をなす、授業の充実を図り、児童の個性や能力に応じた指導法の改善に努める。

オ、地域に根ざした教育活動を通して「心のふるさと」となる学校、郷土の形成者としての資質を養う。

#### 5. 本年度の指導の重点

##### (1) 各教科

- 基礎的・基本的事項を身につけさせるために、学習活動の充実をはかる。
- 児童が、自ら学ぶ学習活動のあり方をくふうする。
- 授業の充実をめざし、教育環境の整備に努め、活用をはかる。

##### (2) 道徳

- 道徳時間の充実をめざし、自主・自律、思慮・節度、自然愛護、勤労を特に重点項目とした指導を進めるとともに、実践力を育成する。
- 全教育活動を通し、思いやりの心を育てることによって、人間愛への高揚に努める。

##### (3) 特別活動

学級会活動を基盤とし、児童会活動・クラブ活動への一人一人の参加意識を高めることにより、自主的な態度と、思いやりのある心を育て、健康で明るい充実した学校生活をおくらせる。

##### (4) その他の活動

- 創意ある教育活動の推進にくふうを加え、児童の連帯意識を育てる。
- 特別活動との関連を図りながら、七小児童の一員としての意識を高める。
- 地区別や兄弟学級別活動を通し、児童相互及び教師との心のふれあいをはかる。

##### (5) 生活指導・進路指導

###### ア 生活指導

- 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、相手の立場を考えて行動できる児童の育成に努める。
- 全教職員が共通理解のもとに、児童の健全育成をはかる。
- 校内・校外の安全指導の徹底をはかる。
- 校外生活指導の充実をはかるとともに、父母・地域の協力を得、連帯感を高める。

###### イ 進路指導

- 児童理解につとめ、児童が自己の個性を自覚できるように援助する。

6. 本年度の研究主題

「児童が自ら学ぶ学習活動のあり方」—— 社会科を通して ——

- 低、中、高各分科会ごとに児童が主体的に取り組める学習活動を追求する。
- 指導計画の見直し、児童中心の学習過程の追求、年間を通じた児童の変容の把握、資料活用の工夫を授業実践を通して研究を深める。

7. 本校の特色

- (1) 中規模校の特性を生かした学校づくりを進める。

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を進めるために、児童相互・児童及び教師・教師相互の交流を、創意ある教育活動を通して深める週時程を編成している。

- (2) 学校環境をより充実させる。

本校は昨年、開校十周年を迎え、校舎増築も竣工した。校舎増築は完了し、学校の型体は整ったことになる。従って、今年度、学校が整えるべき学習環境及び自然環境の充実のため、環境委員会を中心に、将来あるべきビジョンの設計と、環境保全のための全体計画を作成し、実施に取り組む。

- (3) 校庭緑化の一環として、校庭の芝の保全と補植に努める。

芝で逆立ちする子、寝ころんで天を仰ぐ子、読書する子、ときには、緑のマットとなり、緑のジュータンとなって子どもたちの心をはぐくんでいる。これをいっそう深めるために、今年度は、創意ある教育活動の一環として、学年を解体した縦割りの組織の中で、児童と教師が協力しあって、芝の保全と補植を進める計画を立てた。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳 No	研 究 生	研 究 員	現 代 化 委 員	開 発 委 員
1	秋 山 憲 一(58)	小 形 裕(40)	小 形 裕(51)	長 田 正 夫(52)
2		伊 勢 恒 二(59)		秋 山 憲 一(54)



学 校 名 日野市立日野第八小学校  
 所 在 地 日野市三沢 200  
 電 話 0425-91-2411・2412  
 順 路 京王線高幡不動駅より東へ徒歩15分  
 児 童 数 男392名 女379名 計771名

校長氏名 澁谷 義一 教頭氏名 渡辺 孝

1. 沿革の概要

- 昭44. 1. 2 開設が決定。工事に着手。  
 4. 1 八小関係の教員並に児童を分離し、授業を開始。  
 8. 16<sup>\*</sup> 日野第八小学校開校。  
 校長 金子武夫 教頭 長井新次郎着任  
 教諭 16名 事務主事1名が補せられる。  
 9. 1 415名の児童に転入学通知が出されたが、校舎未完成のため。そのまま潤徳小で授業を行う。  
 11. 1 開校式を挙げる。開校記念日と決定。  
 11. 25 校舎落成祝賀式挙げる。  
 昭45. 1. 15 公募により校章決定。  
 4. 1 14学級となり、プレハブ2教室増築。  
 7. 15 校旗ができる。  
 7. 16 25m6コースのプールが完成し、プール開きを行う。  
 9. 7 校歌完成。作詩 米津千之、作曲 渡辺浦人。  
 昭46. 4. 1 15学級 プレハブ教室増築。  
 6. 4 社会教育のための校庭開放を実施する。  
 9. 15 体育館工事着工。  
 昭47. 2. 15 体育館落成式を挙げる。  
 4. 1 プレハブ2教室増築。  
 プレハブ5教室使用。  
 6. 20 西武百草団地入居のため250名の児童転入。

- 昭48. 3. 本校舎8教室の増築完了。  
 5. 校地前程久保川の工事完了。  
 昭49. 3. 1 校門が完成。  
 4. 1 学級増のため、プレハブ5教室を使用。  
 8. 15 プレハブ2教室が増設され、図書室、教材室として使用。  
 9. 10 都市水道に切替え。  
 昭50. 1. 20 校地拡張。西門整備完了。  
 2. 20 第3期増築完了。普通教室6、教材室2、非常階段、更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板。  
 7. 15 プール市水切替工事完了。  
 10. 25 体育館床塗替え。  
 12. 20 砂防(10×8m)完成。  
 昭52. 4. 16 プレハブ教室、調理室改修工事完了。  
 昭53. 4. 15 プレハブ2階建工事完了。  
 教室8、図書室、音楽室として使用。  
 昭54. 3. 31 プレハブ2階建 2教室増築工事完了。  
 11. 17 開校十周年記念式典。  
 昭55. 3. 31 三沢台小学校を分離。  
 プレハブ全教室を撤去。  
 昭57. 9. 10 運動場全面改修完了。

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
金 子 武 夫	昭44. 8～48. 3
岡 本 省 吾	昭48. 4～53. 3
古 谷 洋 太	昭53. 4～58. 3
澁 谷 義 一	昭58. 4～現 在

### 3. 地域の環境

学校は、京王線高幡不動駅と百草園駅の中間に位置している。学区は東西に細長く、学校まで徒歩で40分位要する児童もいる。周辺は、開発途上にあり、田をつぶして住宅・商店が建設され、都市化が著しい。通学路の殆んどは、旧農道のため細長く曲がりくねっていて危険である。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

個性が豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、次のような子どもを育成する。

- ア. 健康でたくましい子
- イ. 深く考えやりぬく子
- ウ. 美しく豊かな心の子
- エ. 力をあわせはげみあう子

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 教師と児童、児童相互の人間関係を深め、互いに尊重し合う教育を推進する。
- イ. 全教育活動を通して、誘惑にまけない強い心やたくましい体力を養うようにする。
- ウ. 日々の授業の充実を期し、教師の指導力を高める。
- エ. 家庭・地域と連携して、学校教育目標の達成に努める。

### 5. 本年度の指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア. 各教科

- 学習課題をつかみ、課題追求の方法を工夫し、調べたり、結果をまとめたり、考えを深めたりする学習方法を身につけさせる。
- 全教育活動を通じ、学ぶ喜びを知り、学ぶ意欲を高める。

##### イ. 道徳

- 自然を愛し、学校・郷土を愛する心を育てる。
- 人として生きるための基本的徳性を磨き、正しい判断力・実践力を強める。

##### ウ. 特別活動

- 児童を活動に進んで参加させ、ひとりひとりを生かしながら、自主性・社会性を伸ばす。
- 汗と感動のこもる学校行事を計画し、生きる喜びを味わわせる。

#### (2) その他の活動

- 異年令集団による諸活動により、連帯感、責任感を育てる。
- 特別活動との関連を密にし、練習・発表・交流の場を設け、所属感・充実感・成就感を持たせる。

#### (3) 生活指導・進路指導

ア. 正しいことばづかい、人との接し方を身につけ、物を大切にすることを育てるため、次の事項を重点指導する。

- 積極的にあいさつさせる。
- 友だち間のことばづかいの乱れを直し、話をきちんとさせる。
- 整理整頓、持ち物への記名をさせる。

イ. 全教育活動を通じ、個性を伸ばすように努める。また、勤労意欲を高める指導内容を工夫する。

6. 本年度の研究主題

「児童の主体性を高める指導法の研究」－国語学習を通して－

7. 本校の特色

- ① 「きれいな学校」「明るいあいさつ」「正しいことば」が、本校の努力目標である。そこで、広い意味での教育環境づくりに力を入れている。
- ② 教師手づくりの各種遊具を使用しての体育活動や遊びを通して、子どもの体力づくりや創造性を伸ばしている。
- ③ 4・5・6年の男女児童の特別サッカークラブ員が、早朝と放課後、教師の指導のもと練習に励んでいる。サッカー技術の向上、体力づくり、健全育成の面で効果をあげている。

8. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	研究員	研究生
1		澁谷義一（41.理）	澁谷義一（42.理）
2		渡辺 孝（48.社）	畑中隆宏（56.特活）



学 校 名 日野市立百草台小学校  
 所 在 地 日野市百草999  
 電 話 0425-91-0997~0998  
 順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバス  
 にて5分、百草センター下車  
 児 童 数 男 356名 女 297名 計 653名

校長氏名 志賀頼治 教頭氏名 有泉徹郎

1. 沿革の概要

- |  |   |
|--|---|
| <p>昭44. 8.12 校舎新築起工。</p> <p>12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校として潤徳小学校内で授業開始。</p> <p>昭45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新校舎に移転開校する。学級数8<br/>児童数118、教職員16、市職員3。</p> <p>6. 1 開校式挙行、6月1日を開校記念日とする。</p> <p>9. 1 高幡台団地の入居により児童数増加、296名となる。学級数11、教職員17。</p> <p>昭46. 3. 8 校旗・校歌発表会を開き、3月8日を制定記念日とする。</p> <p>3.25 第1回卒業式、卒業生34名。</p> <p>4. 6 児童数604、学級数16、教職員23、市職員3。</p> <p>4.30 校舎北側の埋立工事完了。</p> <p>7.13 プール工事完了、大プール、小プール、シャワー、更衣室、機械室竣工。</p> <p>12.15 体育館新築工事着工。</p> <p>昭47. 2.12 調理室火入れ式、調理開始。</p> <p>3.25 第2回卒業式、卒業生44名。</p> <p>3.31 高幡台小学校の新設にともなう学区変更</p> <p>4. 1 高幡台小学校新設により、児童数416、学級数12、教職員18となる。</p> <p>6.17 体育館落成式挙行。</p> | <p>昭48. 3.24 第3回卒業式、卒業生43名。</p> <p>4. 6 児童数463、学級数13、教職員20。</p> <p>9.26 校舎新築工事開始。</p> <p>昭49. 3.25 第4回卒業式、卒業生39名。</p> <p>3.31 増築7教室竣工。</p> <p>4. 6 児童数541、学級数16、教職員24。</p> <p>昭50. 3.25 第5回卒業式、卒業生48名。</p> <p>4. 7 児童数613、学級数17、教職員25。</p> <p>昭51. 3.25 第6回卒業式、卒業生56名。</p> <p>4. 1 増築校舎完成。(普通教室7、図書室1)</p> <p>4. 6 児童数700、学級数17、教職員25。</p> <p>昭52. 3.25 第7回卒業式、卒業生77名。</p> <p>4. 6 児童数738、学級数18、教職員26。</p> <p>昭53. 3.25 第8回卒業式、卒業生79名。</p> <p>4. 6 児童数779、学級数20、教職員28。</p> <p>昭54. 3.24 第9回卒業式、卒業生67名。</p> <p>4. 6 児童数799、学級数21、教職員30。</p> <p>5.31 開校10周年記念式挙行、記念誌・タイムカプセル作成。</p> <p>10.31 校庭南側の階段上に正門落成。</p> <p>昭55. 3.25 第10回卒業式、卒業生101名。</p> |
|--|---|

- 昭55 4.1 学区変更により、梅が丘地区の児童45名が日野第八小学校より転入。
- 4.7 児童数780、学級数21、教職員28、講師1。
- 昭56. 3.25 第11回卒業式、卒業生95名
- 4.7 児童数730、学級数18、教職員25。
- 3.25 第12回卒業式、卒業生102名。
- 4.6 児童数702、学級数18  
教職員25名。

- 昭58. 3.25 第13回卒業式、卒業生111名。
- 4.6 児童数665、学級数18、教職員25。
- 昭59. 3.24 第14回卒業式、卒業生111名

## 2. 歴代校長

氏名	年月～年月
岡本省吾	45.4.1～48.3.31
村田安正	48.4.1～51.3.31
田中春男	51.4.1～55.3.31
竹内音治	55.4.1～58.3.31
志賀頼治	58.4.1～現在

## 3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された百草団地と梅が丘団地とが主な学区域である。団地の内外ともに起伏が多く、まわりには緑豊かな、静かで変化に富んだ高台がある。

眼下には、浅川がゆっくと流れ、その向うには、日野市街に続いて立川まで一望に見渡すことができる。近くには、多摩動物公園や百草園等があり、日曜日には、都塵をさけたリクレーションの人々にぎわう。

自然にいだかれた、よい環境といえよう。

## 4. 教育目標

### (1) 学校の教育目標

- 元気な子ども
- 考える子ども
- 働く子ども
- 助け合う子ども

### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育目標の意義及び具体的実践について、教師の共通理解を深める。
- ② 体力の向上をめざし、子ども自らがきたえる場を設定していく。
- ③ 基礎的・基本的内容をしっかりと身につけ、これをもとに考える力を育てるため、子どもの心の動きや個性・能力を大切にし、子どもの側に立った授業の充実をはかる。
- ④ 教育目標を総合的に達成するために、創意を生かした教育活動及び学級指導の時間の充実をはかる。
- ⑤ 教育目標の父母家庭への浸透をはかり、理解を深めると共に、子どもの家庭の中での実践化について協力を求める。

## 5. 指導の重点

### (1) 各教科、道徳、特別活動

#### ア 各教科

児童自らが考え、意欲的にとりくむ学習をめざして

- 創意ある発問や課題の提示をはかる。
- 体験や行動をとり入れた学習を大切にしていく。

- 教材や教具の活用をはかる。
- 教職員の協力による授業研究をすすめる。

#### イ 道 徳

道徳の時間だけでなく、学校生活全体の中から問題をほりおこし、ひとりひとりの子どもの心情にはたらきかけ、実践化につながる指導をすすめる。

#### ウ 特別活動

- 児童の創意や発想を大切に、児童が自発的に参加する学年や学校の行事を積極的に企画推進する。
- 役員会を中心とし、児童総会、代表委員会、学級会、各種委員会など相互に連絡協力し合わせることによって、指導効果を高める。

#### (2) その他の活動

- 月曜日5校時(1、2年生)、6校時(3年生以上)を学年学級を中心とした創意ある教育活動の時間とし、学年または学級内の協力による児童の自主的な活動をすすめる。
- 隔週木曜日の6校時(必要に応じて5校時)を全校児童を対象とした創意ある教育活動の時間とし、ゆたかな人間性の育成を旨とする児童の自主的な活動をすすめる。
- 体力増強に重点をおき、児童自らが自分の目標をもって達成への努力を重ねるようにしむける。

#### (3) 生活指導・進路指導

- 学校生活全体をとおして集団生活のきまりを身につけさせ、秩序ある安全な生活と協力の心を育てる。
- 学校環境の美化、清掃活動への積極的参加をとおして、公共物を大切にする態度や勤労の精神を養う。
- 基本的生活習慣を身につけさせ、より良い社会人となることをめざす。
- 指導を一過性のものとせず、評価と見届けを大切に、成就感、満足感を味わわせるとともに、定着化をはかる。

#### 6. 本年度の研究課題

「ひとりひとりを生き生きと学習にとりくませる授業の研究」

#### 7. 本校の特色

在学児童のおよそ90パーセントが、住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専用の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高い。しかし、反面学区が狭まぐ、変化を求め土のにおいに無限の魅力を感じているのが本校児童の実態である。

#### 8. その他(教職員研究歴)

№	内訳	研 究 員
1		志賀 頼治(46社)
2		有泉 徹郎(54国)
3		高倉 教行(51特活)
4		佐々木加津子(49保健)



学 校 名 日野市立滝合小学校  
所 在 地 日野市西平山2-3-1  
電 話 0425-83-5172・5173  
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩10分  
児 童 数 男507名 女460名 計967名

校長氏名 野 口 昭 平 教頭氏名 波多野 坦

### 1. 沿革の概要

- 昭44. 12. 26 敷地購入(仮称第11小学校)  
昭46. 3. 31 南校舎(A棟)完成。プレハブ校舎仮設使用。  
4. 1 日野市立滝合小学校開校。  
20学級編成・教職員27名市職員6名。  
4. 6 第1回入学式・始業式  
4. 30 運動場体育固定施設の設置  
5. 30 北校舎(B棟)完成  
6. 1 開校記念日  
6. 5 掲揚塔、水飲場、足洗場完成  
6. 30 給食室竣工  
7. 1 学校給食開始  
7. 20 プール竣工  
10. 1 校庭鉄柵竣工、花壇・池完成  
12. 1 校章、校歌制定  
昭47. 1. 21 エルサルパドル国教育局次長視察  
2. 20 体育館・校内通路完成  
2. 25 落成式  
3. 25 第1回卒業式(卒業生78名)  
昭50. 2. 18 体力作り研究発表会  
4.~ 校庭植樹250本  
昭51. 8. 動物園完成  
3. 旭が丘小分離(児童201名)  
4. 校地内に学童保育所完成  
6. プール補修工事  
昭53. 9. 26 校庭全面整備完了  
11. 排水工事・避難設備工事完成  
昭59. 8. 中庭舗装排水工事完了

### 2. 歴代校長

氏 名	年 月~年 月
峰 岸 敬次郎	昭46. 4 ~ 50. 3
鈴 木 英 夫	昭50. 4 ~ 53. 3
梅 田 茂	昭53. 4 ~ 56. 3
鈴 木 敏 郎	昭56. 4 ~ 59. 3
野 口 昭 平	昭59. 4 ~ 現 在

### 3. 地域の環境

本校は、日野市の南西にあって、校庭の南に浅川が流れ、その向うに緑の多摩丘陵が続き、周囲に田畑が多く、屋敷森等ものこる田園の中に位置している。小鳥のさえずりも聞かれ、冬には浅川周辺に数多くのわたり鳥もみられる。

しかし、学校新設にみられるように、数多くの住宅が建ち児童数も急増して、日野市の学校の中でも一二といわれるほどになっている。学区は、中央線の南側、豊田駅の近くまでと広く、通学時間で30分ぐらいの児童もいる。

近年、間道に自動車の通過もみられ、交通事故の危険も増大しつつある。

### 4. 教育目標

本校の教育は、教育基本法・学校教育法に基づき、教育委員会の基本方針をふまえ、地域の特性・児童の実態に基づき次の目標をめざして行う。

- ア 健康でたくましい子ども(身体と心の健康)  
イ 勉強に努力する子ども(本気で取り組む)  
ウ 進んで協力し実行する子ども(みんな仲よく)  
エ 生きものを大切にする子ども(思いやりと信頼)

○学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 教育目標を日常の指導に生かしていくために、学年・学級の実態、児童の発達段階に即した具体的目標を設定し、日々の実践活動を進める。
- イ. 学習指導に際しては、立案・反省を確実にを行い指導法を工夫する。児童に学習課題をつかませその課題解決指導にあたっては、ひとりひとりを生かす授業の展開に努める。
- ウ. 基本的生活習慣・自主的生活態度についての教職員の共通理解を広げ一体的指導体制により児童の指導にあたる。
- エ. 個々の教師の特性を生かし協力的で創意あふれる指導と学年・学級経営の充実とを推進する。
- オ. 父母や地域の意見・要望を生かすとともに、学校教育について正しい理解を得るように努める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 1) 各教科の目標をふまえ、児童の実態に即し、計画を密にした指導を進め基礎的・基本的事項を確実に身につけさせる。
- 2) 児童の主体性を尊重し、自ら学ぶ意欲と態度を養うとともに、ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた授業により豊かな人間性を育てる。

イ. 道徳

- 1) 人間尊重の精神に基づき思いやりのある心と自らを厳しく律する強い意志とを育成する。
- 2) やさしい心を持って動植物はもちろんのこと、広く自然を愛護する気持ちを培う。

ウ. 特別活動

- 1) 変化と喜びのある活動を通して、児童の自主性・創造性を生かし、ひとりひとりの積極性を高める。
- 2) 計画・分担・協力し合いながら、学校・学年・学級としての連帯意識の高揚をはかるとともに実践力を伸ばす。

(2) その他の活動

- 1) 児童の体位・体力の向上をめざして、施設・遊具の活用と管理を充実し児童ひとりひとりが課題をもって取り組み、目標達成に努める。
- 2) 特別活動、保健指導等との連携を密にして、各種の実践活動、集会活動を実施し学校生活のいっそうの充実をはかる。
- 3) 学校の教育環境の整備・美化を積極的にすすめ、勤労の精神を培う。

(3) 生活指導・進路指導

- 1) 学校のきまりを日々の教育活動に結びつけ、実践について反省を加え家庭と密接な連絡をとって基本的な生活行動様式、規律ある生活態度の充実をはかる。
- 2) 全教育活動を通して自他の長所を見つけ出し認め合いながら、よりいっそう個性を伸ばそうとする意欲を高める。

6. 本年度の研究主題

本校は昭和58年度まで、保健・教科体育を通じ、上記のテーマで研究を続けてきた。昨年度は本校の特徴を生かした指導計画を作成し一段落した。そこで、本年度は、教科体育の場で伸ばした児童の主体性を、他教科の中でどう生かすどう結びつけるかで取り組むことにした。

7. 本校の特色

校地面積 21391 m<sup>2</sup> という恵まれた校地の中に一周 200m のトラック、バスケットコート二面、二の字形にならんだ校舎、周辺部に動物園、花だん、プール、体育館があり、おちついた空間を作っている。

校庭に作られた、児童・職員の労作による古材利用の遊具（だっこちゃん・滝合峠・ピョンピョン丸太・宇宙遊泳）や、固定施設（砂場・遊び山・シーソー・ジャングルジム・すべり台・ブランコ・登り棒・雲梯・鉄棒・回転シーソー・タイヤ群・ジャンピングタッチ等）は、本校を象徴するものであり、児童の体力向上には不可欠のものである。

児童は全般的に素朴・純情・素直などの美点を持ち、活発に行動する元気な子が多い。

8. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	研究員	開発委員	道徳助言研
1		野口昭平 (40.道徳)	萩原章子 (53.家庭)	野口昭平 (42, 43)
2		波多野 坦 (45.国語)		
3		石川成子 (52.家庭)		
4		岡本美治 (56.へき地教育)		
5		林 亀三 (57.体育)		



学 校 名 日野市立高幡台小学校  
 所 在 地 日野市程久保550  
 電 話 0425-91-7011・7012  
 順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて  
 5分 高幡台団地下車  
 児 童 数 男374名 女328名 計702名

校長氏名 津野田 昭 二 教頭氏名 内 藤 康

1. 沿革の概要

- 昭46. 8. 7 校舎新築工事起工
- 昭47. 3. 10 校舎完成
- 4. 1 日野市立高幡台小学校として開校  
鉄筋三階建校舎 普通教室12、特別教室4、特別室9、学級数12、児童数402名、教職員18名、市職員2名
- 5. 27 高幡台小学校PTA設立総会
- 6. 24 開校式  
本日を開校記念日とする
- 8. 1 プール完成、プール開き挙
- 昭48. 2. 24 校旗、校歌制定
- 3. 24 第1回卒業式  
卒業生 1学級 33名
- 10. 6 体育館落成式、体育選手模範演技
- 昭49. 3. 25 第2回卒業式  
卒業生 2学級 46名
- 4. 1 第一期増築工事完成  
普通教室9、図書室1、職員室改造工事
- 昭50. 3. 25 第3回卒業式  
卒業生 2学級 55名
- 昭51. 3. 25 第4回卒業式  
卒業生 2学級 63名
- 昭52. 3. 25 第5回卒業式  
卒業生 3学級 97名
- 昭53. 3. 25 第6回卒業式  
卒業生 3学級 78名
- 4. 1 第二期工事完成

- 普通教室9、教材室3
- 昭54. 3.24 第7回卒業式  
卒業生 3学級 98名
- 昭55. 3.25 第8回卒業式  
卒業生 3学級 108名
- 昭56. 3.25 第9回卒業式  
卒業生 3学級 116名
- 昭57. 3.25 第10回卒業式  
卒業生 3学級 127名
- 昭58. 3.25 第11回卒業式  
卒業生 3学級 109名
- 3.31 非常階段(旧館)完成
- 昭59. 3.25 第12回卒業式  
卒業生 3学級 137名

2. 歴代校長

氏名	年月～年月
平松健太郎	昭47.4.1～50.3.31
手代木和夫	昭50.4.1～54.3.31
近内 信輝	昭54.4.1～58.3.31
津野田昭二	昭58.4.1～現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地がおもな学区域である。高幡台団地は5階～11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。

#### 4. 教育目標

##### (1) 学校教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざしてつぎのような子どもを育成する。

- あたたかい心で 助け合う子ども ㊦すけあう子
- よく考え、自分からすすんでやりぬく子ども ㊧んがえる子
- 働くことのすばらしさを身につけた子ども ㊨たらく子
- 健康で明るい子ども ㊩くましい子

##### (2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ① よく考え自分から進んでやりぬく態度を養うための指導方法を工夫し、わかりやすい授業を目指すとともに基礎的・基本的事項の学習内容を確実に身につけさせる。
- ② 本校児童の実態をふまえ、日常の児童活動の活性化を図り、自主的・自立的な態度を養う。
- ③ 教育活動全体を通して、人権・人命の尊重に徹し、思いやりと協調の心を育てる。
- ④ 父母地域との連携を密にし、開かれた学校をめざしながら、教育に対する相互理解を深める。
- ⑤ 効果的な体育指導をめざした校内研修を充実させ、教育活動全体を通して児童の体力向上、健康安全の保持増進を図る。

#### 5. 本年度の指導の重点

##### (1) 各教科・道徳・特別活動

###### ア 各教科

- 教材内容の精選を通し、ゆとりのある授業を展開する中で、基本的・基礎的内容を確実に身につけさせる。
- 視聴覚機器の利用・資料等の効果的な活用を通して、子どもにわかる授業の確立につとめる。
- 授業研究（体育）の活性化を図り、児童一人ひとりが主体的に考え、自分の判断で実行する態度を育成する。

###### イ 道徳

- 集団生活のきまりや望ましい行動の習慣を身につけさせる。
- 異年令集団の中で人の立場を認め、力を合わせものごとをやりぬく態度を養う。
- 自然や人を大切にし、公共心の育成をはかる。

###### ウ 特別活動

- 児童会の計画・運営による行事（小運動会・七夕集会・夏休み作品展・全校遠足・6年生を送る会等）を通して、異年令児童集団の活動を活発にする。
- 学校行事・児童活動を通して重点目標の自主・自律・積極的にやりぬく子どもの育成を図る。

##### (2) その他の活動

- 学年を越えた子どもの交流を通し、また校外地区班の活動を通して、地区での連帯意識の高揚を図る。
- 学年・学級の裁量の時間を通して、体力向上の実践・基礎学力の充実のための補習・集会等を実施し充実した学校生活づくりに努める。

##### (3) 生活指導・進路指導

- 日常生活に必要な基本的な行動様式・規律ある生活態度の育成を学校生活全体を通してしっかりと身につけさせる。
- 校舎内外の環境美化に努めるとともに、たてわり活動を通して人を思いやる心を育て、情操

豊かな児童を育てる。

- 勤労についての正しい認識をもたせ、人間として生きぬくことの大切さを理解させる。
- 全教育活動を通して、自主的・自律的な生活態度を養い、望ましい友達関係の育成に努める。

6. 本年度の研究主題

「効果的な指導法の研究」(体育)

7. 本校の特色

団地校であることから家庭の生活程度は平均しており、児童の知能程度も比較的高く較差が小さい。反面閉鎖的傾向が見られ、他の人との連り、連帯意識に弱さがある。また、団地の中だけに固まりがちな傾向が、子どもの遊び等に顕著である。このような実態を考え、子ども相互の縦横の連りを深め、広げることを、また、隣接地域の風にふれさせることにより広い視野を持つ目を育てる意味等から次のことを重点にして実践する。

○ たてわり活動

小運動会      七夕集会      夏休み作品展  
全校遠足      お正月遊び会      豆まき集会  
仮装コンクール      卒業生を送る会

○ 隣接校(程久程小)との交流

クラブ交流

8. その他(教職員の研究歴)

内 訳 No	研 究 生	研 究 員	中 央 研	そ の 他
1	内 藤 康 (49 体育)	内 藤 康 (45 体育)	内 藤 康 (56)	内 藤 康 (58 海外派遣)
2		長 沼 正 幸 (58 理科)		



学校名 日野市立南平小学校

所在地 日野市南平4丁目8番1号

電話 0425-92-2021・2022

順路 京王線南平駅より徒歩15分

児童数 男375名 女380名 計755名

校長氏名 鈴木敏郎 教頭氏名 荒木健治

1. 沿革の概要

- 昭48. 12. 17 日野市教育委員会において、南平小学校を設置決定。
- 昭49. 3. 25 仮設校舎完成、プレハブ教室11職員室1、校長・事務室1、教材室1、他に潤徳小新館に4教室、更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置
- 4. 1 日野市南平小学校開校  
学級数15、児童数535名  
教職員22名、市職員4名
- 4. 5 仮設校舎校地整理完了
- 5. 4 本校舎工事着工

総工費220,166万円  
敷地面積26,535㎡ 鉄筋コンクリート四階建防音校舎  
4,456㎡

- 5. 22 南平小学校PTA設立
- 11. 15 本校舎完成  
普通教室20、特別教室5、保健室、給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等
- 11. 22 校樹として「スズカケの木」を決定。校旗・校章の図案のもととする。  
校歌・校旗・校章の制定および発表会を挙行。  
当日を本校開校記念日として制定する。
- 11. 29 本校舎へ移転
- 11. 30 校庭整備完了、進入路舗装、正門・フェンス取付完了

- 昭49. 12. 31 体育館完成
- 昭50. 4. 30 大・小プール完成
- 昭53. 3. 15 校舎3教室増築
- 昭54. 12. 21 体育倉庫(プレハブ)完成
- 昭56. 3. 27 校舎3教室・図書室増築  
9. 15 NHK全国学校音楽コンクール東京地区において優良校として受賞
- 昭57. 2. 4 体育科「児童が主体的に取り組む学習指導法の改善」研究発表会を全部にむけて行う。
- 昭58. 3. 31 学校園整備を行う。

2. 歴代校長

氏名	年月	年月
黒沢保雄	昭49.4.1	55.3.31
松日楽敬治	昭55.4.1	58.3.31
鈴木敏郎	昭59.4.1	現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、前面に多摩丘陵をぎりひらいた南平台(なんべいだい)みなみか丘、鹿島台、川崎街道をはさんだ南平中下(昔からの唯一の集落)京王線と浅川ぞいにはさまれた向島の六地区で構成されている。比較的まとまった学区域であり、地区の把握がしやすい。

南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区域には、自然林あり、田畑、果樹園等、自然条件にめぐまれている。西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、施設、設備、校庭等の完備と相まって、教育的環境としては、最高の条件を具備している。

#### 4. 教育目標

##### (1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法、教育基本法の精神に基づき、地域の特性をふまえ、児童の個性、能力の伸長と自発性、創造性を重視し、調和と統一のある教育をめざして行う。

- 健康でたくましい子ども
- 考えながら学ぶ子ども
- めあてをもってやりぬく子ども
- おもいやりのある仲よい子ども

##### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 学校経営へ教職員の積極的な参加を通して、学校や教師の創意工夫を生かし、明るくゆとりある学校生活の実現と豊かな人間性の育成をめざす教育をすすめる。
- 学校、児童、地域の実態をふまえ、開かれた学校をめざし、児童、教師、父母の心の交流をはかり信頼を高め、よい校風づくりにはげむ。
- 校内研修の一層の充実をはかり、教師の資質を高めることによって成果の高い教育活動の展開を図る。
- 道徳教育、体力の向上、健康安全の保持増進を効果的に行うため、環境を整備し、学校の教育活動全体を通して計画的な指導をすすめる。
- 行事、会議等を精選し、年間授業時数を確保し、学校生活に時間的、精神的なゆとりをもたせ、授業の充実と創意を生かした教育活動の一層の計画化をはかる。

#### 5. 本年度の指導の重点

##### (1) 各教科

- 児童一人一人が主体的に学習するための指導法の改善を図る。
- 基礎的、基本的事項を重視し、指導内容の精選に努める。

##### (2) 道徳

- 児童の実態を見つめ、学校教育目標に即した指導計画を作成し、活用しやすく資料を整備し、指導法の改善に努める。
- 学級・学年の枠をはずした交流の場を意図的に設定した諸活動の中で、自主的に参画し、責任ある行動と共に、お互いを思いやること等道徳的実践の指導に役立てる。

##### (3) 特別活動

- 集団の一員としての自覚をもたせ、協力し合って活動しようとする自主的・実践的な態度を身につけさせる。
- 学校生活のあらゆる場で、児童が積極的に活動し、楽しく参加できるよう指導計画の改善に努める。

##### (4) その他の活動

学校・児童・地域の実態をふまえ、学校教育目標を具現するために、学校や教師の創意工夫を生かした教育活動を行い、学校生活に喜びと充実感をもたせる。

- ① もみふりから田植、稲刈り、脱穀、収穫を祝う会、ぞうり作り、全校いもつくりを通して生産の大切さ、勤労の喜びを体験させると共に、地域との連帯を図る。
- ② 水泳、マラソン、なわとび、スポーツ大会等を通して、体力の増進をはかる。
- ③ たて割りにより全校遠足・遊び・清掃・給食を通して連帯感、協力、おもいやりの心を培う。
- ④ 1年生を迎える会、6年生を送る会、合唱コンクール等を通して、計画性、創造性、実践力、

自発性を培う。

(5) 生活指導・進路指導

- ひとりひとりを大切にし、互いに尊重し、助けあう生活態度を培う。
- 学校のきまりを守り、基本的な生活習慣を身につけ、充実した学校生活をさせる。
- 健康で安全な生活に心がけ、清潔で、元気ある学校生活をさせる。

6. 本年度の研究主題

児童が主体的にとりくむための学習指導法の研究

一人一人が生き生きと喜びをもってとりくむ学習をめざして体育科を中心にすすめる。過去4年間継続した社会科での成果をひきつぎ、57年度は全都に体育科の研究発表を公開した。本年度はさらに、学習過程の工夫や学習活動の多様化及び基礎的・基本的事項を明確にした教材の配列等を実証的に研究する。本年度は、昨年にひきつぎ、『児童が主体的にとりくむための学習指導法の改善』体育科を通して、の研究を深める。

7. 本校の特色

- (1) 本校の児童は、素直で、礼儀正しく落ちついている。物事に熱心にとりくみ、しっかりできる。
- (2) 児童・父母ともに学校を信頼し、協力的である。
- (3) 父母の経済的、社会的地位が比較的安定している。
- (4) 学校生活の主人公は児童であるの認識のもとに、教職員が一致して教育活動にあたっている。
- (5) めぐまれた学校施設・設備、校庭の完備、自然条件等、教育目的環境は、最高である。

8. その他

内訳 No.	研 究 員	道徳助言研	調 査 委 員
1	鈴木 敏 郎(46.特 活)	荒 木 健 治(47.)	和 田 いさを(55.)
2	荒 木 健 治(46.道 徳)	片 岡 千寿子(55.)	
3	荒 木 健 治(50.教育経営)		
4	村 上 悦 子(55.音 楽)		
5	藤 田 孝 彦(48.特 活)		
6	越 村 清 治(48.社 会)		

内訳 No.	研 究 生	そ の 他
1	和 田 いさを(53.)	荒木健治(50.海外研 アメリカ)
2	越 村 清 治(58.社 会)	



学 校 名 日野市立程久保小学校  
 所 在 地 日野市程久保504の1  
 電 話 0425-92-5014・5015  
 順 路 京王線高幡不動駅より動物園行きバスにて5分  
 中程久保下車 徒歩3分  
 児 童 数 男 294名 女 262名 計 556名

校長氏名 大 島 昭 子      教頭氏名 小 幡 建

### 1. 沿革の概要

本校は潤徳小学校の規模の過大化を解消するためと、高幡台小学校の学区の変更に伴って程久程地区に新設された学校である。

昭52. 2. 1 程久保小学校開設 潤徳小学校に開設準備室を設置

初代 渋谷義一校長就任

4. 1 日野市立程久保小学校開校

学級数18 児童数652

教職員26 市職員8

4.21 給食開始

6.28 プール開き

7.15 体育館竣工

10.20 落成式挙行、この日を開校記念日とする。校歌・校章発表会を開く。

昭53. 1.19 第1回音楽会を行う。

4. 4 学級増によるプレハブ教室設置(1教室) 19学級

11. 3 第1回展覧会を行う。

昭54. 1.16 校内書初展を行う。

11.18 第1回学芸会を行う。

昭55. 1.18 体育倉庫竣工

11.11 飼育舎竣工

11.15 第2回音楽会を行う。

昭56. 5. 9 全校写真会を行う。

11.15 第2回展覧会を行う。

12.17 受水槽竣工

昭57. 5.13 校庭フェンス側散水栓着工

5.13 校庭フェンス側散水栓竣工

11.21 第2回学芸会を行う。

昭58. 6. 1 校庭砂場新設着工

6.15 " 竣工

11.20 第3回音楽会を行う。

11. 4 球技場(テニスコート)工事着工

12.20 同上工事竣工

昭59. 2.15 プール改修工事着工

2.29 同上工事完了

### 2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
渋谷 義 一	昭52. 2. 1～昭58. 3. 31
大 島 昭 子	昭58. 4. 1～現 在

### 3. 地域の環境

日野市の南東部にあって八王子市と接しており、明星・三井・電建の新興住宅地が主な学区区域である。住宅は多摩動物公園線の両側の起伏に富んだ傾斜地に建てられている。西側には動物公園の園舎も見られ、遠足時には子どもの集団が遠望できる。東側は高幡台団地に接している。緑が多いわりに、子どもの遊び場が大へん少ない。

最近、住宅地域内を通過する車が増加し、児童の登下校時の安全対策も急務となっている。

### 4. 教育目標

本校の教育は教育基本法、学校教育法に基づき、生命の尊重を基調とし、自ら考え正しく判断し実践できる児童をめざして、次のように教育目標を定める。

元氣(丈夫で生き生きした子)

本氣(一生けんめい取り組む子)

根氣(最後までやりぬく子)

## 5. 本年度の指導の重点

### (1) 各教科

- 協力的に考え合いながら、主体的に学習に取り組む児童を育てる。
- 教材研究を深め、個→集団→個の指導法を追求し、充実した授業が行えるようにする。
- 教材・教具を整備・充実し、その活用をはかる。

### (2) 道徳

- 教師と児童および児童相互の人間関係を深め、日常生活における基本的行動様式を身につけさせる。
- 人間性が豊かで、思いやりの心を持った児童の育成に努める。
- 教科・特別活動等全領域のなかで、道徳性の内面化、態度化をはかっていく。

### (3) 特別活動

- 集団活動をととして主体的な態度を養い、協力的に楽しい学校生活を計画・実践できるようにする。
- 学級指導の充実をはかり、実践的な態度を育てる。
- 学校行事に自覚して参加できる児童を育て、学校生活を安全にかつ明るく、うるおいのあるものにする。

### (4) その他の活動

- 朝の10分間運動の時間を設定して、体力づくりに力を入れる。
- 山ゆりの時間を設けて、児童一人ひとりの能力・特性に応じた個別指導や、創意工夫をこらした諸活動を計画・実践していく。
- たてわり班を編成して、集会活動や清掃活動等を行う。

### (5) 生活指導・指路指導

- みんなで仲良く助け合い、連帯感のある楽しい学校づくりに努めさせる。
- 目的意識をもって、主体的に活動できる児童を育てる。
- 学級・学校のきまりを考え、自主的に守って行動する児童を育てる。
- 安全教育の徹底に力を入れる。
- 児童の個性・能力に応じた正しい職業観を育てる。

## 6. 本年度の研究主題

一人ひとりが生き生きする学習指導

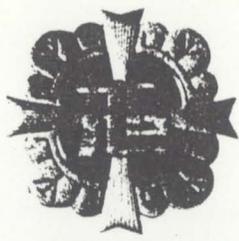
## 7. 本校の特色

- (1) 児童ひとりひとりを生き生きさせる学習指導の確立へ向けて、低、中、高学年と専科の計4ブロックに分かれた実践研究を行っている。年間を通して7回の全体研究授業を行う。
- (2) 児童と教師、児童相互の人間関係を深めたり、集団活動を通して主体的態度を養ったりするため、1年生から6年生までを18のたてわり班に編成し、次のような活動をしている。  
毎日の清掃活動。児童集会活動。全校学生会。ドッチボール大会。防災訓練の集団下校。
- (3) 児童の多くは家庭環境にもめぐるまれており、いろいろな面でみだされている。明るくすなおであるが、たくましさに欠ける。そこで、体力づくりのため次のようなことを行っている。  
朝の10分間運動(ラジオ体操、程久保体操、行進、表現運動、固定施設の活用、マラソン、なわとび等を、季節に応じて行う。雨天のときはテレビを通して運動の解説等を行う。) スポーツテスト(年2回)。夏の水泳指導。冬のなわとび大会、マラソン大会。
- (4) 外来者からは、校舎内がよく磨かれていて明るいとのことばをよく受ける。

(5) 隣接校としての地の利を生かして、高幡台小学校との交流を深めている。特に体力作りの一貫として、クラブ活動・スポーツ交流をはかっている。

8. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	研 究 員
1		大島 昭子(40.給)
2		上野 森良(49.国)
3		小幡 建(53.理)
4		川上 卓一(55.理)



学 校 名 日野市立旭が丘小学校  
 所 在 地 日野市旭が丘5丁目21番地の1  
 電 話 0425-83-3733・3748  
 順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩25分  
 京王・都バス(石川入口)下車10分  
 児 童 数 男457名 女393名 計850名

校長氏名 大 熊 喜 一      教頭氏名 黒 沢 源太郎

1. 沿革の概要

- 昭51. 8.18 起工式  
           市議会は、日野市立旭が丘小学校の設置を決定  
 昭52. 2. 1 初代校長 小野寺東雄発令  
           3.31 校舎使用開始  
           4. 1 教頭、教諭等25名、市職員8名 計33名発令  
           4. 6 第1回入学式149名 4学級 全校18学級 707名  
           4.27 教育目標決定  
           5.20 校舎完成  
           6.30 プール完成  
           7.20 校章制定  
           8.15 体育館完成  
 10. 1 開校記念大運動会  
 10.12 校旗完成  
           11.11 開校記念展覧会  
           11.21 校歌制定。開校式典  
           11.22 第1回開校記念日  
           12. 3 校歌発表会  
 昭53. 3.25 第1回卒業式110名  
           4. 1 教職員36名  
           4. 6 第2回入学式163名 4学級 全校20学級 758名  
           11.10 第1回学芸会  
 昭54. 3.24 第2回卒業式95名  
           4. 1 教職員38名  
           4. 6 第3回入学式156名 4学級 全校21学級 833名  
 昭55. 3.25 第3回卒業式116名  
           4. 1 教職員40名

- 昭55. 4. 7 第4回入学式193名 5学級 全校23学級 916名  
           10.13 体育館ボーダーライト工事  
           11.20 第2回学芸会  
 昭56. 3.25 第4回卒業式122名  
           4. 1 教職員44名  
           4. 6 第5回入学式145名 4学級 全校24学級 904名  
 昭57. 2.27 「雑木林の小道」完成式  
           3.25 第5回卒業式110名  
           4. 1 教職員44名  
           4. 6 第6回入学式136名 4学級 全校24学級 895名  
           5. 8 科学センター開講式(北部)  
           6.16 プールシャワーバルブ工事  
           11.16 学芸会  
           11.17 学芸会  
 昭58. 2. 7 音楽室廊下防音ドア完成  
           2.12 科学センター開講式(南北)  
           3.22 卒業記念制作「夢の池」完成  
           3.23 登り棒完成、登り初め  
           3.25 第6回卒業式 137名  
           4. 6 第7回入学式 135名 全校21学級 863名  
           8.11 給食室排水工事完成  
           9.11 NHK全国合唱コンクールC地区最優秀賞受賞  
 昭59. 3.24 第7回卒業式 150名  
           4. 6 第8回入学式 144名 全校21学級 850名

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
小野寺 東 雄	昭52. 2~昭58. 3
大 熊 喜 一	昭58. 4~ 現 在

### 3. 地域の環境

本校は、日野市西南部で八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二河岸段丘の二段にまたがっている。東西2km、南北1.5kmと広く、学校が西に偏在しているため、通学時間が30分以上かかる児童もいる。

学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場が占め、その周辺に個人住宅や集団住宅が混在する。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設は整備中である。また、工場は多いが、公害問題は少ない。学校の周辺には、畑や雑木林も多く、公園もあり、自然に恵まれている。父母は会社員が多く、学校教育への関心は深い。

### 4. 教育目標

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| (1) よく考える 子ども  | (2) なかよくする 子ども   |
| (3) がんばりぬく 子ども | (4) からだをきたえる 子ども |

### 5. 本年度指導の重点

#### (1) 各教科

- 指導内容の精選と指導技術の工夫により、学習活動にゆとりをもたせ、基礎的・基本的事項の徹底をはかる。
- 授業のあり方を研究し、児童一人一人が「よく見る」「よく聞く」「よく気づく」望ましい理解・態度・技能を身につけるようにする。

#### (2) 道徳

- 教職員の協力態勢を土台に、学校の教育活動全体を通して特に道徳的实践力の向上に努める。
- 学習活動を多彩にし、児童の主體的な自覚をより促すように工夫する。

#### (3) 特別活動

- 年間や学期ごとの指導方針、目標を立て、適切な指導によって進んでやろうとする意欲を盛りあげる。
- 活動内容を児童自らが立案し、実行する過程で互いに協力してやりぬく実践力とよりよい人間関係を育てる。

#### (4) その他の活動

- 学年・学級の時間等により、児童一人一人に思いやりの心を育て連帯感を強める。
- 「全校活動」の時間を設け、全校の交流活動などを行う。
- 各種活動の評価を適切に行い、指導の効果を高める。
- 諸行事をとおして児童一人一人に学校の一員としての意識を高める。

#### (5) 生活指導・進路指導

- 「学校生活のきまり」の定着化をいっそう推進し、望ましい基本的生活習慣の確立を図る。
- 自他の生命を尊重し、互いに守り合う態度を育てる。
- 土曜日の生活朝会等を活用し、児童理解を深めて積極的に学校内外の生活指導にあたる。
- 児童の個性、能力を伸ばし、正しい職業観を養う。

6. 本年度の研究主題

昭和59年度「子どもに、よく考えさせる授業のあり方」

7. 本校の特色

本年度は、開校8年目の年である。教育目標の第3項「(3)がんばりぬく 子ども」に重点をおき、全教育活動を展開していく。なお、恵まれた自然を生かした教育環境づくりに全員でいっそう力を結集していく。

- 全体計画にもとづく授業研究の推進
- 学校敷地内の自然林の保存とその活用
- 職員・児童・父母の協力による校舎内外の環境整備と美化の促進
- 一日一日、一時間一時間の授業の充実

8. その他(教職員の研究歴)

内 記 No.	研 究 生	研 究 員	現 代 化 委 員	都・文部省委員
1	大熊 喜一(39生活指導)	黒沢源太郎(50特活)	奈良 悦子(49. 家)	黒沢源太郎(53.54文部省)
2	黒沢源太郎(52特活)	奈良 悦子(44 家)		



学 校 名 日野市立平山台小学校  
 所 在 地 日野市平山2-1-1  
 電 話 0425-92-6381・6382  
 順 路 京王線平山城址公園下車徒歩15分  
 児 童 数 男290名 女312名 計602名  
 (内わかき学級12名)

校長氏名 蓮池守一 教頭氏名 村松徹二

### 1. 沿革の概要

- 昭52. 3.28 学校建設校舎予算市議会議決  
 6. 3 学校建設準備委員会開催  
 9. 3 校舎建設工事請負契約締結  
 昭53. 1. 7 現在地に建設着工  
 1.26 プール建設工事請負契約締結  
 3.25 体育館建設工事請負契約締結  
 4. 1 日野市立平山台小学校として開校、平山小学校の学区から新たに平山1,2,3,6丁目を平山台小学校の学区と定める。児童数男268名 女282名 計550名 17学級(心障2学級含)の規模で開校する。  
 10.24 校舎落成式 校章発表  
 11.22 開校記念展覧会 開校記念日  
 昭54. 3. 9 開校記念校歌発表会  
 昭55. 3.20 校舎増築8教室完成  
 8.15 中庭排水溝、飼育舎完成、遊戯室床張替え、ガス配管一期完成  
 昭57. 8.30 図書館改装  
 ガス配管工事完了  
 昭58.10.30 屋外バスケットボール施設完了

### 2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
小 川 格	昭53. 2～昭57. 3
蓮 池 守 一	昭57. 4～現 在

### 3. 地域の環境

本校は日野市の南端、多摩丘陵の頂きを開発して建設。北側は、日野市はもちろん八王子、

立川も一望でき、巨大な鳥瞰図を眺めるようである。また、南側は、多摩テックから平山城址公園に連なる雑木林が四季折々の風物を語る。

このような、景観だけでなく児童が学習する上での生きた教材を得た学校である。

学区は、京王電鉄が造成・分譲した平山1,2,3丁目に加えて、平山6丁目を含んだ、まとまりのある地域である。また、この地に住む人々は相互に環境の美化、浄化に心している。故に静かでおちつきのある雰囲気が維持されている。

### 4. 教育目標

憲法、教育基本法、学校教育法の示す国民の育成につとめることを目指し、地域・児童の実態を基に次のように教育目標を定める。

本校の教育は、生命の尊重を基底とし、自ら考え正しく判断し実践できる力をもつ児童を育成する。

- よく考え くふうする子
- 力を合わせて やりぬく子
- 心豊かな やさしい子
- 明るく たくましい子

### 5. 本年度の指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特活の指導の重点

##### ア 各教科

授業を通して「主体性のある児童の育成」をはかるために、次のことに力点をおく。

- ① 児童ひとりひとりが課題をもって授業に取り組み、自分の力で課題を解決したり、完成した喜びがもてる授業をつくりあげる。

- ② 基礎的・基本的事項の定着をはかるため、教材性の吟味、指導内容の検討と重点化をはかる。

イ 道 徳

全教育活動を通じて、道徳的心情と実践力を育てるために次のことに力点をおく。

- ① 人や動物・植物の生命を大切にし、思いやりのある心を育てる。  
 ② 望ましい行動様式を身につけさせ、節度や協調性のある生活ができるよう指導する。  
 ③ 道徳の授業を充実し、適性な判断と行動がとれる児童の育成をはかる。

ウ 特別活動

集団・社会の一員としての自覚を高め、自主的・主体的な態度を育てるために次のことに力点をおく。

- ① 児童の主体性を重んじ、創意を生かして活動できる学習の機会とする。  
 ② 児童が協力して取組む過程を大切に、児童自身が物事をよく見つけ、見極めることができるような指導を重視する。

(2) その他の活動

- 学校生活により喜びと充実感を与える機会とするための創意ある活動の時間を設定する。菊づくり、七夕祭、たこあげ大会等を通して、豊かな心を育てると共に、ひとりひとりが生かされる場とする。
- 心障学級との交流をはかり、全校児童に障害をもつ児童について、正しい理解と認識を与える。同時に心障児の社会性を養っていく。

(3) 生活指導・進路指導

① 生活指導

- 日常の学校生活を通して心身ともに健全な児童の育成を旨とし、指導の徹底をはかる。
- 知徳体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成するため心身の発達段階に応じた指導
- 児童一人ひとりの特徴や傾向をよく理解把握し、厳しさと温かさのある指導を進める。
- 家庭・地域社会および関係諸機関との連携を密にし、協力体制を整える。

② 進路指導

- 児童の個性・能力に応じた適性な指導をする。

6. 本年度の研究主題

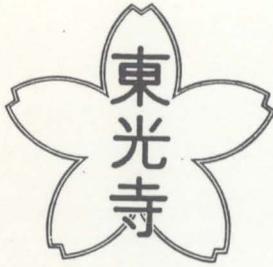
「主体性のある児童の育成をめざし、心豊かなやさしい子」への取り組みをする。

7. 本校の特色

- 市内全域がほぼ見渡せる所にあり開校7年目の学校、自然環境に恵まれ教材化に活用。
- 主体性のある児童の育成を指導の重点として、特に本年度は、心豊かなやさしい子の育成をめざす。
- 心障学級設置校で心障児と健全児との交流をすすめている。
- 地域の要請に応える教育力の提供について具体化をはかっている。

8. その他(教職員の研究歴)

№	研究員	研究生
1	蓮池守一(43社会)	蓮池守一(46教育方法)
2	村松徹二(41理科)	信夫清彦(57体育)
3	信夫清彦(54体育)	



学校名 日野市立東光寺小学校  
 所在地 日野市新町3丁目24番地1号  
 電話 0425-84-6200・6201  
 順路 中央線日野駅下車徒歩10分  
 児童数 男269名 女267名 計536名

校長氏名 近内信輝 教頭氏名 秋永悦郎

### 1. 沿革の概要

- 昭52. 9.30 学校用地買収予算市議会議決  
 昭53. 3.30 学校建設校舎予算市議会議決  
 6. 2 学校開設準備委員会開催  
 8. 21 校舎建設工事着工～54. 5. 31  
 昭54. 3.10 体育館建設工事着工  
 ～54. 10. 31  
 3.14 プール建設工事着工  
 ～54. 10. 31  
 4. 1 日野市立東光寺小学校として開校。日野第三小学校の学区から、新町3丁目と栄町1,2,3,4,5丁目を東光寺小学校の学区と定める。児童数545名(男287名、女258名)15学級の規模で開校する。  
 4.30 教育目標決定  
 7.18 校樹決定「さくら」  
 11.20 校章・校旗・校歌制定  
 校舎・体育館・プール落成記念式典、校章・校旗披露・校歌発表会  
 昭55. 3.25 第1回卒業式挙行  
 卒業生88名  
 4. 1 昭和55年度発足 16学級  
 4. 7 第2回入学式挙行  
 入学生109名  
 昭56. 3.25 第2回卒業式挙行  
 卒業生79名  
 4. 6 第3回入学式挙行 17学級  
 入学生106名  
 昭57. 2～3 校地緑化、小鳥舎新設

- 昭57. 3.25 第3回卒業式挙行 68名  
 4. 6 第4回入学式挙行  
 91名(17学級)  
 昭58. 3.25 第4回卒業式挙行 86名  
 4. 6 第5回入学式挙行  
 90名(16学級)  
 昭59. 3.24 第5回卒業式挙行 99名  
 4. 6 第6回入学式挙行  
 75名(14学級)

### 2. 歴代校長

氏名	年月～年月
高田 智	昭54.2.1～58.3.31
近内信輝	昭58.4.1～現在

### 3. 地域の環境

本校は、日野市北西部にあって学区の一部は多摩川と八王子市に接している。学区は新町3丁目、栄町1,2,3,4,5丁目で、東西1.8km南北0.8kmと東西に長く、学校は学区の中央、南側に位置している。通学時間は遠い児童で15分である。

学区には、天正16年僧永海が、旧東光寺のあと地に建てた万松山成就院がある。また、多摩川と日野用水にはさまれた低地には農家が点在していたが、都市化にしたがって兼業農家がふえ、まわりには、宅地造成が進み、個人住宅や集団住宅が混在している。

学校の裏側には自然林があり、正門近くには田畑、果樹園等自然条件にめぐまれている。施設、設備、校庭が完備され、教育的環境は優れている。父母の学校によせる関心も高い。

#### 4. 教育目標

憲法及び教育基本法の精神に基づき、自ら考え正しく判断できる児童の育成をめざし、次のように教育目標を定める。

- 明るい子ども  
(個性を伸ばし、礼儀正しい態度を育てる。思いやりの心を育て、協力する態度を育てる。)
- 考える子ども  
(自ら考え、正しく判断できる能力を伸ばす。進んで学習し、自分の言行を反省する。)
- 強い子ども  
(じょうぶな体をつくる。責任を重んじ根気強く働く態度を育てる。)

#### 5. 本年度の指導の重点

##### (1) 各教科・道徳・特別活動

###### ア 各教科

- ひとりひとりの能力に応じた指導法をくふうし、基礎的な学力の向上をはかる。
- 自主的な学習態度を育てる。

###### イ 道徳

- 自分を反省するとともに、他人の立場を重んじ、実践する意欲を高める。
- 物を大切にする生活態度や習慣を身につけさせる。

###### ウ 特別活動

- 自発的な活動を促し、集団の一員としての自覚と協力的な態度を育てる。
- 学校行事に積極的に参加させ発達段階に応じて、心身の調和のとれた児童を育成する。

##### (2) その他の活動

- 学校生活に変化を与え、ひとりひとりの児童の個性を伸ばし、学校生活に喜びと充実感をもたせる指導を工夫する。

##### (3) 生活指導・進路指導

- 基本的な生活習慣、特に規則正しい生活態度を養う。
- ひとりひとりの個性能力に応じ、課題意識をもって自己を伸長する児童の育成につとめる。

#### 6. 本年度の研究主題

「自主的な学習態度を育てる指導法の研究」

#### 7. 本校の特色

- 開校5年目、全職員が一致協力して、次のような学校づくりをめざし、努力している。
- 指導の充実した学校(具体的資料を通して理解を深めさせるための資料づくりを行う。)
  - 美しく整った学校(全校児童による除草作業。一人一鉢の菊づくり)

#### 8. その他(教職員の研究歴)

内訳	研 究 生	研 究 員
1	近 内 信 輝 (37年社会)	秋 永 悦 郎 (45年国語)
2		上 山 美 智 子 (43年保健)
3		江 口 耕 一 (53年特活)



学 校 名 日野市立三沢台小学校  
所 在 地 東京都日野市百草 896-1  
電 話 0425-93-2351~2  
順 路 京王線百草園駅下車 徒歩 15 分  
児 童 数 男 302 名 女 289 名 計 591 名

校長氏名 松日楽 敬 治 教頭氏名 平 山 毅

### 1. 沿革の概要

- 昭 55. 4. 1 開校  
日野第八小学校より分離。  
児童数 666 名 (男 319 名  
女 347 名) 18 学級 (各学  
年・3 学級)、教職員 34 名  
で発足。
4. 7 第 1 回 始業式 入学式  
6.10 プール完成  
8. 4 体育館完成  
9. 1 校庭使用開使 (芝生、アンツ  
ーカーの運動場)  
9.10 市主催による落成式
- 昭 56. 2.10 校歌・校章発表会  
開校記念日とする。
- 3.25 第 1 回 卒業式  
126 名卒業  
4. 6 第 2 回 入学式 (18 学級)  
114 名入学  
9.22 校庭改修工事完了 (ダスト舗  
装に)
- 昭 57. 3.25 第 2 回 卒業式  
125 名卒業  
4. 6 第 3 回 入学式 (17 学級)  
90 名入学
- 昭 58. 3.25 第 3 回 卒業式  
110 名卒業  
4. 6 第 4 回 入学式 (16 学級)  
66 名入学
- 昭 59. 3.24 第 4 回 卒業式  
110 名卒業  
4. 6 第 5 回 入学式 (16 学級)  
82 名入学

### 2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
深 尾 眞	昭 55.2～昭 59.3
松日楽 敬 治	昭 59.4～現 在

### 3. 地域の環境

本校は日野市東南端に位置し、多摩丘陵の頂  
きを開発した住宅街 (西武・日本信販) の中心  
にあり、北は日野市、立川市方面、南は八王子  
市、多摩市及び多摩ニュータウンが一望できる。  
東は百草園の雑木林に囲まれ、自然に恵まれて  
いるうえ、静かな住宅環境でおちついている。

### 4. 教育目標

本校の教育は、教育基本法・学校教育法に基  
づき、地域・児童の実態をふまえ、調和のとれ  
た人間形成をめざして行う。

- からだをきたえる子
- 最後までやりぬく子
- よく考え行動する子
- みんなと仲よくする子

### 5. 本年度の指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア 各 教 科

- 児童が主体的に学び、楽しさの中にも  
充実した学習ができるよう指導法のくふ  
うにつとめる。
- 教材・教具の効率的な活用をはかり、  
学習効果の向上につとめる。
- 指導計画、指導法の改善やくふうを重  
ね、児童の発想を豊かにする授業を推進  
する。

イ、道 徳

教育活動全体を通して、道徳的心情を豊かにし、実践力を育てる。そのために、各教科、特別活動とのつながりを深めた指導の展開に努力する。

- 広い心をもち互いに助けあう。そして、実践力にたけた子を育てる。
- 望ましい行動様式を身につけさせ、節度と協調性のある子を育てる。

ウ、特別活動

児童の主体的な活動を重んじ、ゆとりある学校生活を味わう場の設定に心がける。また、児童相互の交流を深め、協同して働き、よい校風づくりに励む態度と実践力を育成する。

(2) その他の活動

学校づくり5年目にあたり、教育活動にいつその創意とくふうを生かし、児童相互の連帯意識と地域社会を大切にすする心と実践力の高揚をはかる。

- 遊びの指導を通し、児童相互、児童、教師の交流をさかんにする。
- 学年を越えた児童のふれあいの場を多くし、学校と地域とのつながりを深める。

(3) 生活指導・進路指導

○ 集団活動を通して、児童の各々が自己の役割を果たし、自己の長所を知り、より高く向上しようとする指導を推進する。

- 集団としての規律を理解させ、基本的生活習慣の徹底を図る。
- 家庭・地域との連携を深め、安全指導・非行防止の手だてに万全を期す。
- 児童ひとりひとりを正しく理解し、個別指導の徹底を図り、生涯学習を指向する基礎づくりをめざす。
- 各教科・道徳との関連を密にして、職業に対する正しい理解と判断を育て働くことの大切さを体得させる。

6. 本年度の研究主題

「授業への参加意欲を高める手だてのくふう」

7. 本校の特色

子どもたちの「心のふるさと」となる地域と一体化した学校づくりをめざす。このため全教職員の創意を生かし、子どもと共に遊び、働き学ぶ教職員の後姿から教育実践の効果を高めていく。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳 No.	研 究 員	現 代 化	道徳助言研
1	松日楽 敬 治 (43理科)	松日楽 敬 治 (49理科)	平 山 毅 (58 )
2	平 山 毅 (48道徳)		
3	間 瀬 静 夫 (59特活)		

学 校 名 日野市立仲田小学校  
 所 在 地 日野市日野本町6丁目1の74  
 電 話 0425-81-8511・8512  
 順 路 国電中央線日野駅下車徒歩10分  
 児 童 数 男 210名 女 201名 計 411名

校長氏名 山 口 武 彦 教頭氏名 小 林 繁 人

1. 沿革の概要

本校は、日野第一小学校及び日野第四小学校の教室不足の解消、危険な道路を横断しない安全通学と、当地域の将来の発展を見越して、日野第一中学北側の国有地「日野第一桑園」跡地と一部買収私有地に新設された学校である。

昭58. 3.30 仲田小学校新設の為の市条例一部改正を市議会が可決

6.22 現在地に建設着工  
 (用地取得の為の買収費16億7597万4千555円、校舎・体育館・プール等の建設費8億6千万円)

昭59. 2. 1 初代校長 山口武彦就任  
 開設準備室を日野第一小学校内に置く。

4. 1 開校 学級数 12  
 児童数 411  
 職員数 26

4. 6 第1回入学式

2. 歴代校長

氏 名	年月 ~ 年月
山 口 武 彦	昭59.2.1 ~ 現 在

3. 地域の環境

本校の学区は、日野市の北部に位置し、東と南に甲州街道(国道20号線)、西に国電中央線北に多摩川にかこまれた、ほぼ長方形に近い地域である。

この地域は、江戸時代以来甲州街道日野宿として栄えてきた。近年、多摩川沿いの水田を埋め立てて宅地化が進行している。したがって、古くから居住している人々と、比較的新しく移住してき

た人々とが混在している。

本校は、この地域の中央部北寄りの旧農林省蚕糸試験場(日野第一桑園)跡地にたてられ、周囲は、仲田緑地や多摩川という自然の美しい環境が残されている。

仲田は、この付近の古い字名で、本校名もこれによったものである。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

- すすんで 学ぶ子
- からだを きたえる子
- 思いやりのある子
- さいごまで やりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 1 学校の教育目標の具現化をめざし、学年学級経営の充実につとめる。
- 2 充実した教育活動を推進するために、教育目標をふまえ、ゆとりがありしかも充実した授業の実現をめざす教師の研修を深める。
- 3 全職員が協力し、それぞれの個性や創意を生かし、教育目標の具現化につとめる。
- 4 児童と教師が一体となり、環境の整備充実につとめる。
- 5 父母及び地域との連携を図り、児童の生活の充実をめざす。

5 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- 基礎的・基本的事項の定着をめざし、指導内容の精選、指導計画の作成をすすめ、児童一人一人がわかる喜びを味わえる授業の

実現を図る。

- 教材教具を整備し、校舎内外の学習環境設備の充実を図る。
- 体育的施設を活用し、たくましくしなやかな体力づくりにつとめる。

イ 道徳

- 人間の基本としての生命の尊さに常に目を向けさせ、生きることの大切さのわかる児童を育てる。
- 基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、たがいに相手の立場を考えることを日常の課題とし、思いやりのある児童を育てる。
- 道徳の授業の充実を図り、道徳的な実践力を高める。

ウ 特別活動

- 望ましい集団活動を通して、あたたかい人間関係を深め、個性を伸ばし、より豊かな生活を築いていく力を育てる。
- 学級会・児童会・クラブを週時程に位置付けて確保するとともに、学級指導の充実をはかる。

(2) その他の活動

- 学年間の創意により、文化的活動、勤労生産的活動、体育的活動などを充実させる。
- 美しい学校づくりをめざし、児童と教師が一体となって、飼育栽培活動、清掃活動、掲示活動を積極的におしすすめる。

(3) 生活指導・進路指導

- 健康で安全な学校生活をおくるために、児童と教師が協力して、学校生活のきまりをつくり上げる。
- 児童一人一人を正しく理解し、それぞれの個性を伸長するよう努力する。
- 父母及び地域との連絡をとりあい、児童の健全育成につとめる。

6. 本年度の研究主題

「一人一人の児童が生き生きと学習にとりくむための授業の創造をめざして——一斉授業の中での個別化をどうはかるか——」

7. 本校の特色

開校初年度の小規模校であるが、その特性を生かした学校づくりを推進する。

- ア 生命の安全を守る安全教育の徹底を図る。
- イ 自然環境を生かし、明るく、健康な児童を育てる。
- ウ 互いの心が結び合い、思いやりのある児童を育てる。
- エ 自ら意欲的に学ぶ児童を育てる。
- オ 教育環境の整備充実に努めるとともに、美しい学校づくりをめざす。
- カ 家庭や地域との連携を深め、相互信頼を築き上げる。

8. その他（教職員の研究歴）

No.内訳	中央研	研究員	開発委員	研究生	道徳助言研	海外派遣
1	山口 武彦 (49)	山口 武彦 (46社会)	広沢フサ子 (58道徳)	山口 武彦 (47社会)	広沢フサ子 (55・56・59)	山口 武彦 (58)
2		小林 繁人 (53課題)		小林 繁人 (44経営)		広沢フサ子 (52)
3		渡辺 健 (56理科)		広沢フサ子 (52相談)		



学 校 名 日野市立日野第一中学校  
所 在 地 日野市日野本町7-7-7  
電 話 0425-81-0009 (代)  
順 路 国電 日野駅下車 徒歩10分  
生 徒 数 男445名 女421名 計866名

校長氏名 奥村 節 生

教頭氏名 高木 宏 文

### 1. 沿革の概要

- 昭22. 4.30 公立中学校として設置許可、日野中学校と称する。
- 昭24. 4. 1 校歌制定
- 昭29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称。
- 昭32. 3.22 校旗制定。
- 昭37. 9.17 新校舎(鉄筋防音)落成。
- 昭38. 9. 9 プール落成。
- 昭39. 5. 1 特別教室落成。
- 昭41. 7. 1 体育館落成。
- 昭42.11. 4 20周年記念式典挙行。
- 昭48. 3.10 校舎増築(普2、特別2)
- 昭51. 3. 9 校舎増築(普3、教材室1、生徒相談室2)
- 昭52.11. 4 30周年記念、校歌刻字の記念碑建立記念誌発行。
- 昭55. 4. 1 大坂上中の新設に伴い学区縮小。
- 昭58. 8.31 窓枠改修。
- 昭59. 3.31 給食棟増築(食堂1、特別2)

### 2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
町 田 勘之助	昭22. 4 ~ 25. 9
飯 塚 節 三	昭25.10 ~ 37. 3
大 沢 彰	昭37. 4 ~ 40. 3
大 沢 量 作	昭40. 4 ~ 45. 3
安 部 達 郎	昭45. 4 ~ 49. 3
東 恭 朝	昭49. 4 ~ 53. 3
松 延 耕 作	昭53. 4 ~ 57. 3
小 林 節 夫	昭57. 4 ~ 59. 3
奥 村 節 生	昭59. 4 ~ 現在

### 3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達し、甲州街道ぞいの宿場町として栄えてきた。近年、郊外の住宅、アパート、工場、特に中小企業、家内工業、商業が多く、近郊農業も見られる。

### 4. 教育目標

- 1 よく考え やりぬく人
- 2 協力し 全体につくす人
- 3 心豊かで 思いやりのある人
- 4 進んで心身をきたえる人

### 5. 本年度の指導の重点

- (1) 各教科、道徳、特別活動
- ア. 各教科
- 学習意欲を高め、基礎学力の充実を図る。
- 発表の場や表現の機会を多くする。
  - 学習の計画を立てさせ、予習、復習の習慣をつける。
  - よく考える態度を養い、学力の伸長を図る。指導内容の精選、指導方法の改善に努める。
- イ. 道 徳
- 実践活動を通して道徳的心情を高める。
- 一人一人を尊重する態度を養う。
  - きまりを守り、行動する態度を養う。
  - 感謝の気持ちを育てる。
  - 身のまわりをきれいにし、物を大切にする心を育てる。
- ウ. 特別活動
- 教師と生徒、生徒相互の心のふれ合いを大切に指導する。

- 生徒自身に深く考えさせ、自主的実践的な活動を伸ばす。
  - 集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め協力する態度を育てる。
  - 図書館教育、給食指導の充実と発展を図る。
- (2) その他の活動
- ゆとりあるしかも充実した学校生活の実現をめざして。
  - 学校行事への取りくみを通して、生徒の自主活動を推進させる。
  - 個別指導を実施し基礎学力の充実に努める。
- (3) 生活指導・進路指導
- ア．生活指導
- 教師の共通理解を深め、全員一致して指導にあたる。
- 基本的生活習慣を身につけさせる。
  - 勤労意欲を向上させ、学習環境の美化に努めさせる。
- イ．進路指導
- 個々の生徒の能力・適性の把握に努め、自ら進んで進路を選択する態度と能力を育てる。
6. 本年度の研究主題
- どの子にもわかる授業の研究。

7. 本校の特色

教育目標の具現化の一つとして、次の3点に特に意を用いている。

- (1) 基礎学力の向上をめざす指導法の工夫を通して、生徒の学習意欲を高め、よく考え、やりぬく態度を養うため、他校の参観や、ゆとりの時間の活用等、校内での授業研究を基に、資料の収集や整理につとめている。
- (2) 情操の育成を図るために、教室、廊下などの掲示指導に意を用い、また校舎内外の美化のために、清掃に意を用い実施している。登下校時刻の厳守には教師、生徒会が一体となつてつとめている。

8. その他(教職員の研究歴)

№	内訳	研究員	研究生	現代化	開発委員等
1	高木 宏文(46 数)	富山 謙一 (55.問題行動)	保阪 暁(49 技)	柳沢 美澄(56 英)	
2	村田 志信(47 音)		高木 宏文(51特活)		
3	富山 謙一(52 社)				
4	辰己 恵子(52給食)				
5	岸 とみよ(52 英)				
6	柳沢 美澄(55 英)				



学 校 名 日野市立日野第二中学校  
 所 在 地 日野市多摩平4丁目5の2  
 電 話 0425-81-0056・0262  
 順 路 中央線豊田駅下車 徒歩10分  
 生 徒 数 男495名 女430名 計925名

校長氏名 小 林 節 夫      教頭氏名 立 川 泰 司

1. 沿革の概要

昭29年度 設立認可、開校式、入学式(生徒200名)  
 第二期工事八教室増築落成  
 昭31年度 第三期工事竣工落成  
 昭32年度 第1回卒業式(卒業生204名)  
 昭33年度 校旗、校歌制定  
 昭34年度 産業教育研究校に指定される。  
 昭35年度 特別教室(工作、調理、理科)竣工落成  
 昭36年度 第二期特別教室竣工  
 産業教育研究発表会、修学旅行研究発表会  
 昭37年度 プール竣工落成  
 昭38年度 保健体育研究発表会  
 昭39年度 普通教室3教室竣工、創立10周年記念式典挙行  
 昭40年度 体育館竣工  
 昭41年度 防音校舎第一期工事完成(6教室)  
 昭42年度 防音校舎第二期工事完成(18教室)、プール用更衣室工事完成  
 昭43年度 南校舎前、境裁花壇完成  
 体育倉庫と校庭用便所完成  
 昭44年度 プール専用便所一棟完成  
 プレハブ一棟  
 昭45年度 プレハブ一棟  
 昭46年度 プレハブ一棟  
 昭47年度 プレハブ二棟  
 昭48年度 四中新設のため34学級より25学級に縮小

創立20周年記念式典挙行  
 昭49年度 南校舎3階塗装。技術科教室及同準備室改造整備。中庭・池整備  
 昭50年度 南校舎6教室増設、南校舎2階塗装  
 昭51年度 理科室、家庭科調理室、机、床整備  
 昭52年度 体育館照明工事、暗幕完成  
 校舎電気配線整備  
 昭55年度 大坂上中新設のため26学級より20学級に縮小  
 第二技術室の新設。  
 昭56年度 北校舎内部塗装工事、校長室・事務室の床張替え工事。  
 昭57年度 南校舎窓枠改修工事。プールサイド改修工事。体育館床塗装工事。

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
橋 本 貫 一	昭29. 3.31～30. 9.30
増 山 恒	昭30.10. 1～41. 3.31
飯 田 栄 一	昭41. 4. 1～46. 3.31
河 村 俊 一 郎	昭46. 4. 1～48. 3.31
飯 田 卯 吉	昭48. 4. 1～51. 3.31
小 林 政 之 助	昭51. 4. 1～55. 3.31
渡 辺 吉 彦	昭55. 4. 1～59. 3.31
小 林 節 夫	昭59. 4. 1～ 現在

### 3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に、日野五社勤務者の居住する住宅がこれを取りまき、東南部になお農業地域を残し、本校は多摩平公団住宅のほぼ中央に位置している。

### 4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、民主的な社会の形成者としてたくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健康なからだと自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い、奉仕の態度を育てる。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

### 5. 本年度指導の重点

#### ○ 各教科

- ・ 自ら学びとる学習の態度を育成し、基礎学力の充実をはかる。

#### ○ 生活指導

- ・ 基本的生活習慣の確立をはかり、相互理解に努める。

#### ○ 進路指導

- ・ 系統的指導計画の実践を通じて自己を理解し、将来の進路を選択する能力を育成する。

### 6. 本年度の研究主題

「各教科の到達度評価の研究」

- (1) 学習指導要領の改訂にともない、生徒ひとりひとりの能力・適性の発見伸長をめざす評価を工夫する。
- (2) 生徒の学習意欲を助長するための評価法を研究する。
- (3) 生徒指導要領の観点別評価のあり方や望ましい通知票の様式を検討する。

### 7. 本校の特色

3,000世帯を収容する多摩平団地のほぼ中央に位置する。東にけやきの大木、北に緑の中央公園に囲まれ、自然環境は良好。海拔105m。公害を知らない学校。広い校庭に恵まれ、体育系のクラブ活動は活発である。都の愛鳥モデル校に指定され、情操教育の一環として、生徒の手で小鳥の飼育をしている。青桐祭(運動会、文化祭)も8年目を迎え定着してきた。年2回実施される生徒会主催の球技大会は、学級のまとまりを強めるとともに、生徒の自主性を育てている。

出身小学校は、二小、三小、五小、六小その他である。

進路は殆ど全員が進学である。

8. その他（教職員の研究歴）

(1) 教職員の研究歴

内 訳 No	研 究 員	現 代 化
1	立 川 泰 司（45特活）	池 田 友 彦（43英）
2	内 田 耕一郎（41特活）	内 田 耕一郎（51数）
3	小 川 涉 三（45特活）	
4	広 瀬 昭（52英）	
5	永 谷 豊（45教育 方法）	
6	永 谷 豊（52特活）	
7	伊 藤 務（54社）	
8	中 根 勉（56教育 課題）	



学 校 名 日野市立七生中学校  
 所 在 地 日野市南平6-7-1  
 電 話 0425-91-0174・0175  
 順 路 南平駅(京王線) 下車徒歩7分  
 豊田駅(国電) 下車徒歩15分  
 生 徒 数 男390(2・3) 女390(6・2) 計780(5・8)  
 ( )内は心障・訪問学級の生徒数、合計793

校長氏名 山 本 保 教頭氏名 小 高 辰 雄

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置。
- 5.15 七生村役場庁舎を仮校舎として開校式挙行 2部授業で発足。
- 昭23. 2.15 七生村南平1944番地に七生中学校敷地決定、地鎮祭を挙行。
- 9. 4 新校舎完成、当日より授業開始。
- 昭32.12. 1 PTA結成第1回総会を挙行。創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表会を挙行。
- 昭36. 7.15 プール新設工事着工(東京都費による)
- 昭37. 7.31 プール開きを挙行。
- 昭41. 7. 1 体育館落成。
- 昭42. 1.31 鉄筋コンクリート防音校舎改築着工。
- 昭45. 3.31 鉄筋コンクリート防音校舎九教室完成。
- 4. 1 七生中学校に三中分校設置。
- 9.30 七生中学校三中分校廃止。(日野第三中学校開校)
- 昭46. 3.31 第二期防音鉄筋校舎完成。
- 5.27 防音校舎落成記念式典挙行。
- 8.24 プール浄化装置、更衣室完成。
- 昭47. 3.20 観察用水槽完成。
- 5.22 訪問学級開級式。
- 7.10 自然観察園完成。
- 昭50. 5.22 南校舎西側増築工事完成。訪問学級教室完成。

- 昭52.11. 3 創立30周年を祝い会挙行
- 昭54. 9.30 校庭、運動場改修工事完了。
- 昭57. 3.31 社教による夜間照明工事完了。
- 昭58. 4. 1 心障学級開設。(2教室改造)
- 昭 5. 心障特別教室完成。
- 昭59. 5. 校庭南フェンス改修(歩道完成)

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
飯 塚 節 三	昭22. 4～昭25. 9
増 山 恒	昭25.10～昭30.10
飯 島 一 吉	昭30.10～昭37. 3
木 村 功	昭37. 4～昭40. 3
芳 西 幸 三	昭40. 4～昭44. 3
羽 崎 一 男	昭44. 4～昭47. 3
高 橋 太 一	昭47. 4～昭51. 3
吉 岡 孝二郎	昭51. 4～昭55. 3
山 本 保	昭55. 4～現 在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩7分、中央線豊田駅より南へ15分、浅川にそう静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に住宅が増えて来た。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。学区近くには、高幡不動、また多摩動物公園、平山城址等の文化施設がある。

#### 4. 教育目標

##### (1) 学校の教育目標

基本的人権を尊重し、平和で民主的な人間を育成するために、つぎのことを目標とする。

自主・敬愛・勤勉・責任・健康

- ・自ら学び 考え 行動しよう。
- ・責任と思いやりの心をもとう。
- ・健全な心とからだをつくろう。

##### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 人権を尊重し、実践活動を通して人間性豊かな生徒を育成する。
- 基礎的・基本的内容を身につけさせるために、日常の継続的研究をすすめる。
- 集団生活の場を通して、生徒の個性の伸長をはかり、あわせて家庭の理解を深める。
- より効果的に教育活動を進めるため、学校環境衛生の向上に努める。
- 障害児に対する理解をすすめるため交流をはかる。
- 全職員の共通理解を深める。  
(心障学級・訪問学級の方針)
  - ・情緒豊かで健康な身体を育てる。
  - ・生活に必要な技能や自分から行動できる力を育てる。
  - ・個々の発達段階に応じて、ことば、認識を育てる。
  - ・お互いをだいに助け合って働ける人を育てる。
  - ・親密な人間関係を通じて、ひとりひとりの健全な成長と民主的人格の発達をはかる。

基本的内容を身につけさせるために、日常の継続的研究をすすめる。

- ③ 集団生活の場をとおして、生徒の個性の伸長をはかり、あわせて家庭の理解や協力を得るよう  
に努める。
- ④ 職員間の共通理解をより深める。

#### 5. 本年度指導の重点

##### (1) 各教科、道徳、特別活動

###### ア. 各教科

- 教材の精選をして、基礎的基本事項の指導の徹底をはかる。

###### イ. 道徳

- 健康で明るく、互に協力する態度を養う。
- 物事を正しく理解・判断し、建設的に実践していく態度を養う。

###### ウ. 特別活動

- 生徒の自主活動をとおして、規律正しい学校生活を築き、心身ともに調和のとれた生活態度を育成する。

##### (2) その他の活動

- 集団生活をとおして、互に協力する態度を育成する。
- 生徒理解を深める場をつくり、生活意欲の向上をはかる。  
(学年集会、学校行事への取り組み、クラブ活動、委員会活動、奉仕活動、教育相談等)

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- 健全な生徒の育成をめざし、非行化の防止に努める。
- 教育目標を身につけた中学生としての生活態度を養う。
- 学校環境衛生の向上に努める。

イ 進路指導

- 学校生活への適応と能力・適性についての理解を深める。

6. 本年度の研究主題

基本的学習・生活習慣の定着を図る指導

- 基礎基本の学習・態度の定着
- 自主・自立をめざす活気ある学校生活

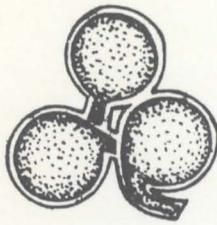
7. 本校の特色

本校は浅川と四季それぞれ変化を見せる多摩丘陵にはさまれ、自然環境には恵まれた位置にある。昭和35年頃までは純農村であったが、現在は兼業農家数戸を残し、ほとんどがサラリーマンの子弟である。

生徒は明るく、素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も、伝統と新しさをうまく調和して建設的で意欲的である。

8. その他(教職員の研究歴)

内訳	研究員	開発委員	現代化委員
1	山本 保(38・学校行事)	御子柴昭治(54・訪)	天野 敏明(53・音)
2	小高 辰雄(36・理科)	岩木 翼(57・特活)	小高 辰雄(38・理科)
3	天野 敏明(41・音楽)		
4	高野 徐一(51・美術)		
5	大谷 良光(59・技術)		



学 校 名 日野市立日野第三中学校  
 所 在 地 日野市程久保650番地  
 電 話 0425-91-2228 (代)  
 順 路 京王線高幡不動駅下車 百草団地行バスで  
 高幡台団地下車 徒歩7分  
 生 徒 数 男651名 女607名 計1,258名

校長氏名 千葉 廣 志

教頭氏名 市 塚 正 史

### 1. 沿革の概要

- 昭45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三中分校として、七生中学校内で授業開始。生徒数26名。教職員数12名
- 昭45.10. 1 日野市立日野第三中学校開校。七生中学校内で授業。生徒数44名 教職員数14名。百草、高幡の両団地を学区にする。
- 昭46. 3.27 校舎新築工事竣工
4. 1 学区変更、程久保地区の全部、三沢地区上、中を加える。新校舎に移転
7. 1 学区変更、西部百草園団地を加える。
10. 2 開校式を挙 10月2日  
を開校記念日とする。  
校章、校歌を発表。
- 昭48. 1.31 体育館工事竣工
- 昭50. 4. 1 第二期校舎増築竣工
- 昭54. 4. 2 第三期校舎増築竣工
- 昭55.10. 5 創立十周年記念式典
- 昭56. 3. 28 プレハブ3教室竣工

### 2. 歴代校長

氏 名	年月 ~ 年月
橋 本 敏 一	昭45.9 ~ 48.3
松 延 耕 作	昭48.4 ~ 53.3
田 中 弘 明	昭53.4 ~ 56.3
長 岡 宗 次	昭56.4 ~ 59.3
千 葉 廣 志	昭59.4 ~ 現 在

### 3. 地域の環境

本校は日野市南部の多摩丘陵地帯にある。学区は住宅公団の高幡・百草の両団地、民間分譲の三井、電建、日本信販の諸団地及び在来の程久保、三沢の両地区を含んだ地域である。

屋上からは眼下に浅川の流れ、その北に起伏に富み緑豊かな武蔵野台地を一望することができ、西方遙か富士の秀峰も眺められる。学区内には都立多摩動物公園、明星大学があり、附近には百草園、東電学園、帝京大学、中央大学などがあって、文教地区を形成している。

### 4. 教育目標

自ら判断し、責任をもって実行する人となる。

- ① 基礎学力を充実し、文化を創造する人となろう。
- ② 豊かな心を養い、力を合せて進もう。
- ③ 若い人らしい気力、体力を養おう。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

教材を精選するとともに、ゆとりある学習をとおし、自主学習を促進し、学習の効率化をはかる。

イ 道徳

他領域との関連をはかりながら、豊かな心を養い、自主的判断のもとに、責任ある行動ができるように、指導内容をくふうする。

ウ 特別活動

① 小集団を基礎に、個人の自発性をうながし、学級集団の質を高める。

② 学級・学年の活動を母体として、生徒会活動の充実をはかる。

(2) その他の活動

① 教育目標の具現化をめざして、生徒ひとりひとりの指導にあたりるとともに、国際社会の一員として、思いやりの精神を養う。

② 諸行事において、計画の段階から生徒の参加場面を設定し、自主、自律的な活動ができるように指導する。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

① 学級の基礎の上に立った生徒会活動を伸長させ、組織をとおしての自律ある生活態度を身につけさせる。

② 問題行動に対しては、全職員の共通理解にもとづき、一致した指導の徹底をめざす。

イ 進路指導

教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり、各学年に応じた系統的、個別的指導の徹底をめざす。

6. 本年度の研究課題

- 生徒を積極的に授業に参加させ、自主的な学習態度を育てる指導の研究。
- 学校周辺の自然環境や歴史の理解。

7. 本校の特色

- 本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができ、自然環境に恵まれている。
- 開校13年目で、市内で最大の学級数(30)、学区内の小学校は、潤徳小、高幡台小、百草台小、程久保小、三沢台小の5校ある。
- 開校以来、「自ら判断し、責任をもって実行する人となる」の教育目標の具現をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成につとめている。
- 団地、分譲地を主体とした地域で保護者の約3分の1が技術的、管理的な職業に従事し、子弟の教育に寄せる関心は大変高い。

8. その他(その他教職員の研究歴)

内 No. 訳	中央研・海外派遣	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	千葉 廣志(56中)	福田 慶罔(42英)	橘 陽臣(57体)	千葉 廣志(46数)
2	市塚 正史(52海)	大宅 寛(42音)	高橋 清子(57家)	
3	千葉 廣志(56海)	市塚 正史(44数)	鈴木 渉(59音)	
4	千葉 廣志(57海)	千葉 廣志(45数)		
5		市塚 正史(47方)		
6		飯島 利三(47技)		
7		原 豊(57数)		
8		清水 賢司(57視)		
9		乙黒 義夫(57国)		
10		松沢 茂久(59特)		



学 校 名 日野市立日野第四中学校  
 所 在 地 日野市旭が丘 2-42  
 電 話 0425-83-3905・3906  
 順 路 中央線豊田駅下車 徒歩17分  
 バス(長房団地行)都立工科短大下車5分  
 生 徒 数 男482名 女375名 計857名 20学級

校長氏名 花牟礼 哲

教頭氏名 安 谷 功

### 1. 沿革の概要

- 昭47. 8.21 四中校舎起工式(工事費1.9億円。施工小田急建設)  
 昭48. 1.18 屋内体育館着工  
 4. 1 初代校長 河村俊一郎以下教員24名発令。開校  
 7. 2 屋内体育館完成使用開始(工費約4千6百万円。施工小田急建設)  
 7.18 本校シンボル「泰山木」決定  
 8. 7 プール完成(工費約2,700万円)  
 10.13 校歌作詞完成  
 10.16 校章決定  
 教育目標設定  
 11.10 校歌作曲完成(寺原伸夫)  
 11.16 校旗完成  
 11.17 落成式挙行  
 11.22 第一回開校記念日  
 昭49. 2. 2 標準服制定  
 5.30 保健室冷房装置取付  
 7. 1 増築工事開始  
 7. 3 保健室 空気清浄装置取付  
 9. 6 駐車場舗装  
 10.19 玄関前コンクリート舗装  
 昭50. 1. 8 体育倉庫、砂場完成  
 3. 8 増築完成(校舎3スパン、体育倉庫、校庭砂場、物置き、機械室)工費約1.6億円  
 施工 小田急建設  
 4.26 テニスコート完成。  
 校庭の校舎側U字溝設置  
 昭51. 1.16 図書館開館

- 昭51.1.2.2 玄関前アスファルト舗装  
 昭52. 4. 1 二代校長 山口幸雄発令  
 9.13 第三期工事開始(東端3スパン美術室を理科室に改造)工費9,500万円 施工小田急建設 年度末完成  
 昭53. 3.28 校庭防球フェンス設置  
 昭54. 5.15 校庭東側防球フェンス設置  
 昭55. 1. 8 仮称第八中学校準備委員会発足  
 6.26 校庭南側防球フェンス工事  
 昭56. 4. 1 三代校長 花牟礼 哲発令  
 昭58. 4.10 学校警備機械化に変更  
 昭58.1.1.2.1 創立十周年記念式典、校歌碑建立。  
 昭59. 1.10 配膳室前アスファルト舗装。

### 2. 歴代校長

氏 名	年月 ~ 年月
河 村 俊一郎	昭48.4.1~52.3.31
山 口 幸 雄	昭52.4.1~56.3.31
花牟礼 哲	昭55.4.1~現 在

### 3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的には北半の洪積台地(日野台)と南半の浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2~3段の段丘状になっており、その境界は高低差10~20mの急崖になっている。

この地域は昭和初期まで、人家はほとんどなく、昭和12年、小西六写真工業(株)(六桜社)、昭和18年富士電機製造(株)の進出まではほとんど見るべきものはなかった。

しかし戦後はここも都市化の波が押しよせ、

昭和33年多摩平団地入居をきっかけに人口は急増をはじめた。

平山工業団地、国鉄豊田電車区、多数の住宅、アパートなど畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近15年間でいちじるしく変化し、人口が急増した。

#### 4. 教育目標

平和で民主的な国家、社会の形成者として世界にひらかれた日本人の育成をめざし、つぎの目標を定めます。

1. 進んで学習し、向上する人
1. 進んで力を合わせ、みんなのために努力する人
1. 進んで心身を鍛え、やりぬく人

学校の教育目標を達成するための基本方針

1. 年間の授業時数を確保し、生徒の思考過程を重視した授業をすすめる。
2. 生徒の自主的実践活動を重視した行事の実施、及び学年、学級経営をはかる。
3. 家庭の理解と協力をえて、ともに人間性豊かな生徒の育成につとめる。

#### 5. 本年度指導の重点

##### (1) 各教科

- ア. 生徒の活動を生かす指導につとめ、自ら進んで学びとる学習態度を育成する。
- イ. 教材の精選につとめ、基礎学力の充実をはかる。

##### (2) 道徳

- ア. お互の人権を尊重し、思いやりの心を養う。
- イ. 物を大切に作る心を育てる。
- ウ. よく考えて行動し、結果に責任をもつ態度を養う。

##### (3) 特別活動

- ア. 教師と生徒、生徒相互の心のふれあいを深める。
- イ. 集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい集団生活を営むようにする。

##### (4) その他の活動

充実した中学校生活を送るために

- ア. 学校行事への取りくみをとおして、自主的実践的活動を重視する。
- イ. 教師と生徒のふれ合いを重視し、生徒一人ひとりの学習や生活の悩みの解決をはかる。

##### (5) 生活指導

- ア. 自主的に規律正しい生活習慣を身につけるとともに、個人の責任を自覚させる。
- イ. 勤労意欲を向上させ、教育環境の整備美化に努めさせる。
- ウ. 心身の健康・安全に対する意識を高め、事故防止に努めさせる。
- エ. 集団生活の意義や個人のはたす役割を理解し、集団の質を高める態度を養う。

##### (6) 進路指導

系統的な指導に努め、自己理解、情報の分析を通し、将来の進路を選択する能力と態度を育成する。

6. 本年度の研究主題

生徒の学習への興味・関心をいかに育てるか。

7. 本校の特色

(1) 教育活動

各領域の調和に心掛けつゝ、校風を発展させる意気に燃えている。

ア. 授業 校内の研究を深め、1時間1時間をたいせつにする。授業打切りをさげ、まじめな学習態度を育てる。

イ. 特別活動 学級(毎火曜)、生徒会(毎月曜)、クラブ(毎木曜)、学校行事(適時)の調和をめざし、時間を厳守して活動し、自発、自律心を育てると共に感動する体験を多くするように努める。

他に、部活動として自主的活動を時間外に設定し、希望職員により指導する。

(2) 授業研究推進

市の学校教育の指導目標にのっとり授業研究の推進につとめる。

(3) 父母との連携

学校通信(学校のようす、生徒の創作)を毎週2~3回全家庭に配布し、学年、学級通信と台せて共通理解、共通指導につとめる。

(4) 美化緑化の推進

校樹、泰山木の樹を育て、緑多く美しい学園の環境整備につとめる。

(5) 勤労体験教育の推進

学校行事を通して特に、全校清掃の日々の実践から、気付き、考え、実行する力を育てる。

8. その他(教職員の研究歴)

内 訳 №	研究員	開発委員	研究生	海外派遣 (短)	現代化
1	花牟礼 哲 44年特活	吉見 光雄 (55年 数学)	西川 利行 30年 英	花牟礼 哲 49年(米)	西川 利行 48年経営
2	安谷 功 50年特活		樋口 愷武 54年 秋	樋口 愷武 55年(米)	丸山 尚夫 52年 数
3	西川 利行 35年 英		富士 堯 46年 理		
4	丸山 尚夫 49年進路				
5	西村美紗子 44年 音				
6	田中 栄一 45年 国				
7	吉見 光雄 50年 数				
8	樋口 愷武 53年 社				
9	鈴木 良身 54年教課題				
10	富士 堯 41年特活				



学 校 名 日野市立三沢中学校  
 所 在 地 日野市三沢25番地  
 電 話 0425-92-5017・5018  
 順 路 京王線百草園駅より西へ徒歩10分  
 高幡不動駅より東へ徒歩12分  
 生 徒 数 男414名 女385名 計799名

校長 降 旗 経 雄

教頭 白 田 重 孝

1. 沿革の概要

- 昭51. 9.18 仮称5中校舎起工式
- 昭52. 2. 1 初代校長 古川 豊発令
- 4. 1 日野市立三沢中学校開校教頭以下教職員22名発令
- 4. 6 始業式(2年156名、3年147名)
- 4. 7 第1回入学式(1年188名、全校生徒491名)
- 9.16 第1回開校記念日
- 昭53. 3.22 第1回卒業式  
(男80名、女66名)
- 4. 7 第2回入学式(男109名、女85名)
- 昭54. 3.19 第2回卒業式  
(男75名、女88名)
- 4. 7 第3回入学式  
(男111名、女91名)
- 昭55. 3.18 第3回卒業式  
(男93名、女91名)
- 4. 8 第4回入学式  
(男107名、女105名)
- 昭56. 3.20 第4回卒業式  
(男105名、女86名)
- 4. 6 第5回入学式  
(男131名、女94名)
- 昭57. 3.19 第5回卒業式  
(男108名、女95名)
- 4. 1 二代校長 降旗経雄発令
- 4. 7 第6回入学式  
(男137名、女109名)
- 昭58. 3.19 第6回卒業式  
(男110名、女108名)

- 昭58. 4. 7 第7回入学式  
(男107名、女122名)  
18学級、教職員35名
- 昭59. 3.19 第7回卒業式  
(男130名、女95名)
- 4. 1 校舎増築、給食室完成
- 4. 7 第8回入学式  
(男174名、女161名)  
20学級、教職員43名

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
古 川 豊	昭52. 2. 1～57. 3. 31
降 旗 経 雄	昭57. 4. 1～現在

3. 地域の環境

本校は、京王線の高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の北側にある。学区は京王線に沿って北は浅川までの平担部、南は多摩丘陵からなり、環境に恵まれ、高幡不動尊、百草園などの名所がある。

4. 教育目標

憲法と教育基本法にのっとり、平和で民主的な人間に育成することをめざして、次の目標を定める。

- ① みずから学び、真の学力を身につける人間に育てる。
- ② 心豊かで、みんなと協力できる人間に育てる。
- ③ からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に育てる。

教育目標に達成するための基本方針

- ① 授業を大切に、教材研究ならびに授業研究にとりくむ。
- ② 生徒と接する機会を多くもち、生徒理解を深める。
- ③ りっぱな校風を築き、教育環境を整え、職員は和をもってこれにあたる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- 基礎学力の充実のために、教材を精選し、系統化して学習の効率化をはかる。

(2) 道徳

- ひとりひとりの人権を尊重する人間に育てる。
- きまりを守り、集団や社会の一員として自覚し、行動する態度を伸ばす。

(3) 特別活動

- 自主性を育て、堅実な思考力と豊かな文化的創造性を育成するために、教師と生徒が一体となって発表の場や機会を作る。
- その他の活動
  - ・教育相談、学力補充を精力的にすすめる。
  - ・生徒の自主性と仲間との協力や規律ある集団生活の習慣を養うため、クラブ活動を盛んに行う。

(4) 生活指導

りっぱな校風と伝統を築き上げるため

- 規律ある集団づくりを進める。
- 積極的に環境づくりにとりくむ。
- 善悪・理非のけじめを自覚させる。

(5) 進路指導

- 自己理解を深め、進路選択の能力を養うよう各学年に応じた系統的指導を実践する。

6. 本年度の研究主題

学習意欲を高める授業の工夫

7. 本校の特色

昭和59年度から学区域拡張により大規模校化した。校舎増築により益々教室配置が複雑になり、奥行のある落ちついた教育環境に整備されつつある反面、怠学や非行の盲点が多く生徒指導に特別の配慮をしている。教職員は一丸となって学力の充実、教育相談の強化、活力ある学校行事の工夫に取り組んでいる。生徒は概して素直であるが目的意識が弱く目的遂行のための集中力に欠ける面が見られる。父母は教育に熱心で協力的であるが、より一層父母の活動を推進する必要がある。美しい環境のもとで思いやりと活気のある校風作りに努力している。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	中央研	研究員	開発委員等
1	降簇 経雄（53）	降簇経雄（37 理）	降簇経雄（個人差）
2		降簇経雄（47 経営）	
3		臼田重孝（32 数）	
4		橋本貴幸（46 理）	
5		田熊 裕（49 数）	



学 校 名 日野市立大坂上中学校  
 所 在 地 日野市大坂上 4-17-1  
 電 話 0425-83-9755~6  
 順 路 中央線日野駅下車 徒歩 1 2 分  
 生 徒 数 男 454 (11) 女 376 (5) 計 830 (16)  
 ( ) 内 心障学級生徒数

校長氏名 長谷川 辰 美      教頭氏名 綿 引 正 己

### 1. 沿革の概要

- 昭 55. 2. 1 初代校長 長谷川辰美着任  
 4. 1 日野市立大坂上中学校開校  
 教頭以下教職員 37 名発令  
 4. 7 始業式 (2 年 214 名 3 年  
 235 名 心障 15 名)  
 4. 8 第 1 回入学式  
 男 144 名 女 128 名 心障 2 名  
 5.15 校舎・校庭工事完成  
 6. 6 体育館工事完成  
 6.28 プール工事完成  
 7.12 落成式挙行  
 8.11 生徒標準服・校章・校旗制定  
 11. 1 体育館緞帳、暗幕工事完成  
 11. 8 校歌制定  
 校章、校旗、校歌発表会挙行  
 昭 56. 3. 9 第 1 回卒業式  
 男 130 名 女 114 名  
 4. 7 第 2 回入学式  
 男 128 名 女 134 名  
 心障 12 名  
 昭 57. 3.19 第 2 回卒業式  
 男 112 名 女 110 名  
 4. 7 第 3 回入学式  
 男 123 名 女 102 名 心障 7 名  
 昭 58. 3. 9 第 3 回卒業式  
 男 148 名 女 144 名  
 3.31 調理室、食堂、図書室、美術室  
 普通教室 4 完成  
 4. 7 第 4 回入学式  
 男 151 名 女 118 名 心障 5 名  
 昭 59. 3.19 第 4 回卒業式  
 男 142 名 女 143 名  
 昭 59. 4. 7 第 5 回入学式  
 男 166 名 女 151 名 心障 6 名

### 2. 歴代校長

氏 名	年月 ~ 年月
長谷川 辰 美	昭 55. 2. 1 ~ 現 在

### 3. 地域の環境

日野の発祥の地として知られている。関東  
 ローム層の日野台地にあり、昭和 11 年日野  
 工場地帯の中に設立された神鋼電気 (株) の  
 あと地に新設された中学校である。

学区内に日野自動車 (株) をはじめ中小工  
 場も多く、また実践女子大学、日野台高校と  
 隣接しており、教育環境もよい。

近年、特に住宅化が進んでいる学区であり、  
 学区内に市役所もあり、朝の多摩川、夕の富  
 士の眺めは、教育環境を特に引立てる。

### 4. 教育目標

- 進んで自己を開拓し向上しつづける人になろう。
- 1. よく考え、進んで学ぼう。(知性)
- 2. 思いやりの心をもち  
他につくそう。(敬愛)
- 3. 心身を鍛え、全力でやりぬこう。  
(健全)

### 5. 本年度の指導の重点

#### (1) 各教科・道徳・特別活動

##### ア. 各教科

- 思考力や正しい判断力を身につけさせ  
るために
- 基礎学力の充実をはかる
- 生徒自ら学び考える態度を育てる

イ. 道 徳

正しい判断力と思いやりの心を育てる。

ウ. 特別活動

主体的な実践活動を通じて社会性の育成につとめる。

(2) その他の活動

- 生徒会、各種委員会の活動の場とし、充実したゆとりのある活動を推進する。
- 学年活動の時間にあて、教師と生徒、生徒相互の好ましい人間関係を育てるようにつとめる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 学級の小集団を基盤として学級学年、全校集団の質を高める活動を推進する。  
(生徒の組織的活動)
- 生徒に責任の所在をわからせ、自分で解決していく力をつけさせる。  
(生徒指導の内容)
- 研修を深め、情報交換を活発にし、同一姿勢で指導にあたる。  
(教師集団の基本姿勢)

イ. 進路指導

- 個々の能力、適性を把握し、進んで将来の進路を選択する能力を育てる。

6. 本年度の研究主題

- (1) 基礎学力の定着をはかるための指導
- (2) 生活指導の充実

7. 本校の特色

本校は各方面の理解と協力により作られた近代的な設備の整った開校第5年目の学校である。校舎内は非常に明るく、校庭には樹齢30年程度の桜、ヒマラヤスギが生え、校門には樹齢100年ともいわれる樺がそびえ、教育環境は最適である。

日野台高校と隣接し、生徒は高校生活を窓越しに見て生活している。

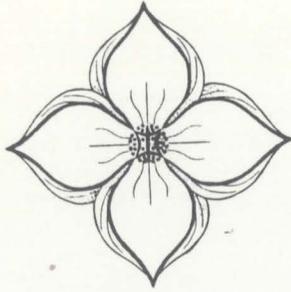
地域社会・家庭と協力して子どもの長所を生かし、本校の土台・基礎固めに全校教職員が力を結集して指導にあたっている。

また、心障学級設置校として課せられた教育内容も多い。

しかし、教職員の新しい校風をつくる意欲や父母の学校への期待・協力により、次第におちついた雰囲気のある学校となり、毎日おそくまで子ども達の活動する姿があり、声も聞こえる学校となった。また、58年度より学校給食が始まり396名入る食堂が完備している。今年度はさらに特別活動を充実させ、思いやりの心をもち、他につくす心情をもつ生徒の育成を図っている。

8. その他(教職員の研究歴)

内 訳 No	研究員	現代化委員	開発委員	研究生	その他
1	宮田和子 (37 学活)	小林喜司 (47 理科)	小林喜司 (50 理科)	野沢昭兆 (49 国語)	綿引正己 (57.58. 道徳助言)
2	武藤光哉 (42 社会)	綿引正己 (51 英語)	野沢昭兆 (51 国語)	村上敏雄 (51 音楽)	
3	小林喜司 (42 理科)				
4	綿引正己 (44 教育方法)				
5	六本木 茂 (45 社会)				
6	村上敏雄 (47 音楽)				
7	加藤常光 (49 特活)				
8	野沢昭兆 (53 国語)				
9	小林喜司 (54 教育課程)				



学 校 名 日野市立平山中学校  
 所 在 地 日野市平山4丁目21番地の2  
 電 話 0425-93-3015・3016  
 順 路 国電豊田駅下車 徒歩18分  
 京王線南平駅・平山城址公園駅下車 徒歩10分  
 生 徒 数 男子474名・女子429名・計903名

校長氏名 川崎 昭三

教頭氏名 古屋 登吾

1. 沿革の概要

- 昭55. 6.14 校舎建設工事着工  
 8.25 給食室建設工事着工  
 12.15 プール建設工事着工  
 12.26 体育館建設工事着工  
 昭56. 2. 1 初代校長 河野寿忠着任  
 3.26 校舎使用開始  
 4. 1 開校。乙戸教頭以下教諭29、  
 主査1、市職員11名着任。  
 4. 6 第1学期始業式(2年263名、  
 3年233名)  
 4. 7 第1回入学式(1年276名)  
 5.11 アラームシステムによる自動警  
 備開始。  
 5.19 校庭造成工事終る。  
 5.27 プール完成。  
 7.15 東テニスコート完成。  
 8.21 体育館完成。  
 9.21 西テニスコート完成。  
 12.25 校旗完成。  
 昭57. 1. 7 校歌完成。  
 2. 6 校歌、校章発表会。  
 3. 1 中国日本語教師団の来校  
 3.19 第1回卒業式(男子116名、女  
 子113名、計229名)  
 4. 7 第2回入学式(男子132名、女  
 子144名、計276名)  
 4.11 学校スポーツ開放始。  
 4.23 家庭教育学級開講  
 昭58. 1.24 平山中PTA規約成立  
 2. 8 体育館自動警備設備工事完了  
 3.19 第2回卒業式(男子136名、女

子129名、計265名)

- 昭58. 4. 1 第二代校長 川崎昭三着任  
 昭59. 3.19 第三回卒業式(男子134名  
 女子143名 計277名)

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
河 野 寿 忠	昭56.2～58.3
川 崎 昭 三	昭58.4～現在

3. 地域の環境

多摩丘陵北麓にひらけた低地に学校がある。校舎南側にある校庭の目先きを京王線が走り、校舎北側は、堤防道路をへだてて、浅川の河川敷につながっている。緑豊かで自然環境には恵まれている。

学区域は、東西の最長部分が約2.3km、南北が約1.5kmにわたり、学校は学区域の最も北東部に寄った位置にある。

近年、都市化の進行に伴ない、ベッドタウンのたたずまいを濃くし、人口の急増が見られた地域である。父母の教育への関心度は極めて高い。

4. 教育目標

- 考え、工夫する人。  
(主体性のある人間の育成)
- 協力し、進んで働く人。  
(社会性のある人間の育成)
- 自然や人々を大切にする人。  
(人間性豊かな人間の育成)
- 心身を鍛え、やりぬく人。  
(健康な人間の育成)

## 5. 指導の重点

### (1) 各教科

わかる授業、楽しい学習を展開するための工夫や努力をし、基礎学力の充実を図ることにより、生徒がゆとりをもった自主的学習態度を身につけられるようにする。

### (2) 道徳

暖かい人間愛を基盤として、他人を理解し、尊重する心情の育成を図る。

物事を自ら正しく考え、客観的、合理的な判断に基づいて、意欲をもって実践する能力、態度を養う。

社会の一員としての基本的な生活習慣、生活態度の育成を図る。

### (3) 特別活動

生徒会活動、クラブ活動への参加の意欲を高め、これらの活動を通して、連帯の精神と責任感及び実践力を育成する。

学校行事への参加を拡充させることにより、奉仕や他人に対する思いやりの心情の育成を図り、物事を計画的、組織的に進める能力、態度を高める。

### (4) 生活指導

望ましい習慣や生活態度を育てる日常の指導を徹底する。

指導体制を整え、全職員が一致して指導にあたる。

一人一人の生徒との心の交流を深めるとともに、集団活動による相互規制により、問題行動の予防に努める。問題傾向は早期発見に努め、家庭や学校間はじめ関係諸機関との連絡を密にし、早期指導の徹底をはかる。

### (5) 進路指導

各学年各生徒に応じた、計画的で系統的指導を実施する。

自己の特性を知り、その伸長に努め、適切な進路を選択できる能力を育てる。

### (6) その他の活動

学校行事及び学年の諸計画を自主的に取り組むよう指導を推進する。また生徒会活動をもり上げ、学校生活の向上をはかる。

個人的な悩みや不安を解消し、意欲を高めるため、個人面談、進路相談をすすめる。さらに教科学習の質問教室、学力補充指導の実施に努める。

## 6. 本年度の研究主題

生徒をとりまく環境を整え、わかる授業を展開し、「意欲的、自主的学習態度を育成する」

## 7. 本校の特色

開校4年目の学校である。生徒も教職員も「学校へ来るのが楽しい」といえる学校を目指して、下記事項に重点をおき、事に当たっている。

- 生徒をとりまく環境を整え、すがすがしく、活気に満ちた学校にする。
- 「勉強しようとする意欲に満ちた生徒がいて」「生徒のために力一杯やろうとする先生がいる」学校にする。

また本校は、日野市内中学校で数少ない完全給食の実施校である。

8. 教職員の研究歴

№	内訳	研究員	海外派遣 (短)	現代化	研究生
1		川崎昭三 (40理)	古屋登吾 (48年 北欧)	三富恒男 (49理)	古屋登吾 (文部省 保健)
2		阿部晃一 (43美)		上原純子 (52国)	
3		高崎雅子 (43国)			
4		三浦義次 (46技)			
5		三富恒男 (48理)			
6		山川昭子 (49数)			
7		北原景昭 (57特活)			
8		国信武司 (58社)			
9		和田孝 (58特活)			
10		古屋登吾 (44保体)			
11		三浦賢治 (59数)			

---

---

---

---